

令和6年度  
「まちかどコメンテーター」アンケート  
調査報告書

鹿児島市

-----  
【 第2回 テーマ 】

- 1 「ゼロカーボンシティかごしま」について（環境政策課）
- 2 生物多様性について（環境保全課）
- 3 市民が利用したくなる美術館について（美術館）

# 目 次

I 調査の概要 .....	1
II 「ゼロカーボンシティかごしま」について .....	5
III 生物多様性について .....	26
IV 市民が利用したくなる美術館について .....	46

# I 調査の概要

## 1 まちかどコメンテーターの概要

### (1) まちかどコメンテーターとは

市民の皆様「まちかどコメンテーター」になってもらい、市民目線の意見・提言を聴取するとともに、市民のニーズを把握し、市政運営の参考とさせていただくものです。

また、アンケートを通じて、市民の皆様の市政への関心・興味を深めていただくことも目的としています。

### (2) まちかどコメンテーターの選定方法とは

市内に住むか、通勤・通学する 18 歳以上の方を対象とし、一般公募及び住民基本台帳から無作為抽出した市民 3,000 人への就任依頼において、応募・承諾いただいた方により構成しています。

### (3) 任期

令和 6 年 6 月 1 日～令和 7 年 5 月 31 日

### (4) 人数

481 人（第 2 回調査実施時点）

### (5) 所管課

市民局 市民文化部 市民協働課

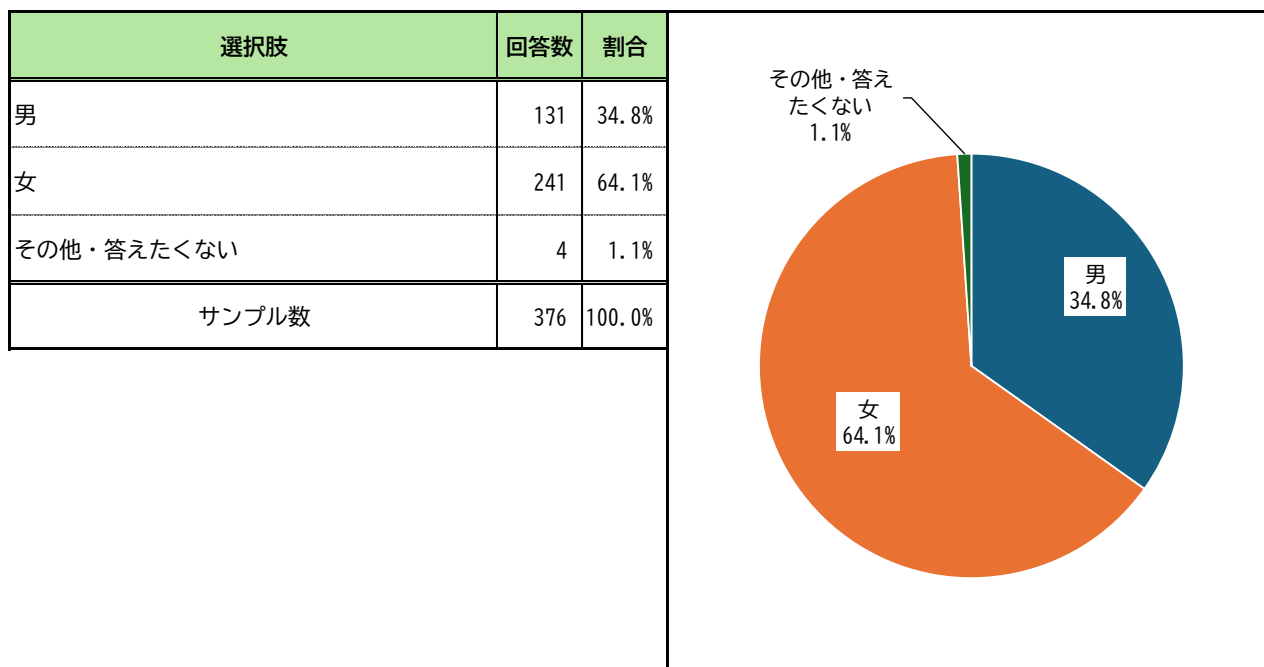
## 2 第2回調査の概要

### (1) 調査概要

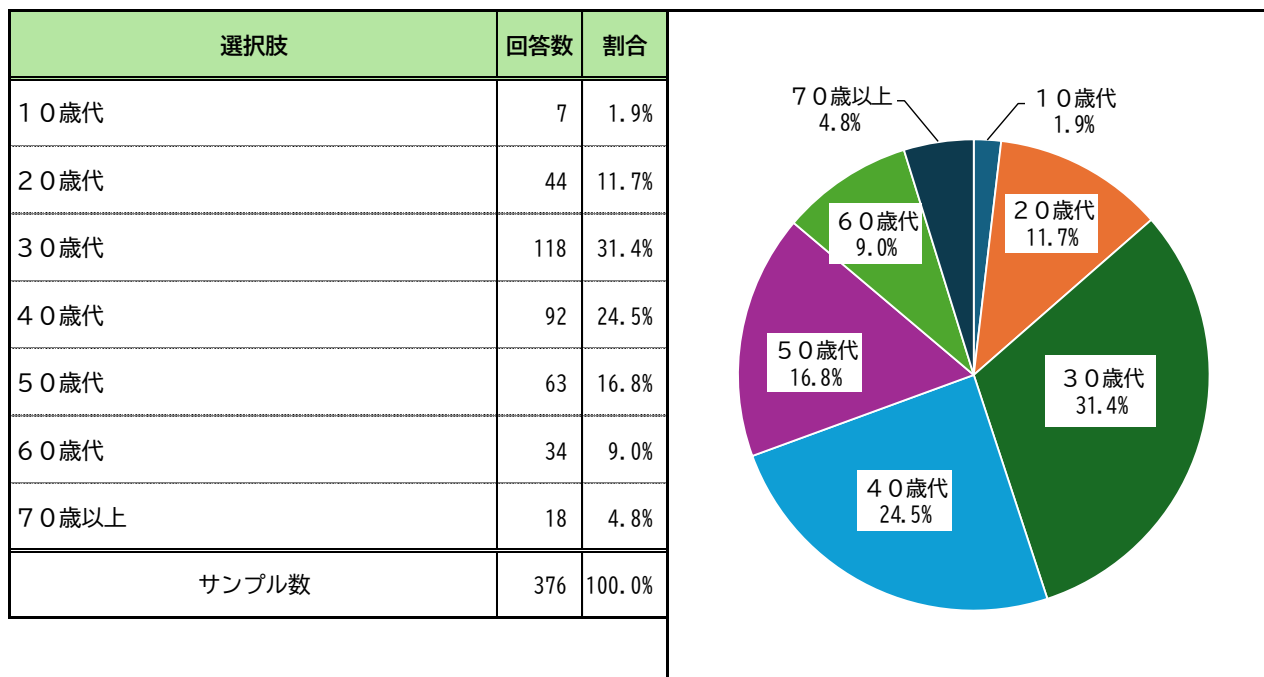
テーマ/担当課	「ゼロカーボンシティかごしま」について	環境政策課
	生物多様性について	環境保全課
	市民が利用したくなる美術館について	美術館
調査期間	令和6年9月2日(月)～令和6年9月16日(月)	
回答率	78.2%(376人)	

### (2) 回答者属性

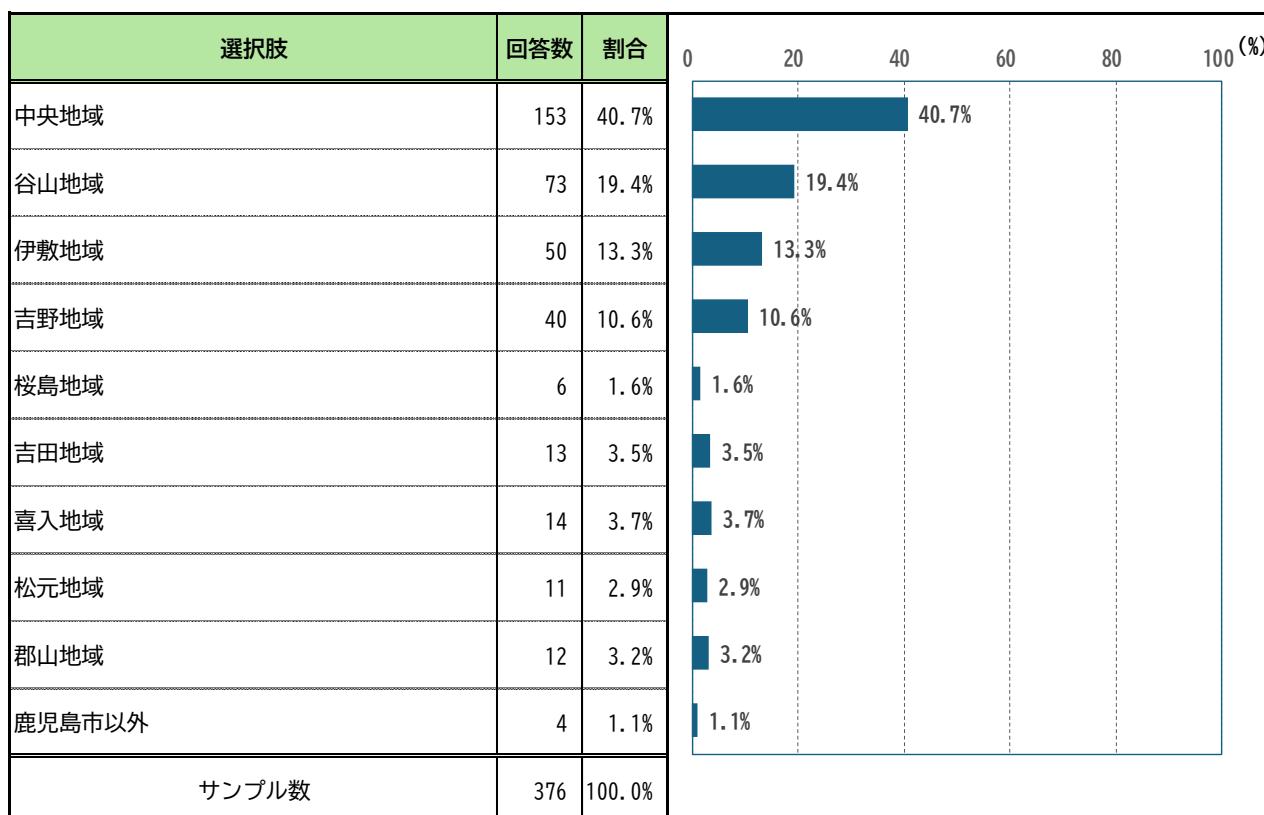
問1：性別を選択してください。(ひとつだけ)



問2：年代を選択してください。（ひとつだけ）



問3：お住まいの地域を選択してください。（ひとつだけ）



### 3 報告書上の留意点

- ・ 構成比は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。
- ・ 複数回答可の質問の構成比の合計は100%を超えることがあります。
- ・ 設問文や選択肢等の表記において、原文より変更している場合があります。
- ・ 不適切な表現がみられた意見については、一部削除しています。

## Ⅱ 「ゼロカーボンシティかごしま」について

### 1 調査の目的

2023年の世界の平均気温は観測史上最高となり、世界規模で異常気象が発生し、大規模な自然災害が増加するなど、気候変動問題への対応は今や人類共通の課題となっています。このような中、鹿児島市は、2050年までに地球温暖化の原因であるCO<sub>2</sub>排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向けて取り組んでいます。

市民・事業者のみなさまのご協力により、本市のCO<sub>2</sub>排出量は年々減少傾向にあります。ゼロカーボンという高い目標を達成するには、さらなる取組が必要です。

つきましては、市民のみなさまの脱炭素に向けたご意見や考え方を把握し、今後の施策に反映するためにアンケートを実施させていただきました。

### 2 調査結果を受けて担当課（環境政策課）からのコメント

「ゼロカーボンシティかごしま」について、市民のみなさまの認知度やCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取組への考えなどを伺うためにアンケートを実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきました。誠にありがとうございます。

令和元年12月に「ゼロカーボンシティかごしま」を宣言し、ロゴマークや動画、SNSなどによるPRを進めてきましたが、約6割の方が「ゼロカーボンシティかごしま」が目指す状態を「知らない」と回答されていることや、自由意見でも同様の回答をされた方が多くいらっしゃったことから、認知度が高まっていないことが分かりました。また、「ゼロカーボンシティかごしま」の広報について、「テレビ・ラジオ」や「SNS」が効果的とのご意見をいただきましたので、今後の広報手段の検討において参考とさせていただきます。

一方、CO<sub>2</sub>の排出量を減らす取組に対して、「すでに取り組んでいる」、「今後取り組みたい」と回答された方が合わせて97.1%となり、市民のみなさまの脱炭素に向けた意識の高さが分かりました。また、広報の内容について、「家庭でできる脱炭素につながる取組」が掲載されていたら効果的との意見をいただきましたので、今後の情報発信の参考とさせていただきます。

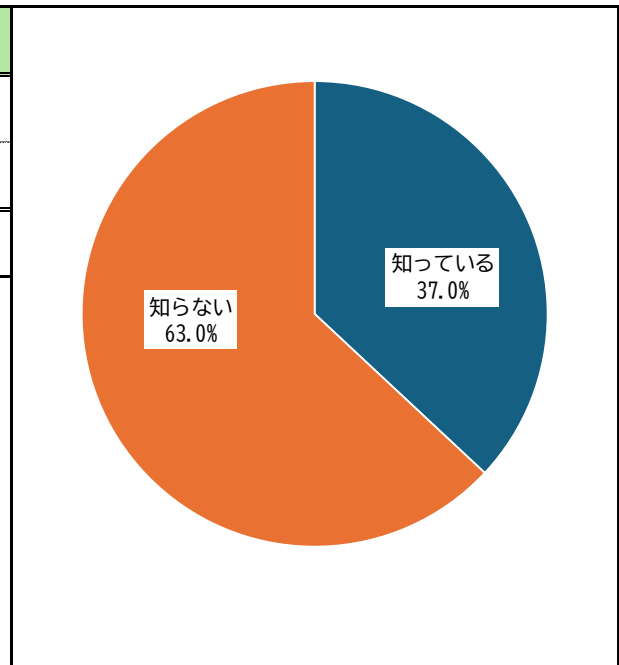
今回の調査結果を踏まえ、効果的な情報発信に努め、「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向けた地球温暖化対策を推進してまいります。

### 3 調査結果

問4：あなたは「ゼロカーボンシティかごしま」が目指す状態(CO2 排出量を実質ゼロにする)がどのようなものかを知っていますか。(ひとつだけ)

「知っている」が37.0%、「知らない」が63.0%となっています。

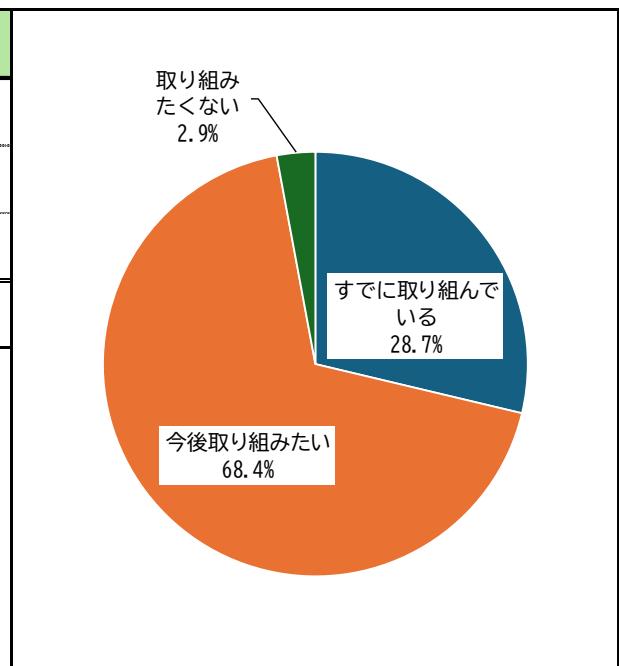
選択肢	回答数	割合
知っている	139	37.0%
知らない	237	63.0%
サンプル数	376	100.0%



問5：「ゼロカーボンシティかごしま」の実現には、市民一人ひとりがCO2 排出量を減らす取組が必要です。そのような取組について、どのように考えていますか。(ひとつだけ)

「すでに取り組んでいる」は28.7%ですが、「今後取り組みたい」が68.4%と高く、「取り組みたくない」は2.9%となっています。

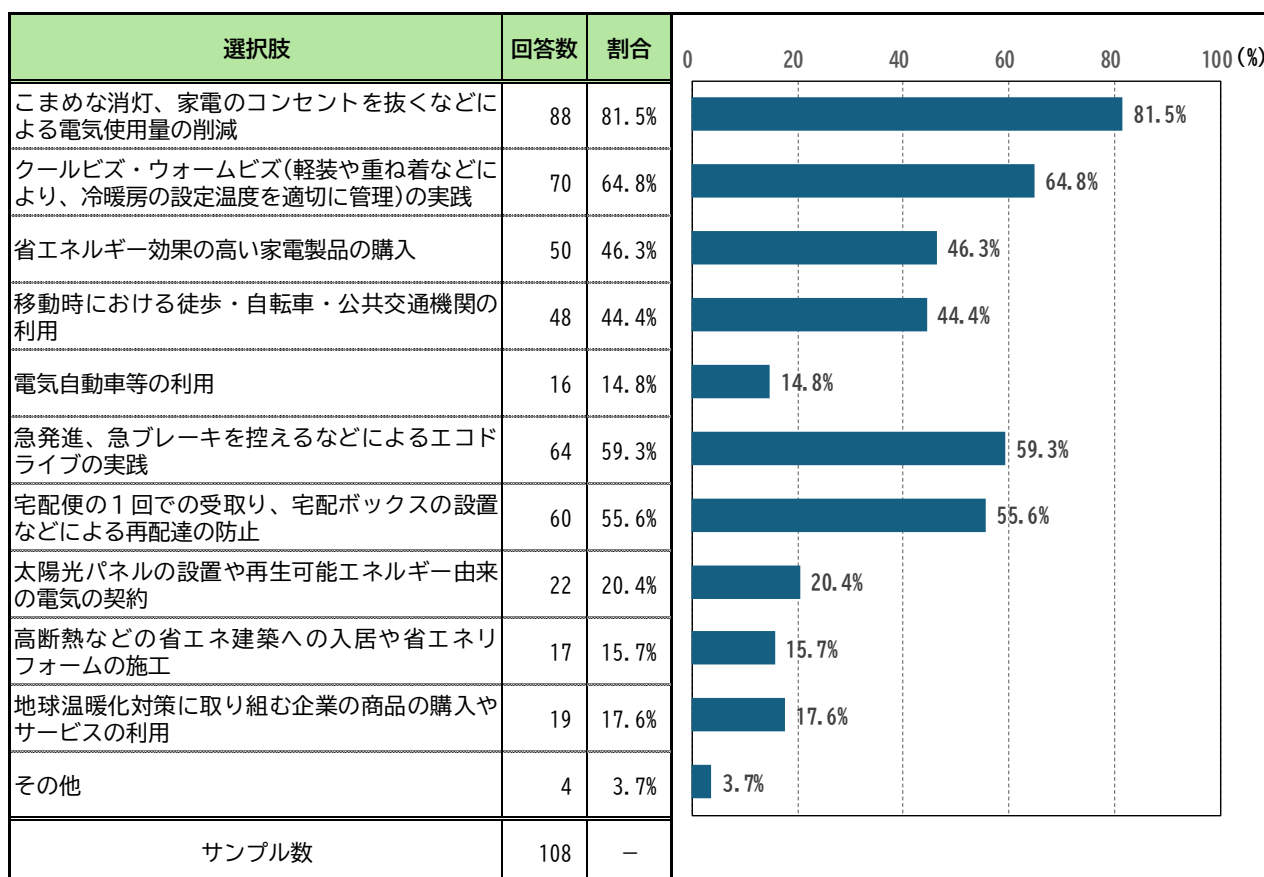
選択肢	回答数	割合
すでに取り組んでいる	108	28.7%
今後取り組みたい	257	68.4%
取り組みたくない	11	2.9%
サンプル数	376	100.0%





問6：【問5で「すでに取り組んでいる」とお答えした方にお伺いします。  
現在取り組んでいるものはありますか。(いくつでも)

「こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気使用量の削減」が81.5%と最も高くなっています。次いで「クールビズ・ウォームビズ(軽装や重ね着などにより、冷暖房の設定温度を適切に管理)の実践」(64.8%)、「急発進、急ブレーキを控えるなどによるエコドライブの実践」(59.3%)、「宅配便の1回での受取り、宅配ボックスの設置などによる再配達防止」(55.6%)となっています。



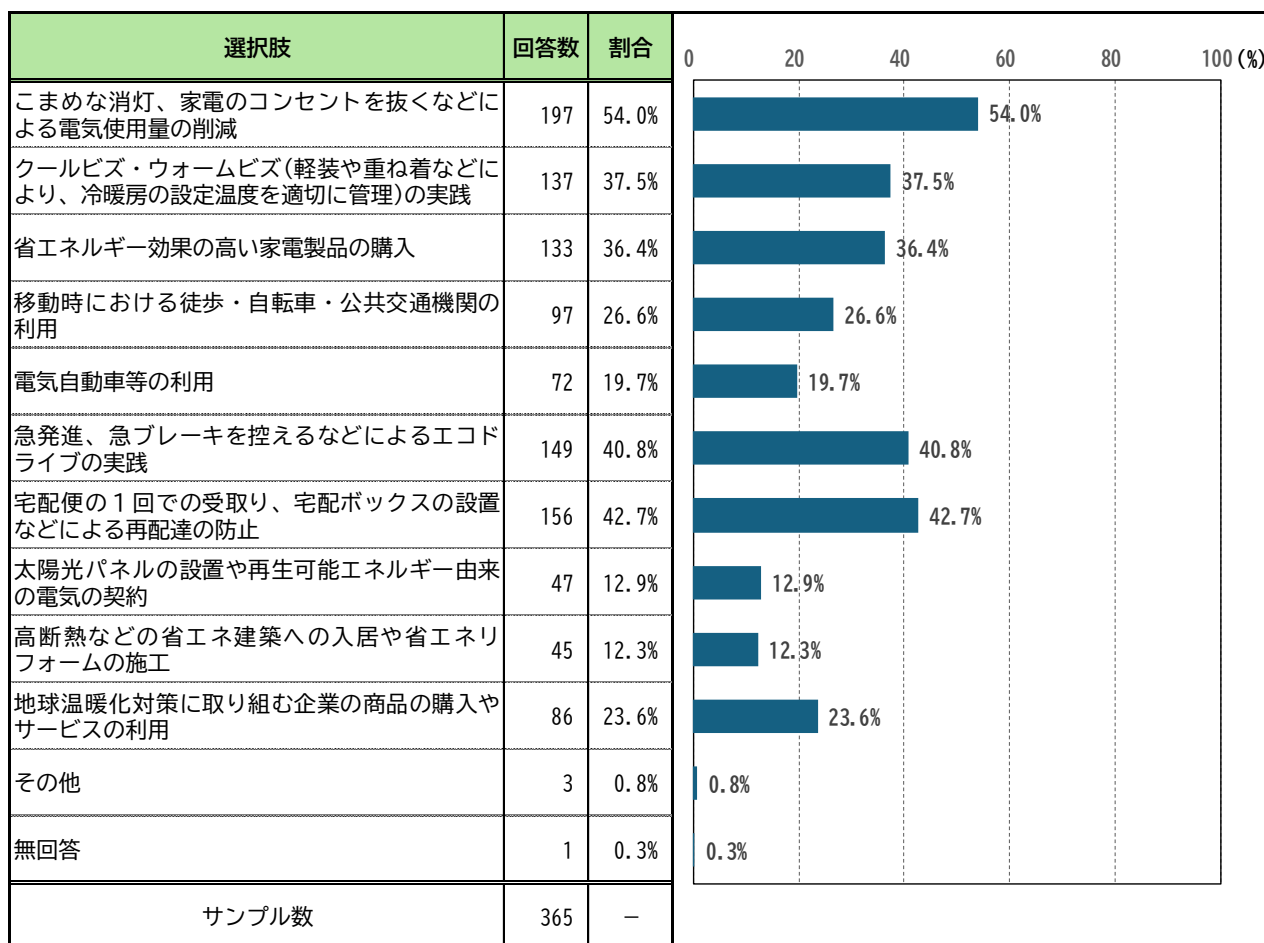
【その他の回答】(原文のまま)

- ペットボトルのリサイクル化。
- リサイクル
- 枯れ葉のたい肥化で焼却を防いでいる。
- 鹿児島市内での経済活動を抑制することで、間接的に燃焼ゴミの算出を防いでいる。

問7：【問5で「すでに取り組んでいる」「今後取り組みたい」とお答えした方にお伺いします。】

今まで取り組んでいなかったが、今後の日常生活や仕事の中で新たに取り組んでみたいことはありますか。(いくつでも)

「こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気使用量の削減」が54.0%と最も高くなっています。次いで「宅配便の1回での受取り、宅配ボックスの設置などによる再配達防止」(42.7%)、「急発進、急ブレーキを控えるなどによるエコドライブの実践」(40.8%)となっています。



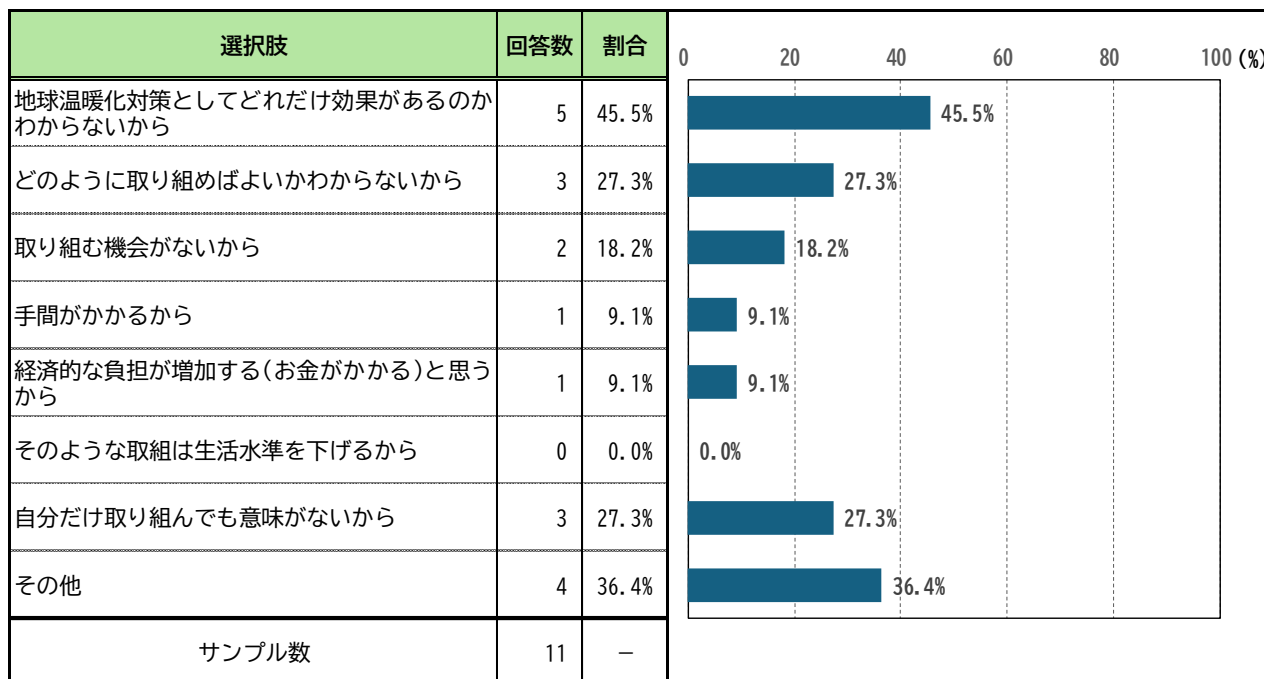
【その他の回答】(原文のまま)

- 生ゴミ処理機の導入(補助をもう少し大規模にして欲しいです。)
- 鹿児島市から他県へ転出することで、鹿児島市内におけるゴミの産出を防ぐ予定。
- 無い。

問8：【問5で「取り組みたくない」とお答えした方にお伺いします。】

取り組みたくない理由は何ですか。(いくつでも)

「地球温暖化対策としてどれだけ効果があるのかわからないから」が 45.5%と最も高くなっています。次いで「どのように取り組めばよいかかわからないから」(27.3%)、「自分だけ取り組んでも意味がないから」(27.3%)となっています。

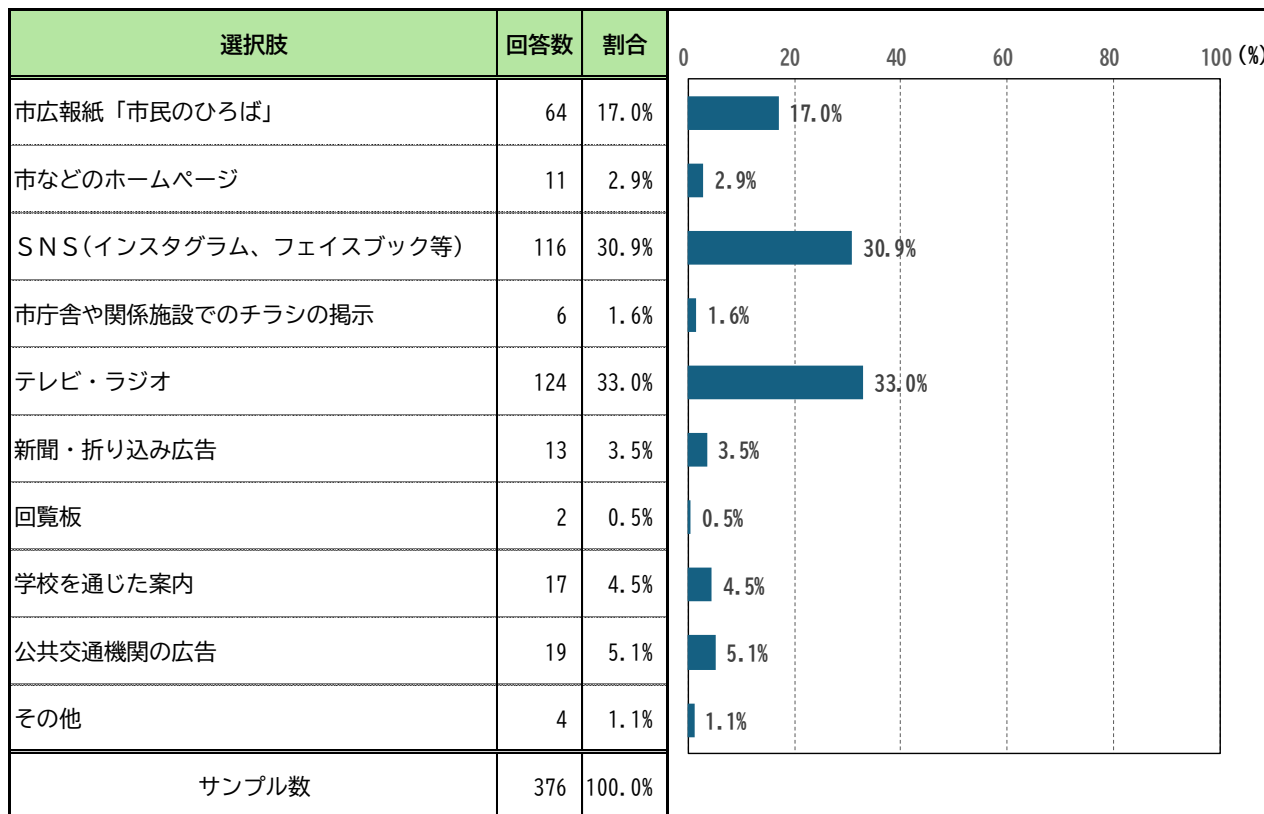


【その他の回答】(原文のまま)

- 電気自動車は街乗りの車以外は非現実的です。充電ステーションに行列するような不便さを受け容れられるとは思えない。あと、安全性に疑問が残る。充電バッテリーの性能が信用性低く発火の可能性を持つ以上、電気自動車を選ぶことがない。ちなみにスマホの充電器も火事の可能性があるためなかなか利用できない。
- 今ある物を大事に永く使う事がECOになると考えている。新しく製品を造る際に発生する工場からのCO2も換算した資料を今まで見たこと無く、偽善的、表面的な活動であると思っている。特に太陽光。森林切り拓いて設置等愚の骨頂。
- 温暖化は本当に起きているのか、専門家も意見が割れていませんか？気候変動は起きていると理解していますが、二酸化炭素が大きな原因として、その主な排出国はアメリカと中国だったように思います。鹿児島市や日本のゼロカーボン化は、実質的な効果があるのでしょうか？経済的なトレンドとして、ゼロカーボンはクールかもしれませんが…。もしかしたら、変動する気候応じた生活習慣や技術を発展させる方が良いのかも？
- 取り組む意味を感じない。

問9：「ゼロカーボンシティかごしま」の広報は、どのような方法が最も効果的だと思いますか。(ひとつだけ)

「テレビ・ラジオ」が33.0%と最も高くなっています。次いで「SNS(インスタグラム、フェイスブック等)」(30.9%)、「市広報紙「市民のひろば」」(17.0%)となっています。

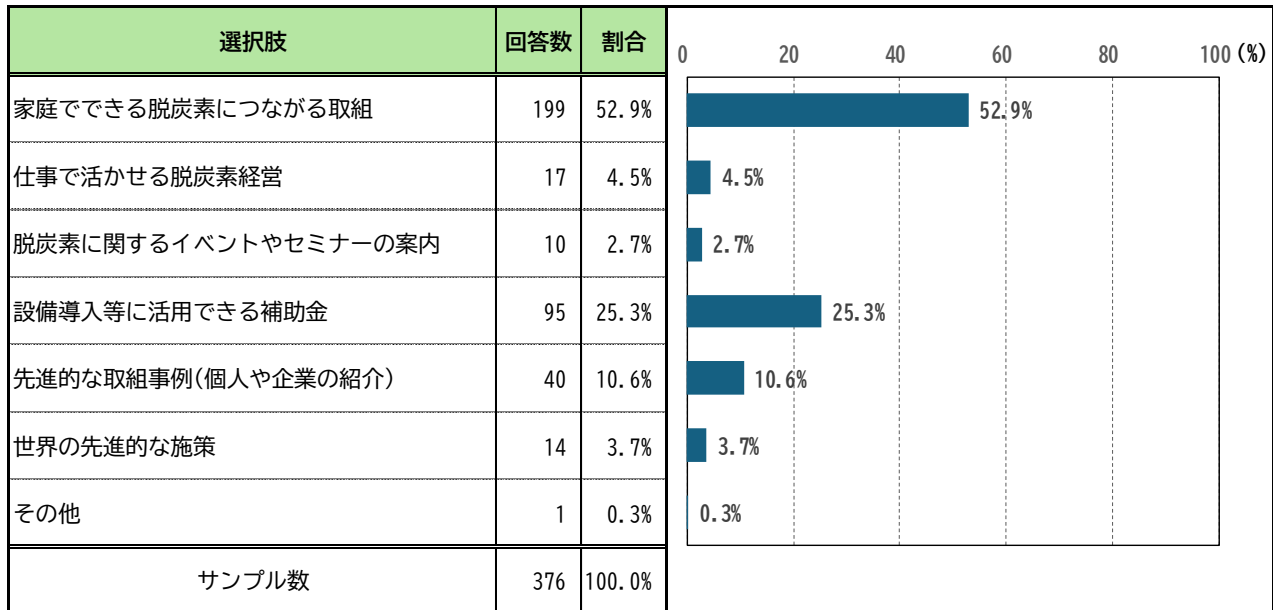


【その他の回答】(原文のまま)

- 具体的な補助金などメリットのあること。
- 市関連イベントでの概要周知(サマーナイト、おはらまつりなど)
- 耳に残る、印象に残るような CM ソングとかあれば、これなんだっけ。って日常に溶け込みやすくなると思う。1度知名度を上げて、その後に情報発信すると、伝わる広さがかなり変わってくると思う。
- Youtube

問10：「ゼロカーボンシティかごしま」の広報について、どのような内容が掲載されていたら最も効果的だと思いますか。（ひとつだけ）

「家庭でできる脱炭素につながる取組」が52.9%と最も高くなっています。次いで「設備導入等に活用できる補助金」（25.3%）、「先進的な取組事例（個人や企業の紹介）」（10.6%）となっています。

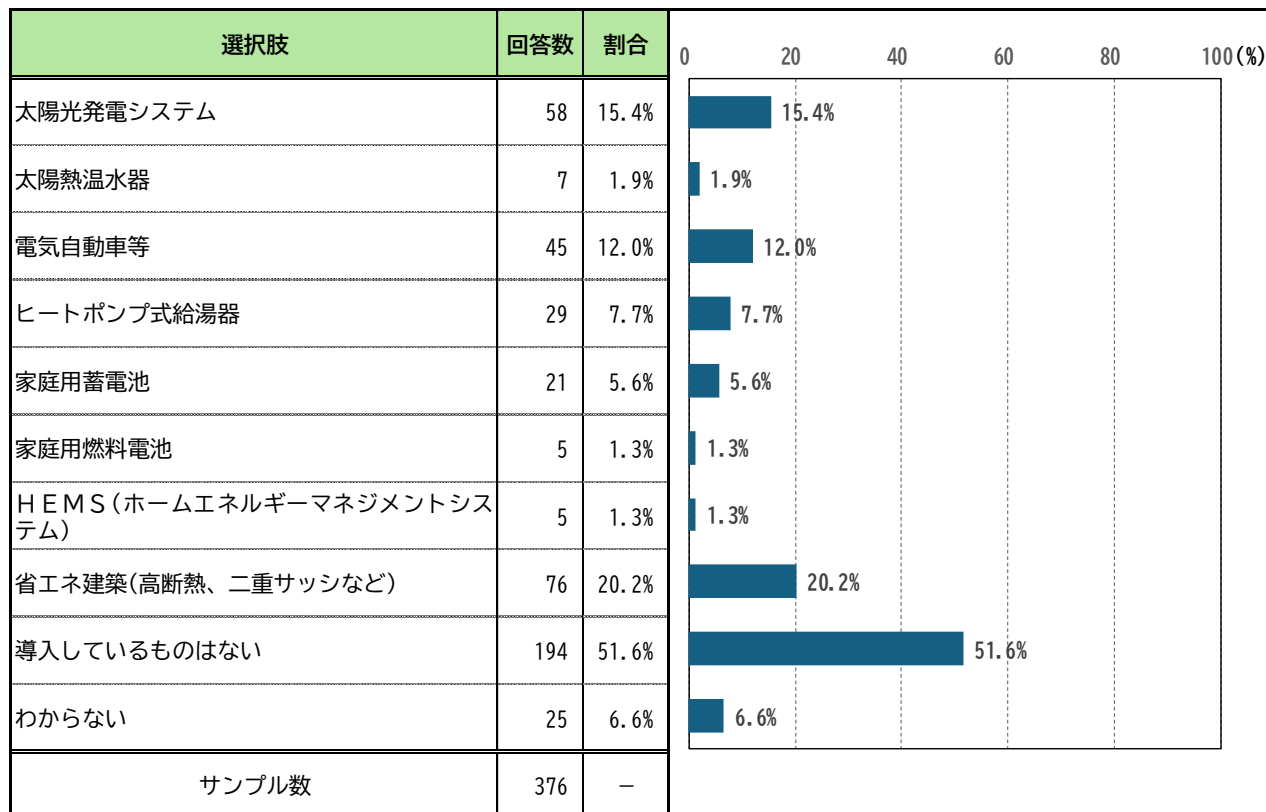


【その他の回答】（原文のまま）

- ゼロカーボン化の要を解説する記事。個人なのか企業なのか、減らすのが大事なのか木を植えるのが大事なのか、素人には分かりませんで…。

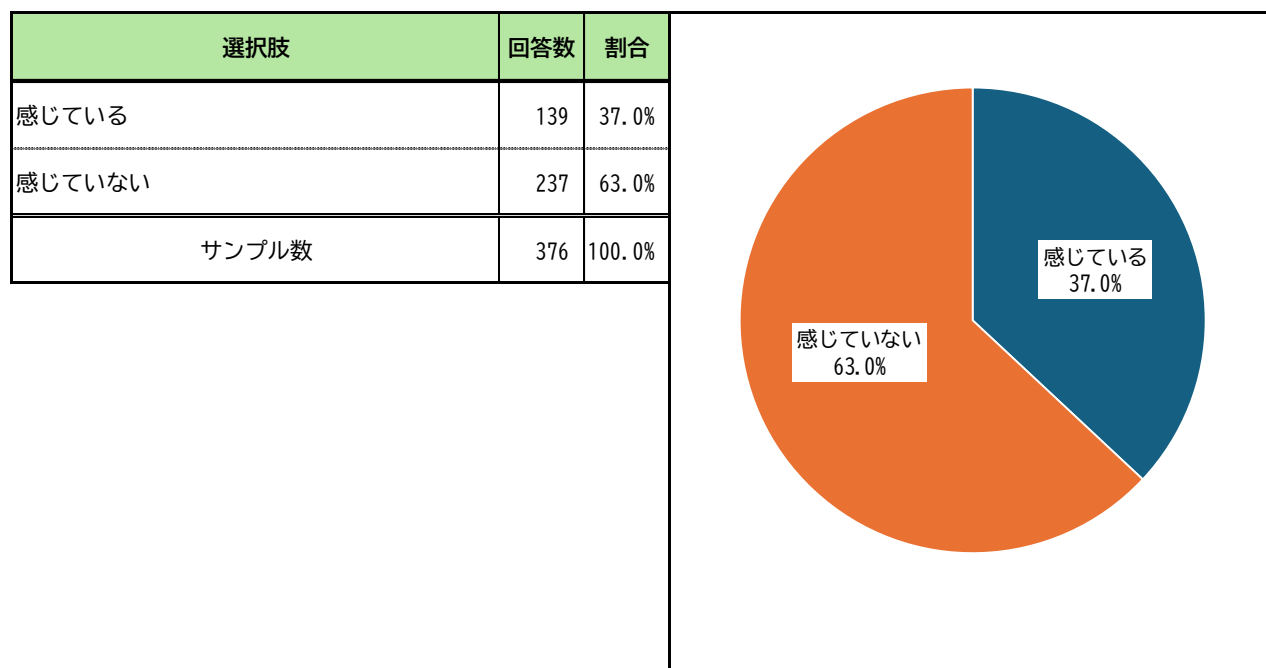
問11：次のようなエネルギーに関連する機器類をご自宅に導入されていますか。(いくつかでも)

「導入しているものはない」が51.6%と最も高くなっています。次いで「省エネ建築(高断熱、二重サッシなど)」(20.2%)、「太陽光発電システム」(15.4%)、「電気自動車等」(12.0%)となっています。



問12：本市の地球温暖化対策は進んでいると感じていますか。(ひとつだけ)

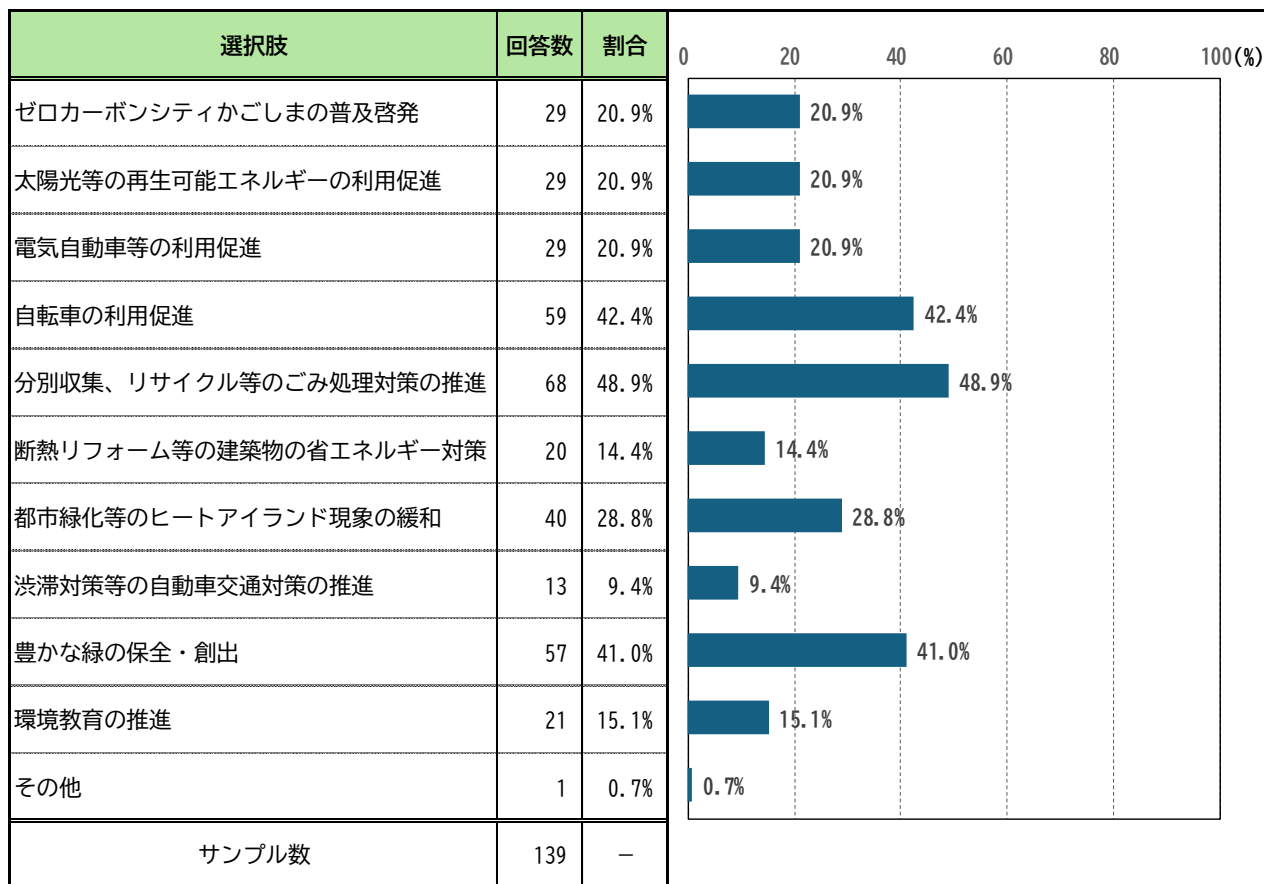
「感じている」が37.0%、「感じていない」が63.0%となっています。



問13：【問12で「感じている」とお答えした方にお伺いします。】

次の地球温暖化対策のうち、本市で進んでいると感じるものはどれですか。  
(いくつでも)

「分別収集、リサイクル等のごみ処理対策の推進」が48.9%と最も高くなっています。「自転車の利用促進」(42.4%)、「豊かな緑の保全・創出」(41.0%)となっています。



【その他の回答】(原文のまま)

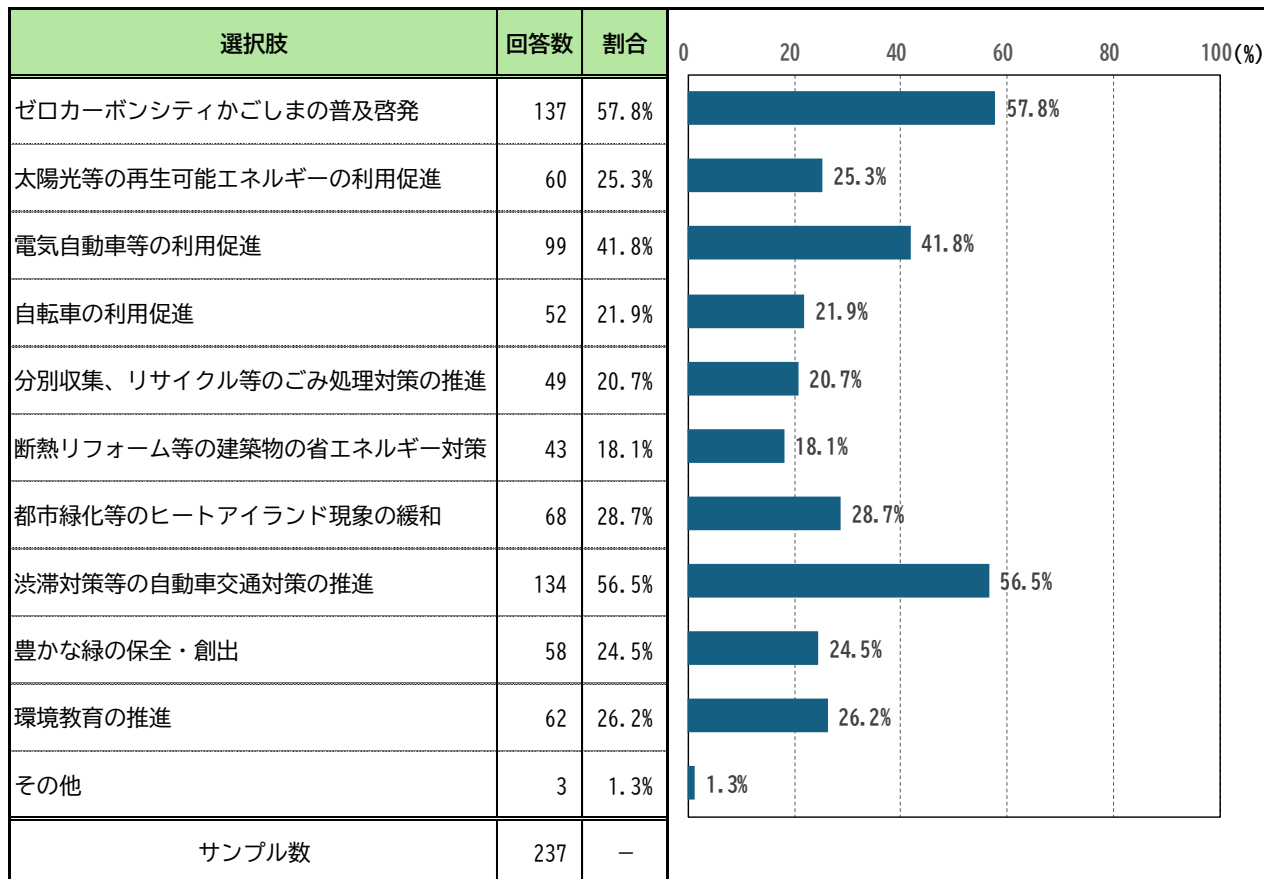
- 環境取り組みと温暖化の因果がわからない。江戸時代にも高温はあった。

問14：【問12で「感じていない」とお答えした方にお伺いします。】

次の地球温暖化対策のうち、本市で進んでいないと感じるものはありますか。

(いくつでも)

「ゼロカーボンシティかごしまの普及啓発」が57.8%と最も高くなっています。次いで「渋滞対策等の自動車交通対策の推進」(56.5%)、「電気自動車等の利用促進」(41.8%)となっています。



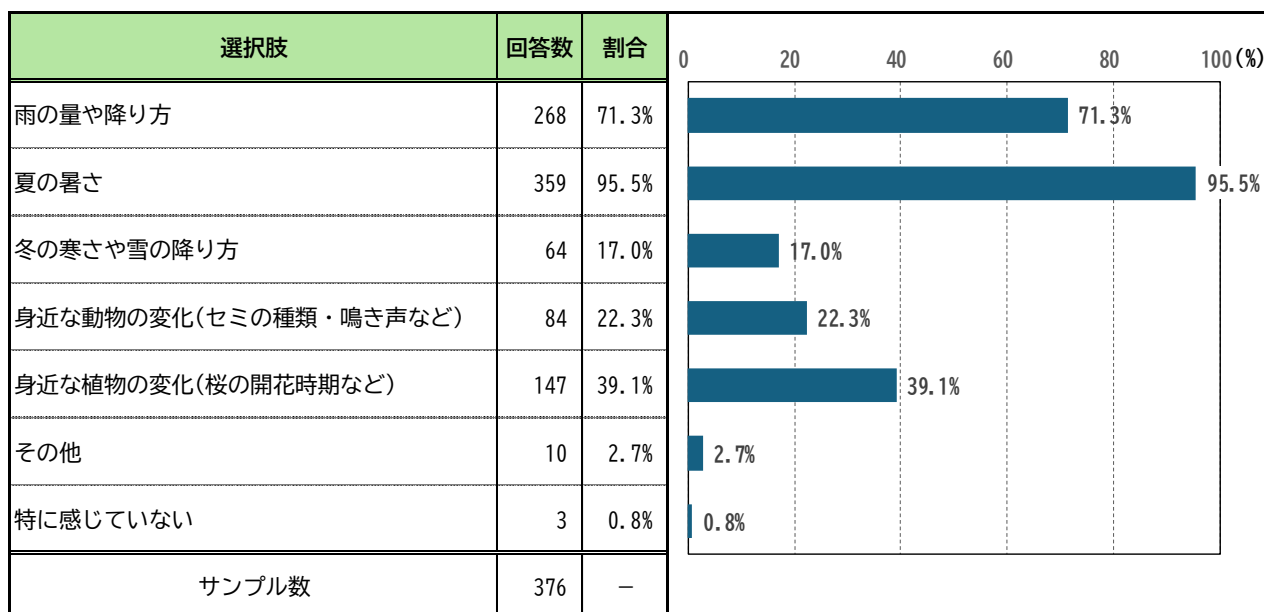
【その他の回答】(原文のまま)

- 進んでいないとゆうよりも初めて知った。
- 太陽光は桜島の降灰がある以上利便性があるとも思えない。自転車の利用は平地なら向いているが山谷の多い鹿児島市には不向き。渋滞の緩和は燃費にかかわるので緩和したほうがいい。渋滞しない遠方へ(松元や小山田など)買い物に行ったほうがガソリンが減らない。
- 公共交通機関の利用促進。



問15：次の気候変動影響のうち、日常生活で感じるものはありますか。(いくつでも)

「夏の暑さ」が95.5%と最も高くなっています。次いで「雨の量や降り方」(71.3%)となっています。

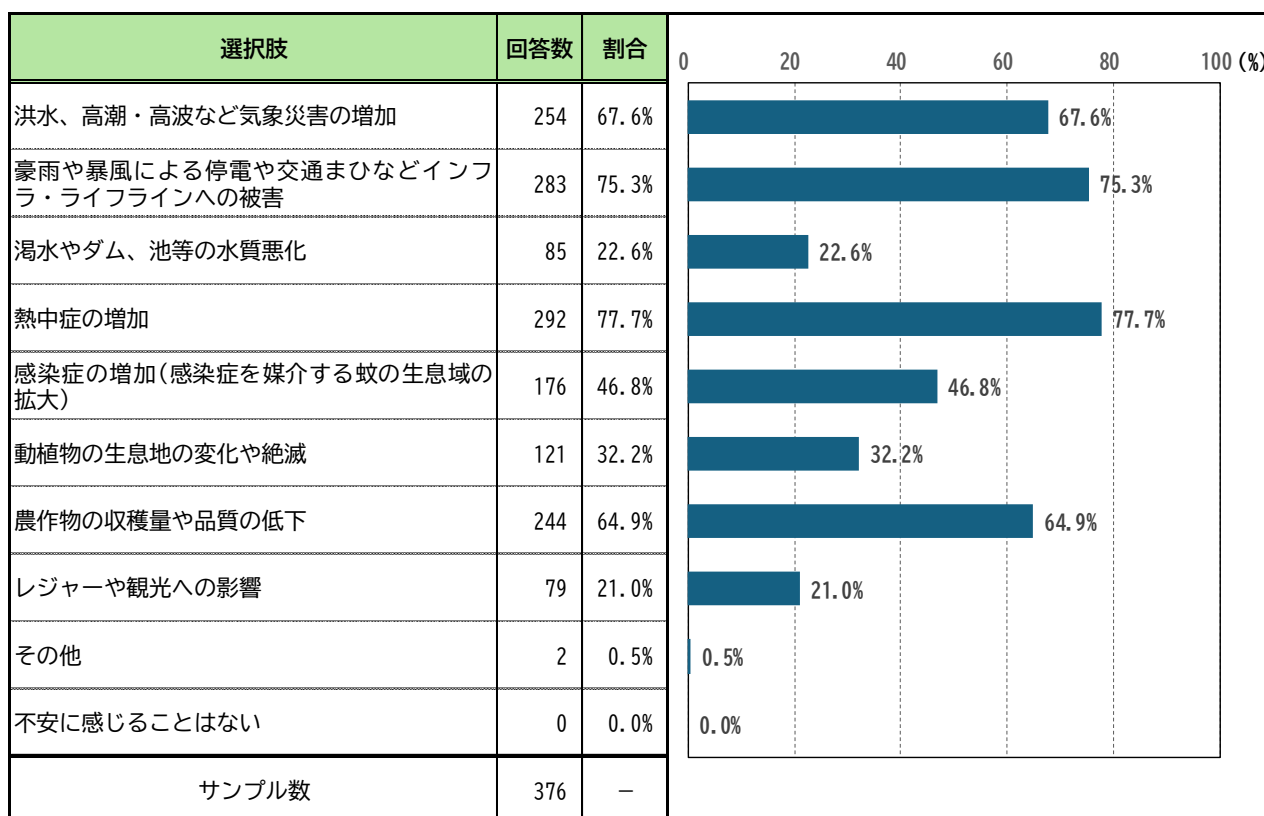


#### 【その他の回答】(原文のまま)

- 夏なのにとんぼが多い。
- 海水温の上昇。南方系の魚が獲れる。
- 昆虫の時期や数(父親がフィールドワークに詳しいため)
- 小道路の部分的陥没。
- 台風が発生する時期。
- 台風の発生や動き、夏のあと秋を感じずに急に寒なり冬が来る。
- 台風や海流など。
- 地球温暖化はあるのかもしれないが、日本だけがやっても意味がない。温暖化や寒冷化はあるものだと思うので地球にある揺らぎ事態に温暖化があるのなら意味があるのだろうか疑問に思う。以前はオゾン層のことをいろいろ言われてフロンガスを使わないようになったと思う。何か問題がないといけないのだろうか？
- 農作物を荒らす害虫の多さ。
- 農産物や海産物などの生産量の変化。年によって販売価格も変わる。

問16：気候変動影響のうち、私たちの生活に及ぼすものとして、あなたが不安に感じるものはありますか。(いくつでも)

「熱中症の増加」が77.7%と最も高くなっています。次いで「豪雨や暴風による停電や交通まひなどインフラ・ライフラインへの被害」(75.3%)、「洪水、高潮・高波など気象災害の増加」(67.6%)、「農作物の収穫量や品質の低下」(64.9%)となっています。



【その他の回答】(原文のまま)

- 温暖化現象でエアコンが欠かせない生活でますます、気温が上がりエアコンが必須になりと悪循環。
- 農作物の着色不良や着果不良。そのほか、亜熱帯化することへの現農作物の減少。

問17:「ゼロカーボンシティかごしま」について、市の取組の良い点または改善点がありましたら、自由にご記入ください。(任意回答)

【回答一覧】(原文のまま)

回答内容	性別	年齢	地域
<p>・家庭に対してのアプローチも大事だが、若い世代へのアプローチ方法はまた違ったことが必要になると思う。</p> <p>・例えば、太陽光発電を薦めたとしても太陽光発電という選択を採らないと決めた人にはその後どのようなことをしてもあまり効果はない気がする。(もちろん、「そこまで言うならやる」といった人や詳しく知ると必要だと考えを改める人などもあると思うため、一概には言えない。)</p> <p>太陽光発電は導入までに大きなお金を要するというのも難しいところではあるが、他に例えば「かごりん」の場合でも、最初から興味が無い層に働きかけるキャンペーンなどを行うことも考えてみていいかもしれないと思った。使う人は使うであろうが、使う気がさらさらない人にとってはただ置いてあるものだという認識でしかないと思う。</p>	女	20歳代	中央地域
<p>セミナーの開催に関して、正直な感覚としては敷居が高く感じ、積極的に参加の意欲が湧きにくい。</p> <p>特に若年層の情報収集源はSNSが主だと思うので「なんか面白そう」と一瞬でも思えば、目に止まって興味が湧くかなと思う。</p> <p>市の取組だからこそ、あえて大胆なバズり方をしてもいいと思うし、注目を集めて発信できれば、もっと知ってもらえる範囲が広がると思う。時代に合わせて発信方法も変化していったほうがいいです??</p>	女	20歳代	中央地域
<p>テレビや新聞広告を見ない層には取り組みが普及していないと思う。若者にも興味が持てるイベントや学校での出前授業での取り組みの浸透が必要かなと思う。</p>	男	20歳代	中央地域
<p>以下、身の回りの聞き取りを踏まえた経験談をもとに記述する。</p> <p>鹿児島市の取り組み自他は素晴らしい。しかし、若い世代は生活に必死であるので、テレビや市報などの宣伝伝搬媒体に目を通す機会が少ない。社会人はなおさらである。仕事を終えた帰宅後に市の広報に目を通す暇はない。</p> <p>よって、鹿児島市の取り組みを広報する手段が重要だと思います。</p> <p>具体的な提案としては、”ゼロカーボンシティかごしま”における取組の娯楽化である。まずテレビでの広報では単調な形態に陥りやすいCMなどを用いるべきではない。地元テレビが取材しやすい体制を整えるべきである。例えば、地元テレビ局が家庭での取り組みなどを天文館などでインタビューするだけで、市民の関心は高まる。</p> <p>これまでの広報の成果は鹿児島市政策課のフォロワー数579人に集約されている。これはインスタなどを多用する若い世代の関心が薄いことを意味している。このような受動的な取り組みは本質ではない。</p> <p>交通渋滞解消に関しては、もう少し積極的な広報が必要であると考えている。具体的には、渋滞解消により得られる恩恵、すなわち、市民に夢を抱かせることが重要である。</p>	男	20歳代	中央地域
<p>正直、鹿児島市で取り組んでいる具体的な内容を今まで知りませんでした。</p> <p>大多数の市民が、自ら進んで調べる取り組みではないと考えられるため、より多くの人の目に留まるような広報活動が必要なのではないでしょうか。</p> <p>その手段として、SNSでの広報・地元インフルエンサーとのSNS企画・保育園から大学までの幅広い子どもへ向けた講話や課外授業・企業が取り組めるような寄付や寄贈の募集企画(例:ホンデリングやバルマーク集めなど)・社会貢献活動としてのボランティアの募集(活動を多くの方に知ってもらい、体験してもらう機会)などを思い浮かべました。なにかの参考になれば幸いです。</p>	女	20歳代	中央地域
<p>インスタやYouTube等の広告で短時間でも目に入るようにしてみたら、認知度が上がると思います。</p> <p>若い家庭は、紙媒体はあまり目を通さない方も多いと思います。</p>	男	30歳代	中央地域
<p>かごりんの取り組みやゼロカーボンシティかごしまの掲示をみたことがある。その掲示物の中に鹿児島が取り組んでいることを写真と一言入れたら、(入れてあったかもしれないが)協力できたり、協力できていることを自覚できそう。</p>	女	30歳代	中央地域
<p>かごりんはとても良いと思う</p>	女	30歳代	中央地域
<p>学校を絡めた啓発活動もいいと思ったが、もっと市全体でゼロカーボンシティかごしまを意識できるように工夫が必要だと思う。大きな企業やホテルの従業員や病院などでも積極的に協力を仰ぐべき。</p>	女	30歳代	中央地域

回答内容	性別	年齢	地域
環境みらい館やセンテラス等で、子どもたちでも分かるような展示や説明があり、ゼロカーボンシティ鹿児島への理解が深められて、いいと思いました。また、職場対抗のウォーキング大会もあり、皆が楽しく活動に取り組みました。	女	30歳代	中央地域
個人でもすぐ実践できることを、様々な形で発信して欲しい。 ”ゼロカーボンシティ”言葉と内容の定着の必要性を感じます。	女	30歳代	中央地域
公共交通機関の減少 バスなど本数が減っていると、ない時間は車を使用してしまう。	女	30歳代	中央地域
取り組みが普及していない。	女	30歳代	中央地域
世の中の流れや流行りということ以外、ゼロカーボンシティかごしまを目指す上での意義がよくわからない	男	30歳代	中央地域
他県でシェアサイクルを利用したことがあります。鹿児島では利用したことがありません。地形的にも維持管理も難しいのは分かっているのですが、もう少し広い範囲で使えるようになるといいのになと思うことはあります。 電気自動車も使用していましたが、充電場所が限られていますし、数も多くはないので、まずはそこを増やすのが先だろうと思います。 二酸化炭素を削減するために植林をする一方で、太陽光パネル設置のために大規模伐採を行っていたら意味がないように思います。 太陽光パネルの設置だけは、理解できないことが多いので改めて勉強します。	女	30歳代	中央地域
良い点として、ゼロカーボンシティかごしまは、豊富な自然資源を活かして再生可能エネルギーを推進し、地域経済を活性化させる点と、市民が主体的に参加できる取り組みを通じて持続可能な社会づくりを目指している点です。 一方、ゼロカーボンシティかごしまは、再生可能エネルギーの導入に高い初期投資が必要で、一部の人々にとって負担が大きいこと、そして長期的な成果が不確実で、技術や政策の変化に影響されやすい事が懸念されそう。 改善策として、1. コスト負担の軽減を実現し、補助金やローン制度を充実させ、再生可能エネルギー導入の初期コストを軽減する。 2. 柔軟な計画と評価を実行し、技術や政策の変化に対応するため、計画を柔軟に見直す仕組みを導入する。 3. 市民教育と意識向上を周知させ、環境教育や情報提供を強化し、市民の理解と協力を促進する。	男	30歳代	中央地域
・育児に夢中で新聞や広告を見ることが、極端に減っている。そういう人たちには、テレビやラジオでの呼びかけがあると、浸透しやすいのかなと感じた。	女	40歳代	中央地域
アスファルトが増えると、単純に熱くなるように感じますが、道路が増えていくイメージがあります。	女	40歳代	中央地域
ゼロカーボンシティかごしまをもっと多くの人に知ってもらおうような色々な方の良く読むリビングかごしまなどでもしてもよいかと思います。今年は本当に暑かったのでみんな意識してみてください。	女	40歳代	中央地域
ゼロカーボンについて分かっていません。知るようにしたいです。	女	40歳代	中央地域
業務でゼロカーボンシティのことを知っており会社として取り組みを実施していますが、私生活で率先して活動している人は見ている限りまだまだ少ない感じがします。まずは何かしらのポイント付与や優待など、興味を持ってもらえるきっかけ作りを行い活動を自分事として捉えてもらうことがスタートだと思っています。	女	40歳代	中央地域
現時点での取り組み内容を把握できておらず、同じような認識の人が多くいることが問題の一つだと思われる	女	40歳代	中央地域
広報にもっと力を入れる必要があると感じます。	男	40歳代	中央地域

回答内容	性別	年齢	地域
市民に周知されていないと思う。こまめな消灯やクールビズなどは、広く一般的な取組なので、やってる方は多いと思うけど、鹿児島市として、の取組については、知らない人がほとんどかなと思う。 年配の方たちは、昔から無駄をしない。生活を送ってきてるので、自然とecoに結びついてるかと思うので、どちらかというとも40代より下の世代に響くような宣伝活動が必要かと思う。 鹿児島は桜島、数々の美しい島があるので、この自然たちを後世に美しいままで引き継がないといけないと思う。 日本だけでなく、世界の取組などを研究して市民に伝えて欲しい。鹿児島がecoで日本を引っ張るくらいの気合いがあるかも。いつかその取組が鹿児島をもっと知ってもらえることに繋がります。若い人は映えるものが好きだから、欧米の小洒落たエコ雑貨とか紹介しても良いかも。	女	40歳代	中央地域
実際には、「ゼロカーボンシティかごしま」の取り組みを行っているのかもしれませんが、それが市民にはほぼ見えていないと思われまます。	男	40歳代	中央地域
取り組みに対してのメリットがわかりにくく、見えにくい。達成することでどの様なメリットがあるのか？具体的に琴線のなものでなくても、周りからの鹿児島市に対するイメージなど明示できるものがあるとわかりやすい。 また進捗や工程表などがあると前向きに取り組める様になると思う	男	40歳代	中央地域
設備設置や自動車購入での補助金を充実させてほしい。	男	40歳代	中央地域
「ゼロカーボンシティかごしま」の事をアンケートで初めて知った。もしかしたら、市のホームページに掲載されているのかもしれないけれど、「ゼロカーボンシティかごしま」をもっと市民に知ってもらう為に、色々な媒体を使って発信する事が大切だと思います。	男	50歳代	中央地域
ゴミの減量化に取り組んでいるところが良いです	女	50歳代	中央地域
ゴミの減量化に取り組んでいる事が良いです	女	50歳代	中央地域
シェアサイクルかごりんは県外の方や会社関係の方々が気軽に使いいいと思います。	女	50歳代	中央地域
広報活動がまだ不十分だと感じます。目標が大きすぎてあまり身近に感じる事ができないのかもしれない。短期的なすぐにできそうな目標を具体的に提示してほしい。	男	50歳代	中央地域
市がどんな取り組みをしているのかよくわからないので、広報活動にもっと力を入れて、市民の関心が深まり自分の生活に取り入れられるようになると良いと思う。	女	50歳代	中央地域
市民一人一人が意識して取り組まなければ意味がないのでまずは周知に力をいれるべき。このままだと将来ほぼ一年中猛暑日になるなどのイメージ映像を流すなど。	女	50歳代	中央地域
電気自動車の利用促進は単に走行時にCO2を排出しないということであって、必ずしもCO2排出削減には直結しない。発電方法と同時に考えなければならないので、「電気自動車利用促進」をゼロカーボンシティを促進する方策の一つには含めない方が良いでしょう。	男	50歳代	中央地域
良く取り組んでいると思うが市民へのPRが不十分だと思う。	男	50歳代	中央地域
ゼロカーボンシティと宣言だけしていても、何が行われているのか、知りません。目に見えてわかる様になって欲しいです。	女	60歳代	中央地域
まだまだ啓発は足りないと思います。ゼロカーボンシティをPRする可愛く魅力的なキャラクターを誕生させて、啓発をはかるのはどうでしょうか。	女	60歳代	中央地域
もっと解りやすく説明し、市民が協力出来る点等も具体的にしたい	女	60歳代	中央地域

回答内容	性別	年齢	地域
改善点があります。CO2排出量の「実質」ゼロを実現することで目的が達成されるかのような広報がなされていますが、温暖化は年々進行しているのに、実質ゼロでは回復が全く見込めません。既に海水温の上昇によって台風が深刻化し、また漁業にも大きな影響が出ているのに、「実質」ゼロではこのまま放置するに等しいと思います。実質ゼロを目標とすることで、ある部分でそれを達成すればその部分でのタスクが完了したかのように錯覚し、それ以上考えたり努力したりすることをやめてしまいます。市民一人一人がこの問題を考え続けなければいけない時代に、自分の事業は実質ゼロだからもう対策しなくていいな、と考えて思考停止させてしまうのは最も避けるべきことです。鹿児島市のこの「CO2排出量のゼロを目標とすること」という表現は、それを助長する以外の何物でもありません。消極的な上に上記のような悪影響まであるスローガンだと思います。	男	60歳代	中央地域
気にしていない方にも、何気に見がつく方法で、もう少しアピールしてもらおうと、何度も目に行っている間に、学習できるような方法がいいかと。	女	60歳代	中央地域
省エネ仕様の電気商品に買い換えたいと考えています。	男	60歳代	中央地域
太陽光発電は再生エネルギーの最たる物として推進しているが、使用期限到来後のパネル処分方法がみていであり、環境破壊になり得る。 また、このパネルの生産はあの侵略の懸念がある中国が占めている。 最近では、パネルに回線を使ったハッキングや詐欺行為もあり、非常に懸念を孕んでいる。 再生エネルギーも完全には否定はしないが、より安全で安定的な原子力エネルギーの推進を導入がより良いゼロカーボン推進になると思う。	男	60歳代	中央地域
電気自動車をよく路上で見かける。 太陽光発電の助成等	男	60歳代	中央地域
年齢の高い知識人たちの、提言を尊重するのではなく、これから鹿児島を支えていく年齢の若者の考え、例えば高校生たちの提言を大いに取り入れる必要がある。終わった人たちではなく、これからの若者を必要として動かすこと。	男	60歳代	中央地域
このアンケートに答えるまで、「ゼロカーボンシティかごしま」という言葉を聞いたことも見たこともなかった。市民であれば一度は聞いたこと・見たことがあるという状況にすべきだから、街頭広告やSNS広告などが増えることを期待している。	女	20歳代	谷山地域
シェアサイクルは鹿児島市内で見かけておりますが、実際に利用した事はなく、子ども連れとなると車移動に頼ってしまいます。子どもが大きくなり自転車運転出来るようになれば自転車での鹿児島散策も楽しそうだなと思うところです。	女	30歳代	谷山地域
ゼロカーボンを目指す意義を都度都度伝えていただけると、分かりやすくなるかもしれません。	女	30歳代	谷山地域
温暖化が進むにつれ、生活がしにくくなっているのに、電気代などの補助金も少なく、どうやって生活したらよいかかわからない。	女	30歳代	谷山地域
公用車に電気自動車を導入している点。	男	30歳代	谷山地域
市電の線路の緑化は景観も含めて良い取り組みだと思う。 公園も芝生化したら良い気がする。	男	30歳代	谷山地域
市民に周知が徹底されていないように感じます。 もう少し情報を開示する必要があると思いました。	女	30歳代	谷山地域
まだまだ、アピールが足りないと思う。	女	40歳代	谷山地域
CO2排出をおさえるということですが、オール電化とかにして、結局、原発に頼っている。（電気自動車も）原発は、石油で（結局は）動いているし、温暖化につながり、熱い水を海に放出して（原発）海の温暖化や生態系を崩しています。本末転倒だ。考えてほしい。後、開発環境のことよりも、人間が人間らしく暮らし（いろんな苦境に立たされている人がいます。（沢山いる））人の生活と命を守ることを優先することが一番大切なことだと思います。（忘れないでほしいです。）（決まりごとよりも）人に重点を置いてほしいです。一人一人を大切にしてほしい。	女	50歳代	谷山地域

回答内容	性別	年齢	地域
かごりんの利用について身近に感じられない。 公共施設での実績や取組を具体的にアピールすべきだと思う。	女	50歳代	谷山地域
ゼロカーボンシティ鹿児島って、何？と思いました。周知されておらず、協力ができていなかったと思います。大人、小学生への理解促しが必要だと思います。 あと5g燃やすゴミを減らそうと、具体的に伝えてくれると、参加しやすい。出来なかったら、こうなりますということも示してくれるとわかりやすい。 市がしていることのアピールだけでは、もったいないと思いました。	女	50歳代	谷山地域
プラスチックゴミをきちんと分けている方だと思いますが、本当にきちんとできているのか と思いながら分けています。ビニル袋も良いのか？ ストローの袋などの小さい物も良いのかと思いながら です	女	50歳代	谷山地域
時々送信される県のLINE情報などはありがたい。 バスや市電でSuicaが使えると利用し易くなるのでは	女	50歳代	谷山地域
助成金を大々的に打ち出して、省エネルギーのLED化プラスセンサー等の活用を行って、家庭内 でのちょっとした節電設備を推進してもらいたいです。	男	50歳代	谷山地域
特にこれといって書けることがない。逆に言えば情報が少ないため。	男	50歳代	谷山地域
市電道の青芝の設置は景観もよく涼しさをかんじる。市街地にもっと緑を増やしてほしい。5番 街区は緑の遊園地や遊歩道にしてほしい。	男	60歳代	谷山地域
自転車利用を薦めていた記憶がありますが、最近あまり見聞きしないような気がします。も う少し広報が必要だと思います。加えて、安全な自転車道路、できれば自転車専用道路の整備 を希望します。	女	60歳代	谷山地域
水道・電気・ガスなどが、古くなった事についてなどの改善・修理への市自治体からの講習・ 紹介する。	男	70歳以上	谷山地域
まだみんなどうすれば..がわかっていない人もいるのでは！ わかりやすく、みんなの目に触れる機会を増やして欲しい！子供達の学習からのメッセージが みんなを変えていくと思います。	女	70歳以上	谷山地域
日本国の2050年カーボンニュートラル目標達成のため、鹿児島市として取り組み実行する。 しかし、カーボンニュートラルであり、ゼロカーボンは不可能。	男	70歳以上	谷山地域
道路交通事情が悪すぎる。また昨今の運転手不足により減便等でますます自家用車の交通量が 増えるが渋滞で止まる時間が長いためハイブリッド車でも燃費が落ち、余計な燃料を使わざる おえない。	男	20歳代	伊敷地域
まずは、市民が（私も含めて）取組を知る事が必要だと思います。 もっと目にする、耳にする機械やシステムが導入できたらと思います。	女	30歳代	伊敷地域
市民にとってわかりやすく、参加しやすい内容をより目につくようにして頂きたいです。 まだまだ広く認知されておらず、認知していても自分ごととして捉えきれていない印象があり ます。	男	30歳代	伊敷地域
鹿児島の月1?の広報誌が届きますが、ゼロカーボンシティとうたっているのも前々から理解は してます。ですが、実際にどんな取り組みをしているのかいまいち分かりません。	女	30歳代	伊敷地域
電気自動車の充電スポットが増えているのは良い点。しかしながら、まだ少ないと感じる。電 気自動車を薦めるのであれば市からの補助金や助成金をお願いしたいです。結局、お金を持っ ている人しか率先して利用ができないため、一般市民にも参加できるように鹿児島市が率先し て取り組んで欲しい。	男	30歳代	伊敷地域
難しい言葉や小さい文字等の新聞は読まないし理解できない。 インスタやtiktokで若者向けに分かりやすく楽しく理解できたらいいな。	女	30歳代	伊敷地域
家庭用蓄電池の購入補助があれば良い。	男	40歳代	伊敷地域

回答内容	性別	年齢	地域
企業の取り組みは進んでいるが、家庭の取り組みについて、情報発信して欲しいと思う。最近目についたのが、運転をしながらタバコを吸っていて、灰を窓から捨てる人を見かけた。残念の思いだ。	女	40歳代	伊敷地域
鹿児島市として、取り組んでいることや、取り組もうとしていることを知りませんでした。テレビなどのメディアを利用したり、公共の交通機関での案内など更に進めてもらえれば認知度も上がるかと思えます。あとは、個人の意識の問題でもあると思えます。	男	40歳代	伊敷地域
取り組んでいるとは、うっすら見たりして感じていましたが、ちゃんと知ったのが今日でした。すごいいい取り組みだと思えます。もっと、電気自動車やエコキュートなどの補助金を出してもらえると取り組みやすいと思えます。	女	40歳代	伊敷地域
CMやもっとSNSなどで拡散しては？	女	50歳代	伊敷地域
今回のアンケートで、ゼロカーボンシティかごしまについて、何のこと？という感じで、初めて聞いた気がしました。このような取り組みについて気づいていない私が言うのも申し訳ないのですが、あまり、浸透していないという可能性もあるのでは、とも思いました。ゴミの分別など、取り組みの一環であれば、活動に参加しているかとも考えられますが、それがゼロカーボンシティかごしまと大きなタイトルになると、結びつかないのかもしれない。	女	50歳代	伊敷地域
鹿児島市が取り組んでいることすら知らなかった。ネットやメディアを通じてもっと周知することが大事ですが、ではどう取り組んでいくかまだまだ課題が多く、その必要性が身につくのは厳しい道のりかも。	男	50歳代	伊敷地域
これから未来を生きていく子供達にもっと教えていくのがよいのではないのでしょうか	女	60歳代	伊敷地域
ゼロカーボンシティを鹿児島が掲げていることを知らなかった。ゼロカーボンとは排出量から吸収量を引くということをもっと知らしめてほしい	女	60歳代	伊敷地域
市が何に取り組んでいるのかかが、まずわからない。それだけ、広報がうまくできていないからだと思う。	男	60歳代	伊敷地域
地震、台風、豪雨などの事前に市からスマホ等へ情報を送ってくれ、市民は早めに避難したりすることができ、細めな情報をこれからもお願いしたい。	男	70歳以上	伊敷地域
公共交通機関を主に使う人へのメリットを増やして排気ガスを減らすなど	女	30歳代	吉野地域
自転車を利用したいと思うが、坂道が多い、車道が狭い、などの理由からなかなか利用できていない。かごりんも、利用したいと思うが、利用できる範囲が限られている。観光客向けなのかなと感じる。朝夕の渋滞の緩和のためにも、バスを利用したいが、減便されていて、朝、バスがぎゅうぎゅうで、乗れないことすらあり、自家用車に向かった。自家用車に頼らない、渋滞を起こさないための施策を求めたい。	女	30歳代	吉野地域
鹿児島市でどのような取り組みをしているのかももう少し宣伝したらいいと思えます。テレビやラジオ、ネットニュースなどに出てくると、人の目に止まりやすいのではと思えます。	女	30歳代	吉野地域
先日、太陽光パネルの見積りシミュレーションを依頼して補助金が出ることを知りました。家を建てる時に設計事務所建てましたが後から自分たちで調べてZEH住宅の基準をクリアせず助成金がおらなかった経験があるので大手住宅メーカー以外にも浸透するようにしてほしいです。	女	30歳代	吉野地域
太陽光パネルが田舎の方にあるのを見たことあり、また観光地には自転車が置いてあるのがみられた。環境のこと考えてくれてるのが伝わった。	女	30歳代	吉野地域
ゼロカーボンシティかごしまについて、しらなかったのでテレビ、ラジオで宣伝したら、市民にもしげんと理解されて自分たちももっと、積極的に考えて取り組みができるのではないかと思えました。	女	40歳代	吉野地域
ゼロカーボンシティの掲示は市役所で見えるが、具体的に何なのかわからない。	女	40歳代	吉野地域



回答内容	性別	年齢	地域
電気自動車等の購入補助金額を増額し、買い替えを促進するとともに、家庭用蓄電池の積極的な設置導入を促すために広報活動をこれまで以上に行う必要があると思う。	男	40歳代	吉野地域
公共交通機関を利用したいと思っているが、バスの運転手不足のため便数が減ったうえ、満員で窮屈になるため、車を利用してしまう。渋滞もひどいと思う。 公共交通機関の環境がもっと良くなればなと日々思っている。	女	50歳代	吉野地域
まだまだ、この活動自体が浸透されずにいると思う	女	60歳代	吉野地域
お仕事ご苦労様です。私の兄は、農家です。パッションフルーツを主に育てております。今年は、カメムシの大量発生にて、たくさんの農作物が被害に遭いました。これも、地球温暖化のせいだと言われれば、そうですが、大変でした。 それから、海面潮位が高くなっていますが、それら真水にまずしてから、電気分解をして、酸素を作り出せば、少しは何か変わるのでは？と考えます。	女	30歳代	桜島地域
太陽光等の再生可能エネルギーの利用促進は桜島降灰大きく作用されるので太陽光エネルギーを得るため太陽光パネルを壁に設置し降灰の影響を軽減できる機器を取り入れるなどの促進策導入。 省エネ住宅促進。	男	70歳以上	桜島地域
ゼロカーボンシティかごしまという言葉を知りました。 小学生の子供に聞いても知らないと言い、良い取り組みなのであればもっと小学校で学習したり、テレビ等で広告したりすればいいと思います。	女	30歳代	吉田地域
そもそもゼロカーボンシティかごしまというのを初めて聞きました。なので良い点や改善点が現時点でわかりません。 CO2排出量をゼロにするのも良いですが、太陽光を作る為などで山や森林を伐採していくのも並行して止めていけたらいいのかなと思います。	女	30歳代	吉田地域
協力者の現金やポイント還元	男	30歳代	吉田地域
電気自動車は、走ってる時はエコですが、製造から処分するまでのサイクルをみるとエコではありません。ガソリン車の方がエコかといわれるとなんとも言えませんが、リチウム採掘のため環境破壊が進んでいる現状を無視していいのか疑問に思います。 また、CO2排出量の多い火力発電や、再生できない原子力発電に変わる発電方法に力を入れなくてはいけないのではないかと思います。	女	30歳代	吉田地域
イマイチ、市民に周知されていない。 ゼロカーボンシティ鹿児島を目指すための制度が弱い	女	40歳代	吉田地域
公共の自転車をたまに利用します。利用者もちらほら見かけますし、いい施策だと感じます。	女	40歳代	吉田地域
ゼロカーボン という言葉が分かりにくいと感じました。	女	60歳代	吉田地域
学校教育等での教育普及により、SDGsに興味をもつ若者は年々増えてはいるが、押し売りでは普及しないと感じます。例えば、日常生活の呼吸方法を少し変えてみるだけで基礎代謝の向上につながり、痩せやすい身体になる。特に美容にも良い。それが結果的にゼロカーボンにつながる。このように、理由付けをまず身の回りに効果を感じやすいものから始め、それが結果的に壮大なイメージである環境につながると行動する人が増えそうな気がします(一石二鳥)。	男	30歳代	喜入地域
ゼロカーボンシティについては勉強不足です。今後勉強したいと思います。	女	40歳代	喜入地域
会社の近くにかごりんがあり、利用している人たちをみかける。観光客はちょっとわかりにくいと感じている。頻繁に市電を利用する。 観光客がよくいわさきカード以外ではタッチ決済ができないことや、そもそも乗り方や行先が分からなくて立ち往生したり、質問されることがある。観光客が多い乗り場や車内には、もっとわかりやすく(タッチする機械に案内を張り付けるなど)したら、発車のロス時間が減ると思う。	女	40歳代	喜入地域

回答内容	性別	年齢	地域
先日の台風10号で種子島のEV車が避難所の電源供給に一役かった記事を読みました。とても良い取り組みだと思います。桜島地区等の災害時に避難経路が脆弱な地域から鹿児島市も取り組んでみたらと思います。我が家も太陽光蓄電池設置して停電時も不安なく過ごせましたがEV車の検討も考えたいと思いますが、市から助成があれば助かります。(太陽光蓄電池の導入も)一般市民にはやはり費用面が最大のネックだと思います。	男	40歳代	喜入地域
太陽光発電システムはエコですが、設置の為に伐採して更地を作るのは本末転倒ではないかと思っています。既存の建築物に設置して、緑地は確保した方が…	その他・答えたくない	50歳代	喜入地域
「ゼロカーボンシティ宣言」というものについてはテレビで何かで聞いたことがあったのですが、鹿児島市の取り組みについては知りませんでした。このアンケートをきっかけに鹿児島市やそれ以外の自治体のサイトをインターネットでみてみました。他の自治体の取り組みにはあるのに鹿児島市にないものが1つあることに気づきました。それが市民の公共交通機関の利用促進です。よく「鹿児島は交通渋滞ワースト1位」と言われます。その対策として道路の拡張工事が必要だとかいう声も聞きます。実際に市街地では鹿児島東西道路の建設がされています。私は通勤でJRと路線バスを使用し、休日に鹿児島市街地へ行くときもJRや路線バスを利用します。私が朝夕の市街地の交通渋滞を見て思うのが、鹿児島市では、公共交通機関があるのにマイカーを利用する市民が多すぎるのではないのでしょうか。最近報道で見るのが、公共交通利用促進のための「運賃無料デー」です。乗務員不足もあって、最近これが全国いたるところで行われていますが、鹿児島ではまだ行われておりません。「あいばすポイントラリー」が最近行われましたが、市民の公共交通利用促進のためにもっと大胆な施策が必要じゃないかと思います。マイカー利用者が減り公共交通利用が増えれば、排気ガスの排出量が減ります。そのほかの利点として、行政が渋滞対策にかかる費用も減らすことができます。公共交通事業者の経営状況も改善され、乗務員不足も解消に向かうかもしれません。市民に対しての公共交通利用促進策を考えてみてはどうでしょうか。それと、「ゼロカーボンシティかごしま」の広報についてですが、行政のことにに関して関心をもつ大人というのはなかなか増やすのが難しいので、子どもに訴えるのが一番良いかと思い、「学校を通じた案内」を選択しました。	男	30歳代	松元地域
石谷町民です。石谷町春山町には上伊集院駅というJRの駅があるのに 住民を駅に送るバスがありません。高低差は500M もあります。町内には病院 スーパー 等ありますが 広すぎて歩くには遠すぎます。駅を起点として石谷バスと 春山バスを小さめのハイブリッドバスでくるくる回せば 駅の迎いの車の渋滞 武岡トンネルへの車の減少 高齢者の免許返納 これらの問題が少しでも解決すれば結果ゼロカーボンCITYへの取り組みとなるとと思います。	女	40歳代	松元地域
大崎町のゴミ分別への取り組みのように、アピール材料になるような誇れる事業がないと感じています。どの分野に特化した取組ができないものかと考えています。	女	40歳代	松元地域
年齢に関係なく、ゼロカーボンシティを身近に感じられ、気軽に参加できるような発信や体験があればいいと思います。	女	40歳代	松元地域
先日の台風を経験して、最近の環境や気候変動影響で私たちの生活に及ぼすものとして、お米が販売不足していると全国的にニュースになっています。このような事態に遠方の親戚から、私のところにも問い合わせが来ています。今、鹿児島市として「ゼロカーボンシティかごしま」の広報のチャンスだと思います。もっと、全国的に鹿児島の魅力をアピールしていただきたいと思います。	女	60歳代	松元地域
電気自動車の試乗体験会や、レンタサイクルの利用促進をもっとしてほしい。	男	30歳代	郡山地域
レンタルサイクル、ループなどに広告をつけて、SNS発信で若者を取り込んだ活況に期待します。	男	40歳代	郡山地域
家庭でできることで、何か効果があるのかをもっとはっきり具体的に知りたい。(電気をこまめに消すことが電気代が上がると聞か、上記にもあったが、電気使用量の削減と比例しないのでどちらがどう良いのかが分かりにくい)(電気自動車はエコではあるが、先日の台風での停電などの時、どう対策をすれば良いのがわからない)など。	女	40歳代	郡山地域

回答内容	性別	年齢	地域
普及啓発に関してですが、市の広報などではよく見かけるのですが、なかなか、忙しい世代の人々の目にはとまりにくいかなと思います。 テレビやYouTube広告などを活用できればもっと伝わりやすいかなと思います。 鹿児島市内、とくに3号線の渋滞緩和ができればかなり、二酸化炭素を減らせるのではないかと思います。難しいと思うのですが、3号線、高速以外に幹線道路がもっとできれば、渋滞の緩和だけでなく、災害時の通行止めなどがあつた際も寸断されることがなくなるのではないかと思います。	男	40歳代	郡山地域
広告等でOKと言う広告を見るが何がOKなの？と疑問に思った。そこでネットなどで調べてゼロカーボンを意味しているとわかった。広告はあつても身近にわかつてもらえるように、学校、地域のイベント、公民館にその事を具体的に表すポスター等があれば年寄り、小学生から学生も自分の身近で考えることが出来るのではないかとおもつた。職場の大人に聞いても解らなかつた。から	女	50歳代	郡山地域
かごりんは、渋滞に巻き込まれることもないのでいいアイデアだと思う。使い方が分からなくてまだ使つたことはないですが、いつか利用してみたい。	女	30歳代	鹿児島市以外
ゼロカーボンシティの取組で脱炭素について勉強になりました。是非家庭で参考にしたいです。	男	40歳代	鹿児島市以外
ゴミの分別が鹿児島県内でかなり差がある。 プラスチックゴミなどのリサイクルゴミの適切な処理方法を知らなかつたり分からないという人が多いので、TVのCMなどで誰にでもわかる分別方法の紹介などを流す事で市民に理解と協力を促せると思います。	女	50歳代	鹿児島市以外

### Ⅲ 生物多様性について

#### 1 調査の目的

山、川、海などの様々な自然のなかで、様々な生きものがつながりあって、個性豊かに生命を育んでいる状態を「生物多様性」と言います。私たちも、木陰で安らいだり、自然の恵みを食べ物や薬などとして利用して、生きものとのつながりの中で暮らしています。

本市では、この「生物多様性」の保全に取り組んでいますが、市民の皆さんの自然や生きものへの関心度や生物多様性の言葉の認知度などを把握し、今後の事業推進の参考とするために、アンケートを実施させていただきました。

#### 2 調査結果を受けて担当課（環境保全課）からのコメント

生物多様性について、市民のみなさまの認知度や考えなどを伺うために、アンケートを実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

生物多様性という言葉について、45.3%の方が、「言葉の意味を知っている」、「言葉の意味をある程度知っている」と回答され、生物多様性という言葉の意味まで知っている一方で、25.5%の方が「知らない（聞いたこともない）」と回答されたことから、生物多様性について、私たちとの関わりやその重要性などについて、市民の方々に、より分かりやすく伝えていく必要があることが分かりました。

また、78.2%の方が、生物多様性を保全するための活動に「参加したい」と回答され、参加したい活動として、「自然や生きものに関連したイベント・行事」、「案内人(ガイド)同行の自然や生きもの観察」等が上位を占めることが分かりました。

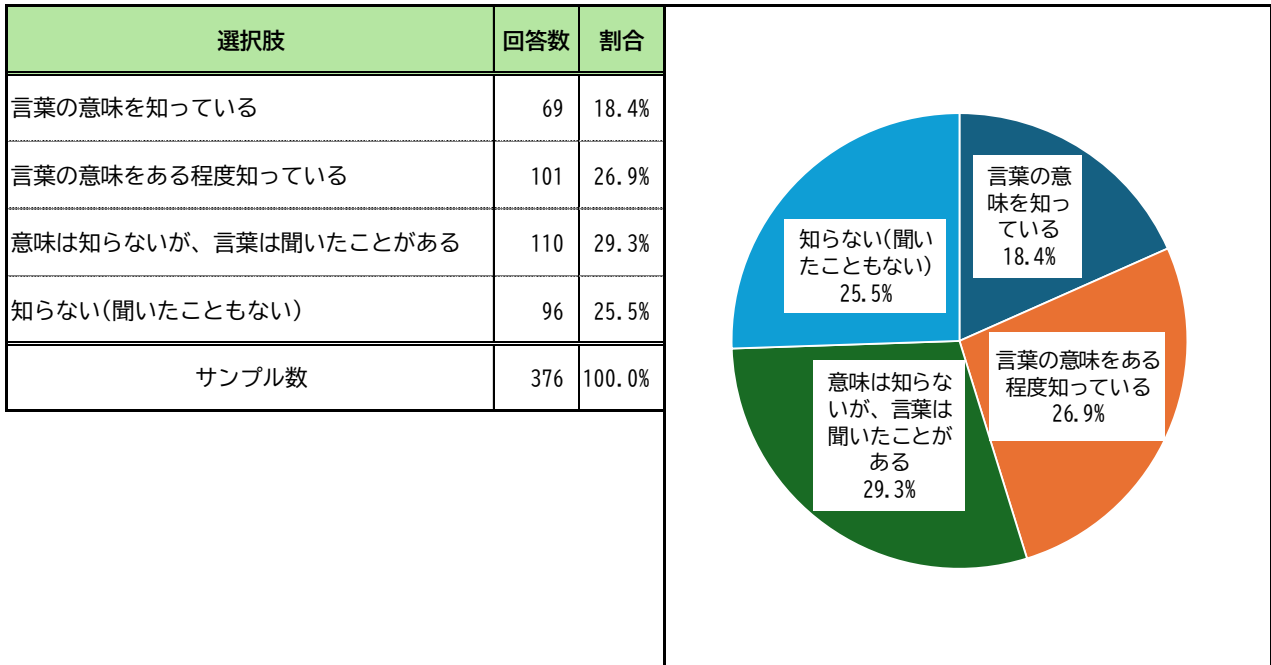
一方、自然遊歩道及びかごしま自然百選について、61.4%の方が「どちらとも知らない」と回答され、認知度がまだまだ低いことが分かり、多くの方々が自然とふれあうことができるよう、本市の豊かな自然についてより一層の広報が必要であると考えるところです。

今回いただいた貴重なご回答を十分踏まえながら、生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組を進めてまいります。

### 3 調査結果

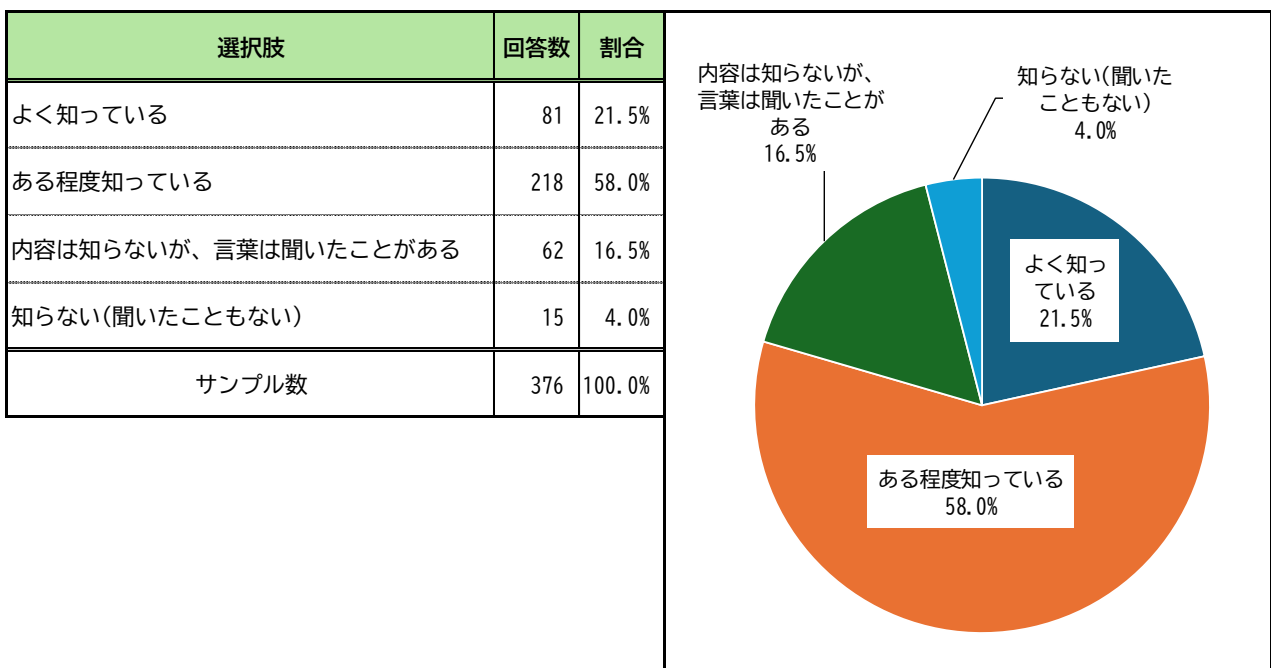
#### 問18：「生物多様性」という言葉を知っていますか。(ひとつだけ)

「言葉の意味を知っている」は18.4%ですが、「言葉の意味をある程度知っている」は26.9%、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」は29.3%と高く、これらを合計した『言葉を知っている』は74.6%となっています。「知らない(聞いたこともない)」は25.5%となっています。



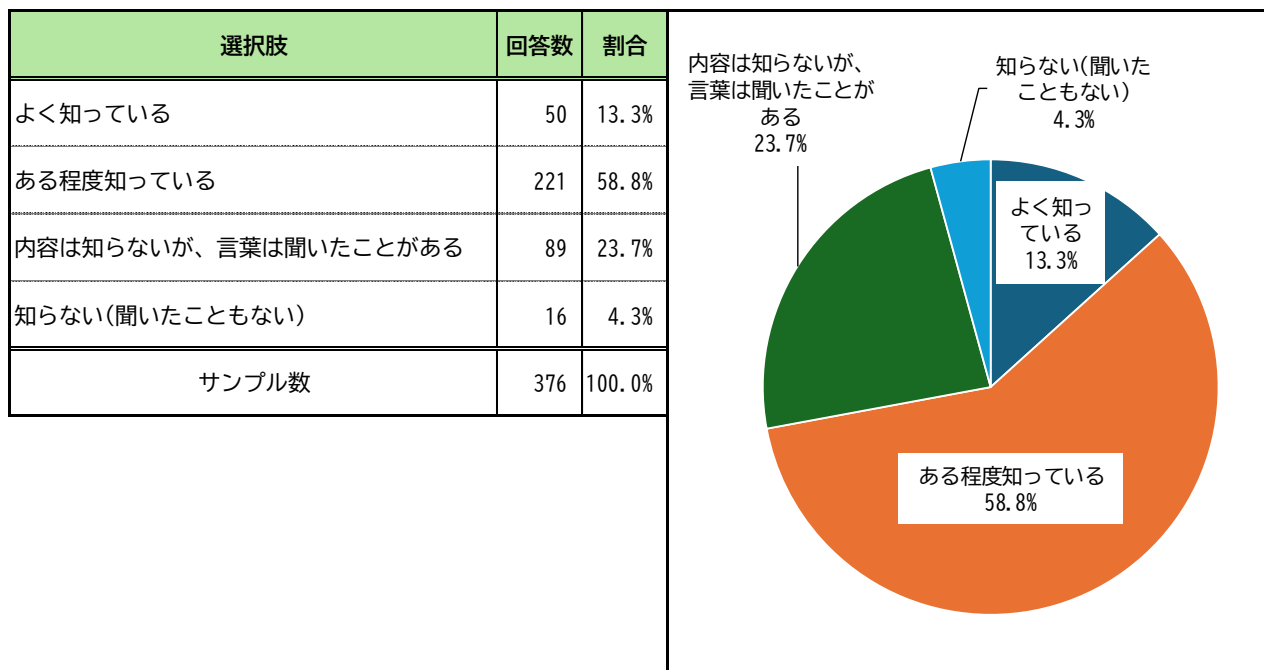
#### 問19：外来生物の中には、もともとそこに棲んでいた生きものに影響を与えたり、畑の農作物を荒らしたり、人へ危害を加えたりするものがいて、近年問題となっています。このような外来生物問題を知っていますか。(ひとつだけ)

「よく知っている」は21.5%、「ある程度知っている」は58.0%となっており、これらを合計した『知っている』は79.5%となっています。また、「内容は知らないが、言葉は聞いたことがある」は16.5%となっており、「知らない(聞いたこともない)」は4.0%と低くなっています。



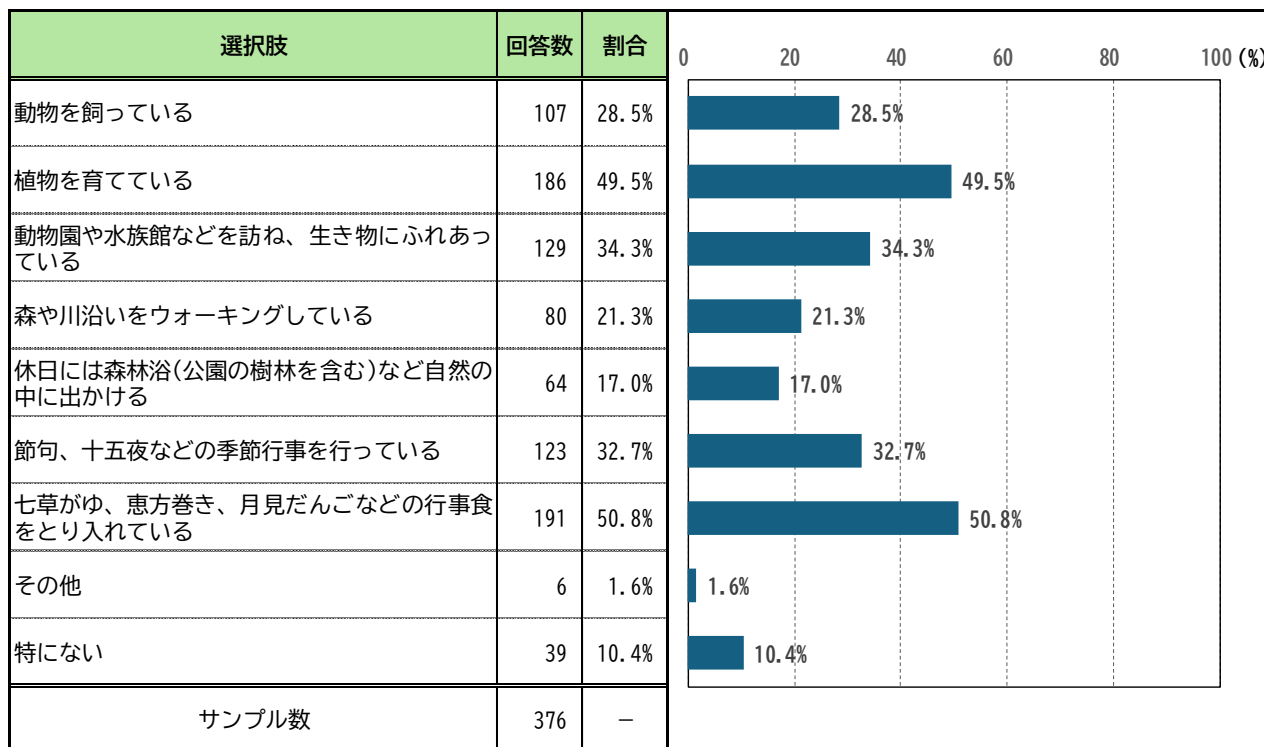
問20：自然の減少などによって棲む場所がなくなったり、観賞用などとしてたくさん採取されたり、外来生物に食べられたりするなどして、絶滅の危機にある生きものが増えていきます。このような絶滅のおそれのある生きもの(希少種)に関する問題を知っていますか。(ひとつだけ)

「よく知っている」は13.3%、「ある程度知っている」は58.8%となっており、これらを合計した『知っている』は72.1%となっています。また、「内容は知らないが、言葉は聞いたことがある」は23.7%となっており、「知らない(聞いたこともない)」は4.3%と低くなっています。



問21：日々の暮らしの中で、自然や生きものと向き合っていますか。  
 (あてはまるものすべて)

「七草がゆ、恵方巻き、月見だんごなどの行事食をとり入れている」が50.8%と最も高くなっています。次いで「植物を育てている」(49.5%)、「動物園や水族館などを訪ね、生き物にふれあっている」(34.3%)、「節句、十五夜などの季節行事を行っている」(32.7%)となっています。

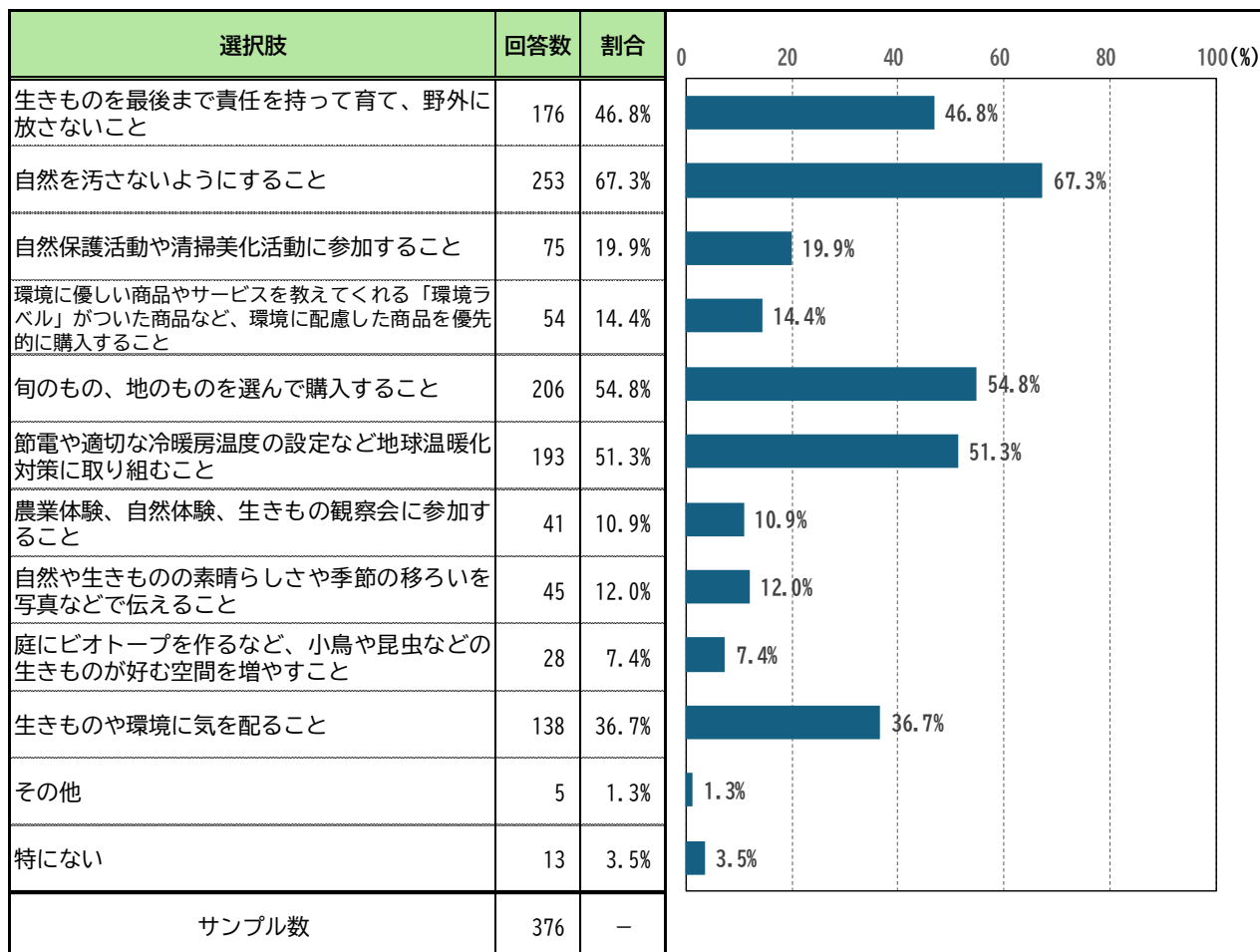


【その他の回答】(原文のまま)

- お米や野菜作りのお手伝い。
- カブトムシを育ててる。
- ゴキブリと戦っている。
- 季節について意識しているがあまり知らないです。
- 親戚のペットとよく触れ合ってます。
- 知り合いが育てている動植物と触れ合う。

問22：日々の暮らしの中で、自然や生きものに対して、気をつけていること、取り組んでいることがありますか。(あてはまるものすべて)

「自然を汚さないようにすること」が67.3%と最も高くなっています。次いで「旬のもの、地のものを選んで購入すること」(54.8%)、「節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化対策に取り組むこと」(51.3%)、「生きものを最後まで責任を持って育て、野外に放さないこと」(46.8%)となっています。



【その他の回答】(原文のまま)

- ゴミは持ち帰り分別する。
- ゴミ分別。
- ビオトープについて知りません。
- 動物園やその他の施設などに子供と共にいき学んでいる。
- 目の前のゴミを拾う。



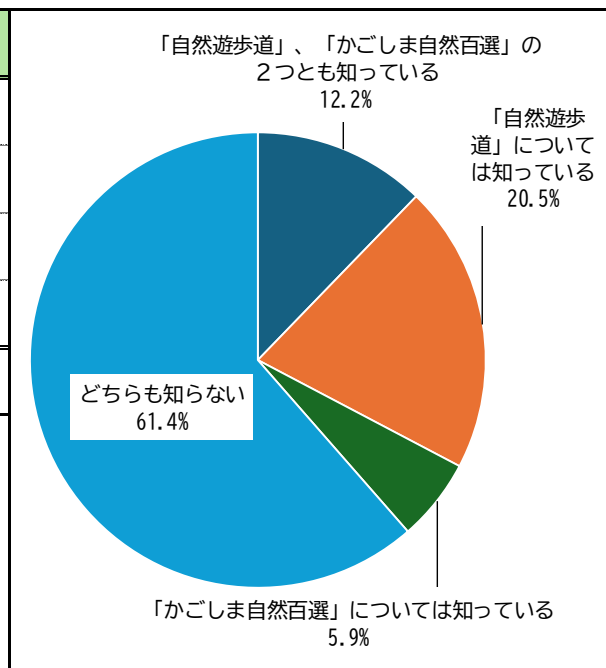
問23：本市では、市民の皆さんに自然とふれあっていただきたいと考え、「自然遊歩道」を9箇所指定しているほか、平成27年2月には「かごしま自然百選」を選定しました。このことについて知っていますか。(ひとつだけ)

「どちらも知らない」が61.4%と最も高くなっています。

知っているものとしては、「自然遊歩道」については知っている」が20.5%と最も高く、「自然遊歩道」、「かごしま自然百選」の2つとも知っている」(12.2%)、「かごしま自然百選」については知っている」(5.9%)となっています。

それぞれの認知率は、「自然遊歩道」が32.7%、「かごしま自然百選」が18.1%となっています。

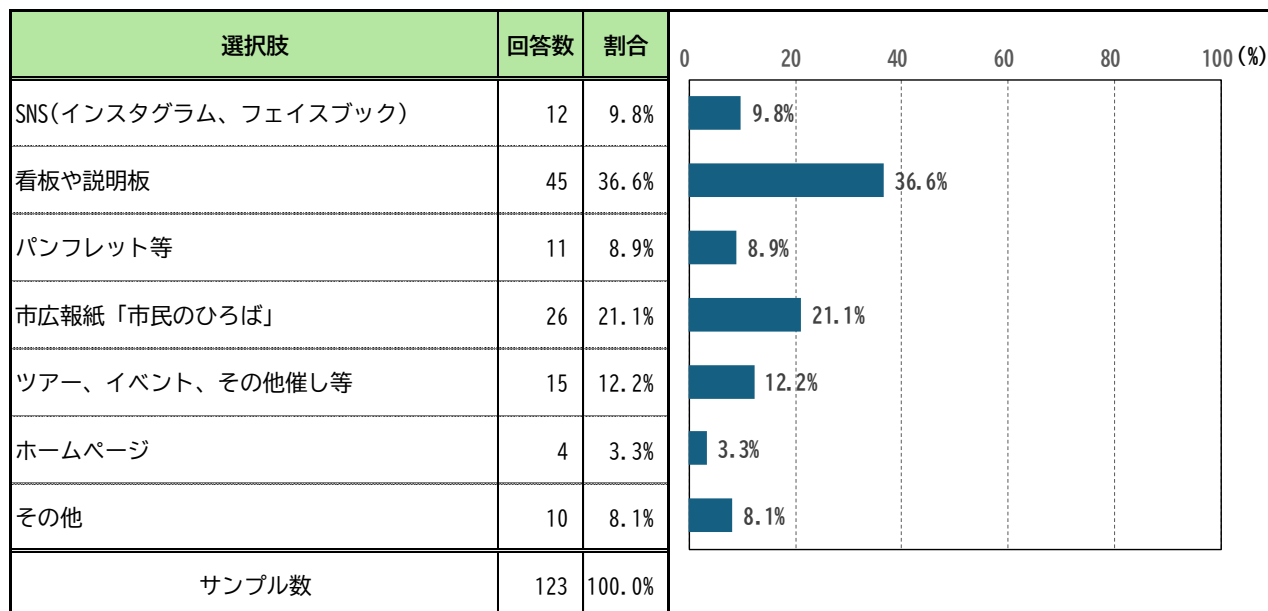
選択肢	回答数	割合
「自然遊歩道」、「かごしま自然百選」の2つとも知っている	46	12.2%
「自然遊歩道」については知っている	77	20.5%
「かごしま自然百選」については知っている	22	5.9%
どちらも知らない	231	61.4%
サンプル数	376	100.0%



問24：【問23で『自然遊歩道』、『かごしま自然百選』の2つとも知っている、『自然遊歩道』については知っている』を選んだ方にお尋ねします。】

「自然遊歩道」について知ったきっかけは何ですか(ひとつだけ)

「看板や説明板」が36.6%と最も高くなっています。次いで「市広報紙『市民のひろば』」(21.1%)「ツアー、イベント、その他催し等」(12.2%)となっています。



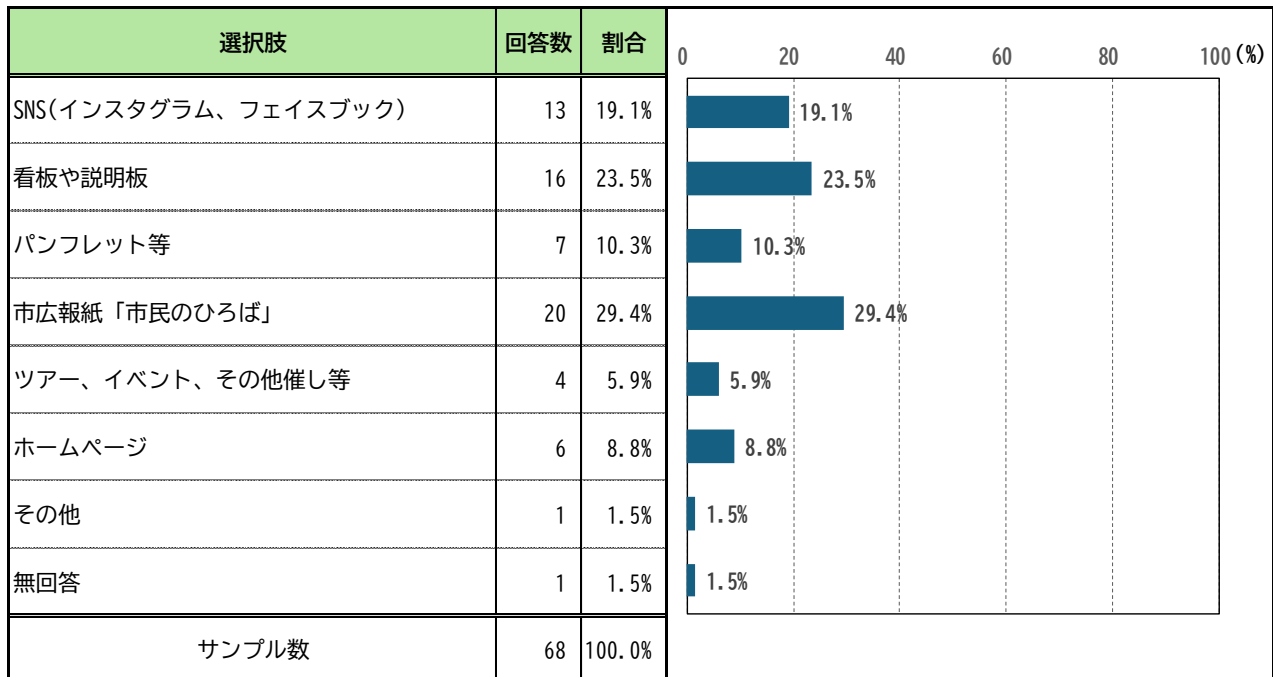
【その他の回答】(原文のまま)

- 教えてもらった。
- たまたま行ったら、書いてあった。
- 烏帽子岳遊歩道崩れたままですが…復旧予定はないですか？オフロードバイク愛好家として嘆いています。
- 家族で出かけて、偶然あり、遊歩道を散策した。
- 近所にあったから。
- 近所に住んでいたから。
- 行ったことがあったから。
- 生活の一部だから。
- 生活の一部として利用しているから。
- 登山時に知った。

問25：【問23で『自然遊歩道』、『かごしま自然百選』の2つとも知っている、『かごしま自然百選』については知っている』を選んだ方にお尋ねします。】

「かごしま自然百選」について知ったきっかけは何ですか(ひとつだけ)

「市広報紙『市民のひろば』」が29.4%と最も高くなっています。次いで「看板や説明板」(23.5%)、「SNS(インスタグラム、フェイスブック)」(19.1%)となっています。

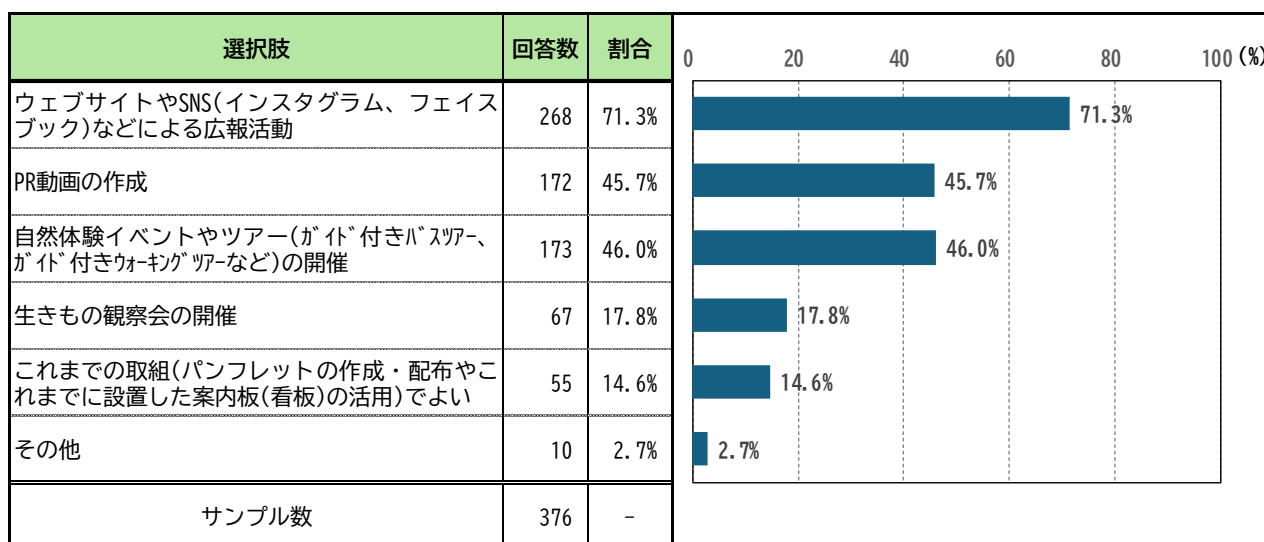


【その他の回答】(原文のまま)

- 実家のそばだから。

問26：「自然遊歩道」、「かごしま自然百選」を知ってもらうために、現在本市ではパンフレット等の作成・配布や、案内板(看板や説明板)の設置等を行っています。今後、より多くの方に知ってもらうため、どのような取組が必要だと思いますか(あてはまるものすべて)

「ウェブサイトやSNS(インスタグラム、フェイスブック)などによる広報活動」が71.3%と最も高くなっています。次いで「自然体験イベントやツアー(ガイド付きバスツアー、ガイド付きウォーキングツアーなど)の開催」(46.0%)、「PR動画の作成」(45.7%)となっています。

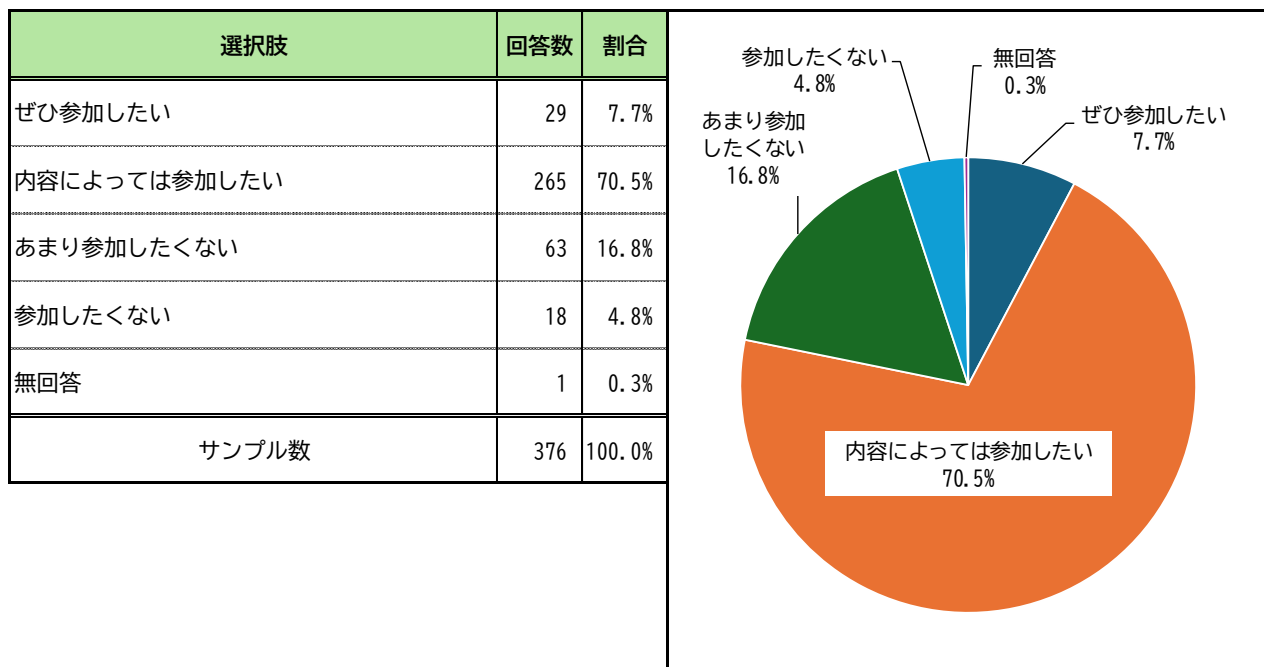


#### 【その他の回答】(原文のまま)

- インスタ等での広報活動を活発にすることで、Meta社から報酬を頂くとともに、宣伝を継続することは難しいのか疑問である。鹿児島市の軟弱な財政だと、それくらいの図太さが必要だと思います！
- テレビ、ラジオ、新聞の利用。
- 学校で配布。
- 高齢者ではなく子供や子育て世代が関心を持てるイベントや設備。
- 子供と一緒に参加できるイベントなど。
- 初心者が誰でも行ける交通アクセスなどを付した広報活動
- 日本人は、「外国人に有名になった何か」に注目する傾向があるので、外国人向けのPR動画を作成し外国人に注目されることになれば、それが結局は日本人向けのPRになると期待される
- 博物館に興味を持ってもらうこと。
- 報道の最も大きなものはテレビです。テレビ報道の威力は大きい。コマーシャルや番組で。
- 幼稚園、小学校を通して案内してほしい。

問27：生物多様性の保全は、行政、地域の人々、市民活動団体などが連携して取り組んでいくことが求められています。生物多様性を保全するための活動に参加したいと思いますか。(ひとつだけ)

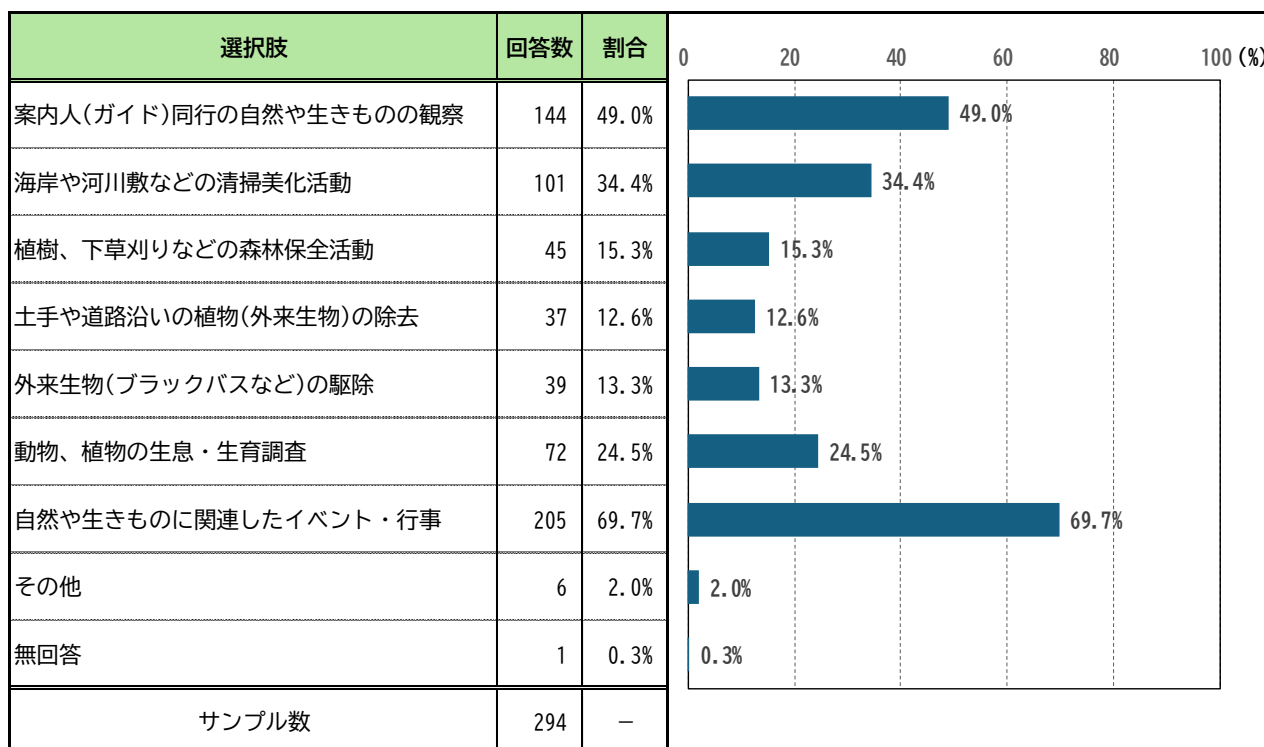
「ぜひ参加したい」は7.7%ですが、「内容によっては参加したい」が70.5%と高く、両者を合計した『参加したい』は78.2%となっています。一方、『参加したくない』は21.6%（「参加したくない」4.8%+「あまり参加したくない」16.8%）となっています。



問28：【問27で「ぜひ参加したい」、「内容によっては参加したい」と答えた方に質問です。】

どのような活動であれば参加しますか。(あてはまるものすべて)

「自然や生きものに関連したイベント・行事」が69.7%と最も高くなっています。次いで「案内人(ガイド)同行の自然や生きものの観察」(49.0%)、「海岸や河川敷などの清掃美化活動」(34.4%)となっています。

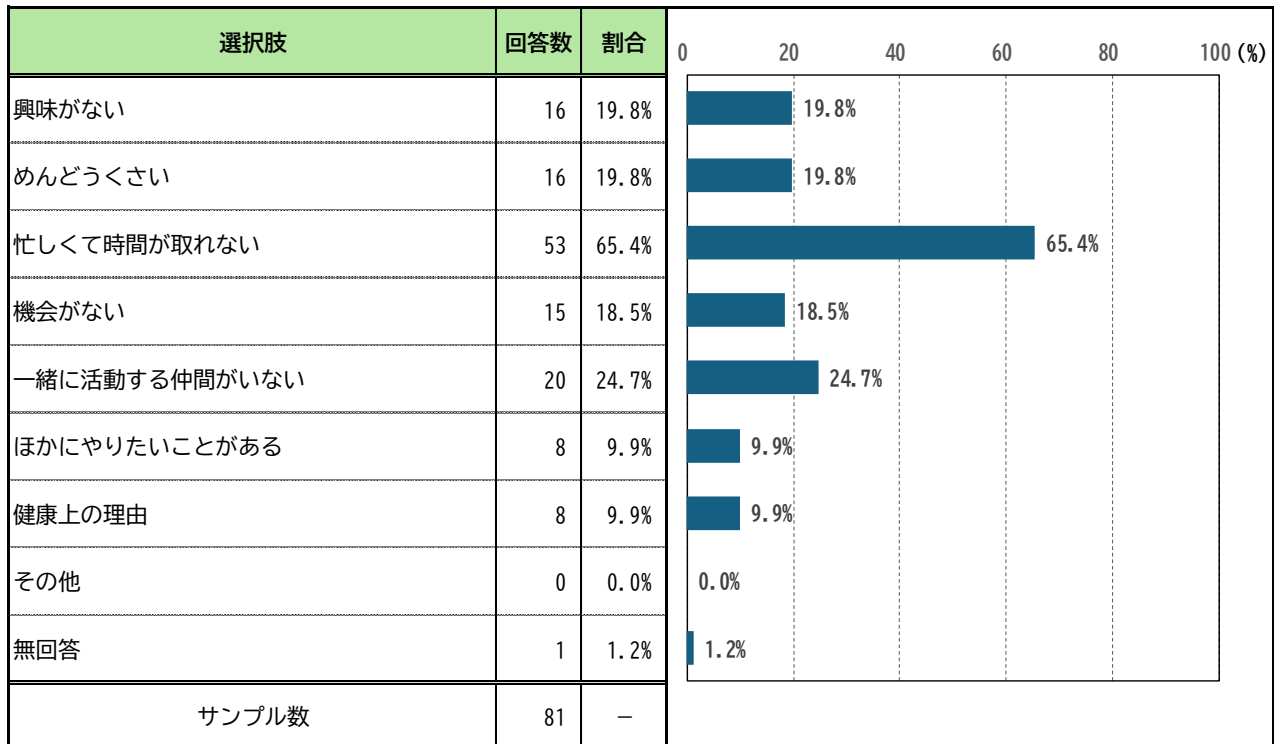


【その他の回答】(原文のまま)

- テレビ報道番組の参加者として。
- フォトコンテスト
- 子供と一緒に参加できるもの。
- 子供に聞かせたい。
- 乳幼児がいるので、子連れでも参加しやすいイベントを希望。
- 乳幼児を含む子どもとベビーカーや抱っこ紐でも参加できる活動。

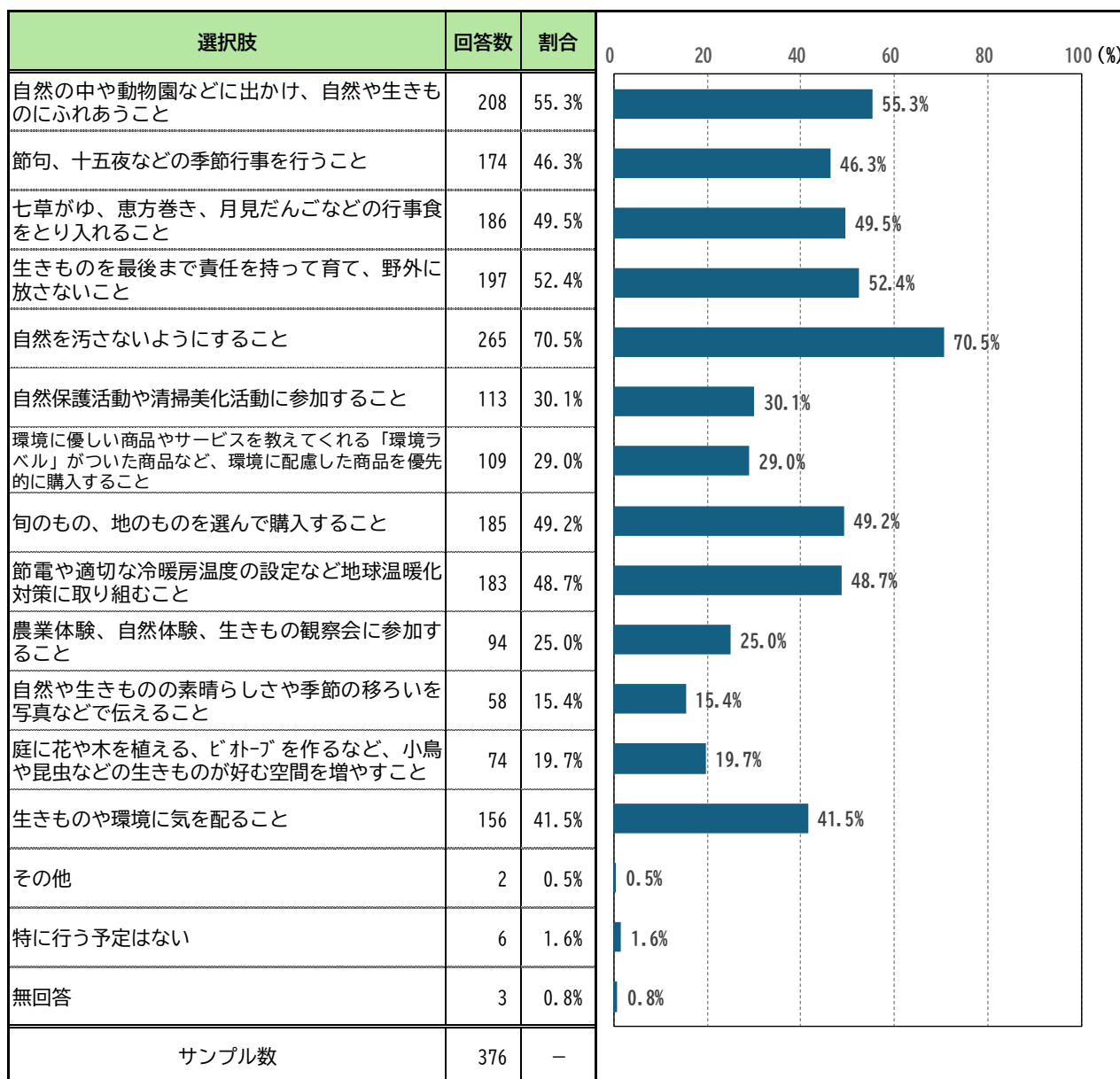
問29：【問27で「あまり参加したくない」、「参加したくない」と答えた方に質問です。】  
 参加したくないのはなぜですか。（あてはまるものすべて）

「忙しくて時間が取れない」が65.4%と最も高くなっています。次いで「一緒に活動する仲間がいない」(24.7%)、「興味がない」(19.8%)、「めんどくさい」(19.8%)、「機会がない」(18.5%)となっています。



問30：生物多様性を感じ、理解し、保全していくため、あなたはこれからどのようなことを行いたいと思いますか。（あてはまるものすべて）

「自然を汚さないようにすること」が70.5%と最も高くなっています。次いで「自然の中や動物園などに出かけ、自然や生きものにふれあうこと」(55.3%)、「生きものを最後まで責任を持って育て、野外に放さないこと」(52.4%)となっています。



【その他の回答】（原文のまま）

- 生き物に愛情の目を向けること。
- 鹿児島県から他県へ転出することで鹿児島島の環境に与える影響を軽減する。



問31：生物多様性(自然、生きもの)について、どのようなことでも構いませんので、自由にご記入ください。

【回答一覧】(原文のまま)

回答内容	性別	年齢	地域
鹿児島は様々な生物がいて、自然も他県に負けないくらい豊かなのでこのような環境を持続させていきたいです。	女	10歳代	中央地域
ビルの屋上に畑や屋上庭園、ビオトープがあったら、より身近に自然を感じる機会が増えて、利用しやすいのになと思います。	女	20歳代	中央地域
鹿児島市は生物多様性を気にする余裕があるのか疑問である。人間も生きものであると考えると、高齢者に偏っていないか。人間以外の生物多様性を気にする前に、鹿児島市の人間の多様性を気にするべきであると思う。 以上は、昼間のイオンや天文館周辺を散策した際にきつく感じた点である。 貴方は2040年の鹿児島市に住みたいでしょうか？私は否です。	男	20歳代	中央地域
生物多様性の良い面だけでなく悪い側面、このままいくとどうなるかもしっかり理解を深めてもらうことが一人一人の行動の改善に繋がると思う。	男	20歳代	中央地域
これからも自然を汚さないようにしたいと思いました。	女	30歳代	中央地域
ビオトープという言葉は初めて聞きました	女	30歳代	中央地域
子供達にも学校で強く伝えて欲しい	女	30歳代	中央地域
自然豊かな鹿児島だからこそ、自然や生き物について考えられることはたくさんあると思う。甲突川沿いにある、生き物の住む場所とその生き物の写真はウォーキング中によく目にし、学びになることが多い。職場の保育園では行事ごとに食や工作で、その行事の由来や内容を楽しんでいる。	女	30歳代	中央地域
自宅で植物を育てたり、動物を飼っていたりすると、自然や生き物に対する興味関心が高くなると思います。また、季節ごとの行事の由来や成り立ちを知ることで意識が変わることもあります。 小さい子どもには学がきっかけを得られる場所や機会が必要ですし、社会人には意味を理解して行動に移せるような意識改革が必要だと思います。 なので、大人から子どもまで幅広く参加できるイベントは多い方が良いと思います。お互いに学び合うことで、環境保全と向き合う時間になると思います。	女	30歳代	中央地域
生物多様性の取り組みをしていることを知らなかった。周知がされていないと思う。	女	30歳代	中央地域
以前、子供の影響でハムスターを飼っていました。命の大切さなど学ぶことが沢山ありました。	女	40歳代	中央地域
市内ではないものの、奄美大島でマングースの根絶宣言の報道を聞いてすごく良いことだと感じた。同様に鹿児島市内でもお堀や池など外来種の駆除を市民を巻き込んでやっていく必要があるのだと感じた	男	40歳代	中央地域
市内でマンション暮らしの為、なかなか生き物に触れる機会がないが、家族で動物園や水族館に行く計画をたてている為、11ヶ月の娘にもいろんな生き物がいることをまず教えていきたい。また、いろいろ姿かたちは違うけど、動植物には大事な命が吹き込まれていることを知ってほしい。	女	40歳代	中央地域
市民に生物多様性の意義を理解してもらうためには、仮に生物多様性が失われたとき何が起きるのか、具体的にどんな損失があるのかを身近な例(抽象的な例ではだめ)で感じてもらう必要があると考える。	男	40歳代	中央地域
質問の主旨とズレますが、私は転勤で鹿児島に来ました。長期休暇を利用して島に遊びに行くのが楽しみです。鹿児島に来てまず驚いたのは、桜島の大きさと市街地への近さです。降灰には未だに慣れませんが、街の近くに火山があり、煙を出して生きている山があるのは素晴らしい、そしてとても珍しいと思います。 県内で取れる野菜の種類も豊富、肉、魚も美味しいです。島ではさらに美しい海と自然があります。県民を含め世界中にもっと鹿児島をアピールすべきだと思います。 YouTubeやSNSの得意な若い方に宣伝してもらい、まず鹿児島の魅力をもっともっと知ってもらうことから始めたいですね。県民の方が意外に島に遊びに行っていないのにも驚きです。自分たちが鹿児島の自然を感じないと大切さも分からないと思う。	女	40歳代	中央地域

回答内容	性別	年齢	地域
自然のある場所が遠い。「自然」を観に行くという感覚で、自然と触れ合ったり溶け合ったりできる感覚になれるところが少ない気がする。変に守られた自然というより、直に触れたい。	女	40歳代	中央地域
若い方はなかなか市民の広場を読まないし知らないという方もいらっしゃいます。面倒ですがまずはSNSで生物多様性に興味をもってもらうことや、個人ではなく企業ぐるみでツアーやイベントに参加するなどスモールステップで頑張らなければいけないと思います。	女	40歳代	中央地域
生物多様生について知りません。	女	40歳代	中央地域
安易になんらかのメリットがあるからといって外国から動植物を取り入れないこと。自分のペットの糞を処理しない方が多いのに生物多様性かと疑問を感じる。	女	50歳代	中央地域
外国から安易に持ち込まない事 購入した時は最後まで責任を持つ事。自分のペットの糞の始末をしない方タバコをポイ捨てする方に生物多様性は通じるのか疑問。	女	50歳代	中央地域
各家庭の庭にも生態系が成り立っていると思うので、各家庭で生物多様性を観察する方法や、小さな動植物の素晴らしさを紹介する方法などをイベントや広報誌を通して教えてほしい。	男	50歳代	中央地域
広木在住で中間公園を利用します。公園の横を流れる川でよく子供達が遊んでいます。もっと子供達が自然に触れ、川の水で遊んだり、魚を取ったり出来る様な場所を造る事が出来れば良いと思う。	男	50歳代	中央地域
甲突川周辺で生き物を観ながらの探索してます。難しいことはわかりません。	女	50歳代	中央地域
鹿児島県の自然は素晴らしいが十分にその情報を発信できていないと感じる。また、見どころを伝えても受け入れの施設の駐車場であったり、整備が十分できていないと感じる。 県の観光ホームページで鹿児島県の■一度は行ってみたい滝情報■子供が川遊びができる場所■花見情報（季節ごと）■ドライブコース（1日コース、一泊コース）■温泉情報（日帰り+食事、一泊コース）■ハイキング、プチ登山（大浪の池、野間岳、金峰山、大野山、開間岳など）、サイクリングコース（レンタル自転車情報）■来月旬の鹿児島野菜情報+おすすめ料理レシピ それらをマスコミにも毎月毎月、情報提供することで魅力を県全体に伝え、鹿児島県民がSNSなどにアップすることで県外の人への情報発信につなげていくなどの取り組みはどうか。	男	50歳代	中央地域
平川動物公園のような緑に恵まれた動物園は全国的にも少ないので活用すべき。	女	50歳代	中央地域
家の庭でミニトマトやミニスイカ夏野菜を育ててました。	男	60歳代	中央地域
私たちのくらすに大きな影響が出る。	男	60歳代	中央地域
自分が育てている動植物は最後まで責任を持ってそだてていくべきで、何らかの事情で養育を放棄しては行けない。	男	60歳代	中央地域
鹿児島県内の、公園など犬が、入れない公園も多く、鹿児島は決して動物に優しい県ではないイメージあります。 吉野公園なども、入れますが、入れるところの規制区域も多く、暑い時などアスファルトの上歩かせられないのに、芝生はダメとか、無責任な飼い主が多い事も理由にはあげられると思いますが、そのラインに合わすと、動物と共に楽しく暮らせる社会は厳しいような気がしています。	女	60歳代	中央地域

回答内容	性別	年齢	地域
鹿児島市は目に見える生物（動植物魚介類）ばかりに目が行ってしまっていますが、微生物についての取り組みが全く不足しています。発酵に基く地ビールの生産などにおいて、土着の酵母菌などの保全が行われなければ、仮にブランド化しても味が変化してしまいます。その土地ならではの発酵食品などの生産は、その土地の特異な環境があってこそであり、微生物の多様性や固有の微生物がどのくらいいるかなどに気を付けなければ、食物連鎖でつながった目に見える生物の保全もできません。十島村の高度好熱菌や、甕島貝池のプランクトンなど、鹿児島県には独自の微生物がいくつもあるのに、鹿児島県もその保全についてほとんど何も努力していないように見えます。鹿児島市こそ、桜島に関連した微生物保全などに着手するべきだと思います。	男	60歳代	中央地域
城山の遊歩道など、木の名前を覚えながら歩くことができれば嬉しいです。高齢になってきたので、遊歩道のあちこちに屋根付きの休憩場所（椅子とテーブル）があれば有り難いです。高齢でも膝が悪くても、小さい子ども連れでも、健康のためリフレッシュのため水分補給しながら無理なく歩くことのできる遊歩道を目指して欲しいです。	女	60歳代	中央地域
植物、動物の外来種の認識があまく、それが広がるという意識の欠如がたた観られる。個人も販売業者も、自分が影響しているという意識を確実に持つ必要がある。特に年長者。	男	60歳代	中央地域
年に何回か、清掃活動に、参加させていただきますが、ゴミの多さに驚きます。市民みんなが、参加出来る清掃イベントを定期的に行うと、汚さない気持ちが生まれるのではと、思いますが。	女	60歳代	中央地域
学校教育との連携をはかり、生物多様性をテーマにした取り組みやイベントを児童生徒に体験させる。この方法をとれば、子どもたちから大人へと生き物や自然を大切にする意識が広まるのではないかと感じた。	女	20歳代	谷山地域
アウトドア趣味なので自然の大切さは実感しているし、永く続けたいので今と変わらない又は更に良い自然環境になって欲しいとは思っている。自然だけを大事にするのであれば、人間の手が入らないのが一番だとは思っている。それぐらい地球、自然は強い。ただ、共生が必要だから人間に都合の良い作られた自然を大事にしているだけ。エゴだよなあ…とは思いながらも利用はしている。	男	30歳代	谷山地域
子どもがいるので農業体験、自然体験、生きもの観察会等と一緒に参加させてみたいなという思いはあります。なかなか自然と触れ合える、農作物と一緒に作るという事ができていないので。よく見るSNSでこういう体験が出来るっていうのが情報で得られれば参加しやすいなと感じます。	女	30歳代	谷山地域
色んな通りに、中央駅のような木々の道を作って、自然のものを利用して、暑さ対策をしたり、温暖化に向き合っていかなければならない。	女	30歳代	谷山地域
カブトムシを飼っているが、死んだ時、どこに埋めたらいいか考えてしまう。昆虫の飼い方などあれば教えてほしい。	女	40歳代	谷山地域
地域猫、TNR、保護犬、保護猫、多頭崩壊などの活動に対して行政と共に今まで以上に取り組んでいけるといいと思います。	女	40歳代	谷山地域
動物を飼う方は野放ししないでほしいし、捨て犬や捨て猫も減ってほしい	女	40歳代	谷山地域
コロナ禍を機に、夫婦でキャンプにチャレンジしました。自然と触れ合うことで、心身共に癒されることを実感し、すっかり趣味になりました。鹿児島には風光明媚で安価なキャンプ場がたくさんあることを知りました。野生動物をみかけることもあります。YouTubeなどSNSでも紹介されるので、全国から来鹿されており嬉しいです。この素晴らしい自然を後世にしっかり残していきたいです。	女	50歳代	谷山地域
人間以外の生き物にも、心や感情があり（様々な感情持っている）、家族もあって、大切な命で一生を終える（懸命に生きている）（愛情を感じて）ということ、みんなに理解してもらいたいです。みんなが（市民）、生き物や自然のものを大切に扱ってほしい。	女	50歳代	谷山地域
まず認知度を上げること、そのために影響力の大きい法人とコラボすること、住民ができることを絞り込んでシンプルにし、達成率を上げること。それから次の課題に取り組むこと	男	50歳代	谷山地域

回答内容	性別	年齢	地域
メリケントキンソウなど、外来種は強いなあと思いながら、庭で見つけると徹底的に退治します。メダカを飼っていますが、川には離しません。温暖化もあり、昔のままの生態系を維持するのは、難しそうです。	女	50歳代	谷山地域
一人一人のモラルの問題である事は分かっている昨今、厳しい罰則を付加する事を検討して欲しい。	男	50歳代	谷山地域
海の海水温が年々、上昇してるのも気になります。サンゴ保全なども必要だと思う。ウミガメプロジェクトなどもっと学校単位で取組があってもいいと思う。海辺のクリーン作戦なども鹿児島市の取組は消極的だと思う。帰省した沖永良部でこの夏アカショウビンの鳴き声を聞いた。	女	50歳代	谷山地域
春にアナグマが道路でひかれていたのを昔より多く見る気がします。山中の環境が変わって食べるものが少なくなっているせいなのかなと思っています。	女	50歳代	谷山地域
正直、今日まで気にしていなかった。今後生活の中で考えて行動していきたい。このアンケートを受けることも良い機会となった	女	50歳代	谷山地域
海が変わってきている。この3~4年で大きく変わってきています。私の故郷の吹上浜の赤崎海岸は、春になるとびなが獲れて、わかめやタコもいた。今は一匹たりともみかけません。磯遊びが好きな私の楽しみがなくなりました。出水では毎年、まて貝を獲りに行っていました。海水温上昇のため今は一個もとれません。東京湾は珊瑚の温床となり、北海道ではいわしの大量このままで、日本の自然は大丈夫なのでしょうか。悲しくなります。	男	60歳代	谷山地域
小学校や中学校の敷地内にビオトープを作ればいいと思います。	女	60歳代	谷山地域
動物愛護団体の発言はよく理解しているが、農家・住民達を困らす動物等の駆除は・・・。(イノシシ・シカ・カラス・クマなど)	男	70歳以上	谷山地域
昔は谷山地区は、田んぼ、畑が、畔があり、水路があり、とんぼ、もんしろちょう、だんま、かめ、ふな、いろいろいっぱいでした。木ノ下川にうなぎもいっぱいでした。浮草あり、慈眼寺の畑にいくときは、めじろが鳴き、うぐいすがなき、それこそ生物多様でした。足を知るものは富む、です。	男	70歳以上	谷山地域
年齢を重ねて、子供の頃の環境を思い出します！あの頃は当たり前と思っていたが今は変わってきた！いつまでもホッとできるような場所作りと保存をお願いします！	女	70歳以上	谷山地域
引き続き自然を大切にポイ捨てをせずにゴミがあつたら拾っていききたい。生き物も大切に家族全員で守っていききたい、見守っていききたいと思います。	男	30歳代	伊敷地域
鹿児島市だけではなく、年々生き物の数も減少しており、これまで川で見かけていた魚や公園の虫など明らかに減っている実感があります。まずは生物多様性の意味合いから、市民で理解する機会を増やしていくべきだと思います。すでに体験型のイベントも実施していることは存じ上げていますが、より頻度を増やして頂けると環境にもよりプラスの変化となるのではと感じております。	男	30歳代	伊敷地域
小学生向けのイベントがあつたら、参加しやすいかな。	女	30歳代	伊敷地域
未就学児の子供がいますが、今の段階からでも良いので、もっと公園や山などに出かけて自然の良さを伝えたり、動物園や水族館の年パスは持っているのでもっと出かける頻度をふやし子供達が生き物と触れ合う回数をふやしたいなと思いました。また、少年自然の家でのイベントや環境未来館のイベントなどに出かけたいなと思います。	女	30歳代	伊敷地域
興味を持つことが大切だと思うので、ポスターやテレビやSNSなど、目にふれるようにすることが大切 だと思う。	女	40歳代	伊敷地域
今年は会社のお付き合いの中で、清掃活動へ参加しました。小学生と幼稚園児の子供を連れての参加でした。家族揃って？みたいな感じで体験型であれば参加しやすいかなと感じました。	男	40歳代	伊敷地域

回答内容	性別	年齢	地域
子供の頃は夏休みになると、川や山で日が暮れるまで遊んでいたが、虫を捕まえては自然に戻すと、いうことは子供ながら理解していた。ゴミなどもなかった。川の水も冷たく、澄んでいた。自然と共存していくためには沢山の人達に理解して頂き、自然と生き物のありがたさを共有していかなければならないと思う。	女	40歳代	伊敷地域
鹿児島は屋久島や奄美などの離島も含めて豊かな自然がたくさんあるので、これからもその自然を子供たちの世代やその先まで残していってほしいなと思います。	女	40歳代	伊敷地域
新規就農の補助金や援助を手厚くし、新規就農を促し、耕作放棄地を減らすようにする。	男	40歳代	伊敷地域
登山が趣味です。自然の中に入ると、環境破壊しないように気をつけてます。また、植物を無駄に持って帰ったりしない。ゴミを捨てないなど気をつけてます。自然を大切に、後世に残してあげたいと思っています。	女	40歳代	伊敷地域
鹿児島は自然豊かなんで今のままでも大丈夫かと思っています	男	50歳代	伊敷地域
ペット殺処分の件数を毎月発表する等、まずは現状を市民に周知させることから初めて欲しい。	男	60歳代	伊敷地域
生物多様性は、行政・関係団体・市民が住んでいる地域の環境について学び、一つ一つ行動をおこして実施していくことが大事と思う。	男	70歳以上	伊敷地域
家族で、出かけるときに、自然と触れ合えるところを選ぶ。公園が多いが、遊歩道や海岸も行く。駐車場の場所や、安全なことの確認などのため、親が以前から知っているところに子どもたち連れていく。なので、もっとたくさん良いところがあるのに、知らないがために連れていけない。複数家族参加のツアーガイドや、モデルコースの動画配信などあれば、新たな場所に子どもたち連れて出かけやすくなると思う。	女	30歳代	吉野地域
子供が気軽に自然に触れられる場所が市内にたくさんあればいいと思います。子連れの外出は近いほうが便利です。各地域に1箇所はあるといいと思います。グリーンファームを利用したいのですが、吉野から喜入には気軽には行きません。	女	30歳代	吉野地域
鹿児島に越してきてびっくりしたことが、家に多くの不快害虫がでたことです。あれも島から植物などに乗って鹿児島に移り住んだとありました。それに対しての害虫駆除材を市から頂けるのを先月知りました。すごく助かってます。	女	30歳代	吉野地域
娘が通っている保育園では園庭や食育を通じて自然に触れる機会が多く、外来生物の駆除(ザリガニ)などにも取り組んでいます。そのような環境に居ることで知るきっかけになったり、実際に取り組んだりできるので幅広く広報活動するよりもまずは職場や学校、施設など人が集まる場所で促進することの方が効果が出るのではないかと思います。	女	30歳代	吉野地域
生物多様性は、さまざまな生物が、生きやすく自然を感じて豊かに暮らせるように、環境によくないことはなるべくさけてゴミのポイ捨てなどは、絶対しないように緑を大切に一人一人が、心がけて生活するとよいと思います。	女	40歳代	吉野地域
野生動物による農作物の被害や、人を襲ったりなどの被害について、非常に心が痛いです。特に熊は本当は狂暴ではなくどちらかというと臆病で、そもそも人が動物の生息領域を犯しているがために起こることだと考えます。山に山菜を採りに入ったりすることをもっと規制しても良いのではと思います。鹿児島には熊はいないけど。他の野生動物も食べ物山になくなっていくから危険を冒してまで人里に出てくるしかないのではないのでしょうか。そういった意味ではもっと自然を豊かにし動物と共存できる社会が出来るよう行動していきたいと思っています。	女	40歳代	吉野地域
幼児や小学低学年の子供たちに鹿児島市の自然の豊かさや大切さも含めて理解してもらう教育活動を行う事により、家庭も含めてこれまで以上に取り組み方も変わってくると思う。	男	40歳代	吉野地域
花壇など季節季節に花等植え見て楽しんでいる。旬を楽しみ、そして食材で季節を感じるようにしている。	女	60歳代	吉野地域
ペットとして飼っている外来危険動物が逃げ出した等のニュースをよく耳にする。今一度そういう動物の飼い主に対し注意喚起するとともに、市民に迷惑をかけることになった場合は、罰金徴収する等のペナルティを課すべきではないだろうか？	男	70歳以上	吉野地域

回答内容	性別	年齢	地域
私は、犬を、飼っています。可愛くてしょうがないです。 生き物に向き合うとき、それは、愛情と想像力で向き合わないといけないと思います。 それには、知識も必要ですし、相手も動物なら、感情を持っています。その意を汲むことも、大切だと思います。	女	30歳代	桜島地域
自宅にメダカを飼育していますが私が子供のころ見ていたメダカとは異なっているように感じていることに違和感は余りないけど このメダカも外来種なのかもしれないと、ふと思うことです。	男	70歳以上	桜島地域
よく外来生物排除の企画をテレビで見るが、年数がたつて地元に着定してしまったものをまた排除するのは生態系のバランスを壊す事にはならないのか、いつも疑問に思う。着定の年月日とか現状の生態系のなかでどういった役割を担う事になっているかを知らなければならないから、ケースバイケースなのだろうけれど。 地元の外来生物とそれに脅かされている生物についての知識がほしい。	女	40歳代	吉田地域
喜入の海ではウミガメの迎えるために去年まで喜入小のある男の子が発端となりゴミ集めをされてました。喜入小学校の行動ではなくこの男の子を中心に集まったようです。 喜入に引越して知りました。他の地区の方にはあまり知られていないかと思えます。 鹿児島は海に囲まれた県なので海の近くの小学校は地震時の津波はもちろん、海との関わりは強いと思えます。 海を守ることはとても大事だと思います。またそれを大人は勿論、子どもたちに教える機会も必要かと感じます。 鹿児島市として海の日？があるかわかりませんが海のゴミ拾いをするイベントなどあるといいなと思いました。 私の子どもはまだ小さいのでそういうイベントに参加は難しいと思いますがもう少し大きくなったら参加したいと思ってます。	女	40歳代	喜入地域
出来るだけ無農薬野菜やお菓子、オーガニックの化粧品などを購入している。ふるさと納税ではそのような商品を探して申し込んでいる。 他県に旅行に行くと道の駅やデパートに行くと、無農薬やオーガニックの商品に力を入れている、説明していたりする。場所によっては、県で無農薬の米や野菜などにとりくんでいる。 鹿児島では、ITの農業などの推進というのを市長か県知事の内容で見たが、長い目で見て環境や人に配慮した農業などを振興していく道ができれば、とても嬉しい。	女	40歳代	喜入地域
「生物多様性」と「自然保護」の違いって？ 厳格な事を言えば、農作物も庭木も家畜もペットも外来種になります 農業体験が多様性理解に役立つのでしょうか…？	その他・ 答えたくない	50歳代	喜入地域
日々の生活の中で、保護活動・美化活動に参加することがないです。理由としては、一人ではなかなか参加しづらいです。妻と小学1年の娘との3人家族ですが、妻はいわゆるボランティア精神の無い人間で、それがあって私からそういう活動に「参加しよう」と言い出すことができません。しかし、もし娘がそういう活動に興味を持ったり参加したいと言った場合には妻も子どものいうことを無視できずに「家族で参加してみようか」という話になるかもしれません。ですので、生物多様性に関しては、小学校の授業に取り入れるようにしていただけたらありがたいです。	男	30歳代	松元地域
人の手によって 放たれた外来生物もただ適応して生きてるだけ 。先日のマングース廃絶のニュースを見て 黒うさぎが守られる嬉しさと(結局車に轢かれるのだが) 可哀想なマングースと 複雑な気持ちでした。これから人口減少の時代に入ると 切り開いてきた山を動物に返す取り組みが あってもいいのかもしれないかと思う。	女	40歳代	松元地域
今年、町内会の役員をさせていただきます。 地域のみなさんと一緒に清掃美化活動をしています。	女	60歳代	松元地域
学校等での活動の充実や、道路のゴミ対策をして欲しい。	男	30歳代	郡山地域
昔からあった生物の観測地や公園みたいところが、管理人の高齢化で荒れて人が来なく(行けなく)なっている。 そういうところであれば、下地は整ってるから、ある程度整えて、子供やお年寄りが行けるようにすればいいのにと思う。	女	30歳代	郡山地域
かごしま自然百選や自然遊歩道など、いくつか行った事があるが、手入れがされていなかったり、害虫などに刺されてしまうなど、アピールされてる割には汚いところが多かった様に感じます。 なので、PR宣材写真などのギャップがない様にした方が良いのではないかと感じる。	女	40歳代	郡山地域

回答内容	性別	年齢	地域
<p>鹿児島は山、川、海、どれをとっても素晴らしい景色がたくさんあります。それらを今後も素晴らしい景色状態で保っていきたいですね。</p> <p>自然の景色だけでなく、鹿児島県は農作物、畜産豚、海産物、どれをとっても、全国に誇れると思います。</p> <p>自然と生物の共存、そしてそれらを地域で守り、活かしている鹿児島は生物多様性にきちんと根ざしていると感じています。</p>	男	40歳代	郡山地域
<p>仕事をしているとなかなか、昼間の活動は出来ない。土日はゆっくりしたい気持ちもある。企業に参加を求め市民の広場などで企業を紹介するなど楽しみながらイベントを企画しても良いと思う。仕事をしているから、出会いがなくと言う人にも出会いの場に繋がる一石二鳥、三鳥になるように自然で癒され、環境を考える機会になり、人の交流もあり、職場の紹介も出来るような、、、。</p>	女	50歳代	郡山地域
<p>旬のものや地ものを積極的に購入し、季節行事をイベント感覚で楽しむのではなく、意味を考えて行事や食をしていきたい</p>	女	30歳代	鹿児島市以外
<p>いろんな生物多様性について勉強になりました。是非家族みんなで鹿児島市内の自然に触れたいです。</p>	男	40歳代	鹿児島市以外

## IV 市民が利用したくなる美術館について

### 1 調査の目的

1954(昭和29)年に開館した鹿児島市立美術館は、1985(昭和60)年の新装開館を経て、2024(令和6)年、開館70周年という大きな節目を迎えました。本市の文化施設として、鹿児島市文化芸術推進計画の基本目標「文化芸術で多彩につながり未来をひらく 文化創造のまち かごしま」の実現を目指し、今後の美術館の事業推進の参考とするためにアンケートを実施させていただきました。

### 2 調査結果を受けて担当課（美術館）からのコメント

「市民が利用したくなる美術館」について、今年、開館70周年を迎えたことを大きな節目として、今後の美術館の事業推進の参考とするためにアンケートを実施したところ、多くのご回答やご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

本調査にご協力くださった方のうち、美術に対して興味が「ない」と「どちらとも言えない」とご回答いただいた方が、およそ半数を占めており、今後の美術館運営の在り方によっては、より多くの方にご利用いただける可能性があることが分かりました。特に、美術館へ訪れたくなるための、カフェをはじめとした施設面の充実、多様なニーズに対応した展覧会等の実施、美術館のエントランスや前庭など、既存スペースを活用した催しの実施など、数多くの具体的なご意見をいただきましたので、当館運営の短期、中期、長期の運営計画立案の際に参考にさせていただきます。

また、当館のホームページやSNSを見たことがない方が61.7%、美術館を訪れたことのない方のうち、40.7%の方が、「美術館で行われている催しなどの情報が伝わってこない。」と回答されていることから、今後の情報発信の在り方についてさらに工夫を凝らしてまいります。

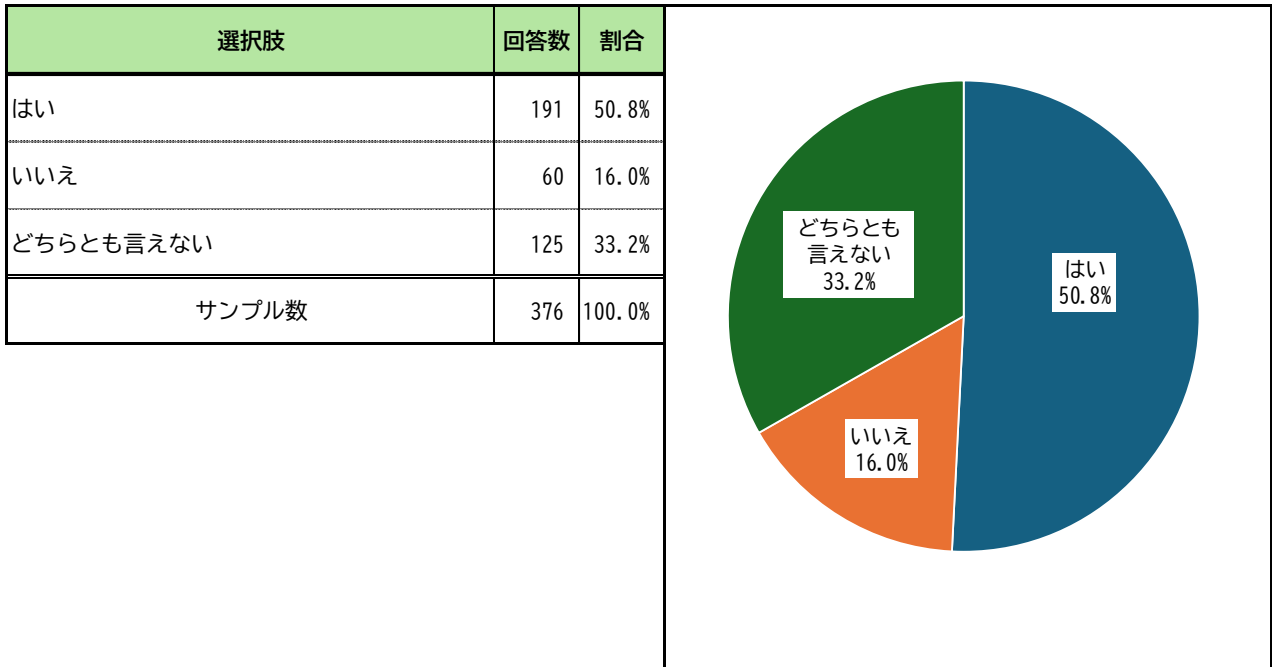
その他、あなたがもっている当館のイメージや今後、当館に求めることなどにおいて、例えば「小さい子供を連れていける雰囲気欲しい」など、多様なご意見をいただきましたので、今回の調査結果を踏まえ、「もっと市民が利用したくなる美術館」を目指して取り組んでまいります。



### 3 調査結果

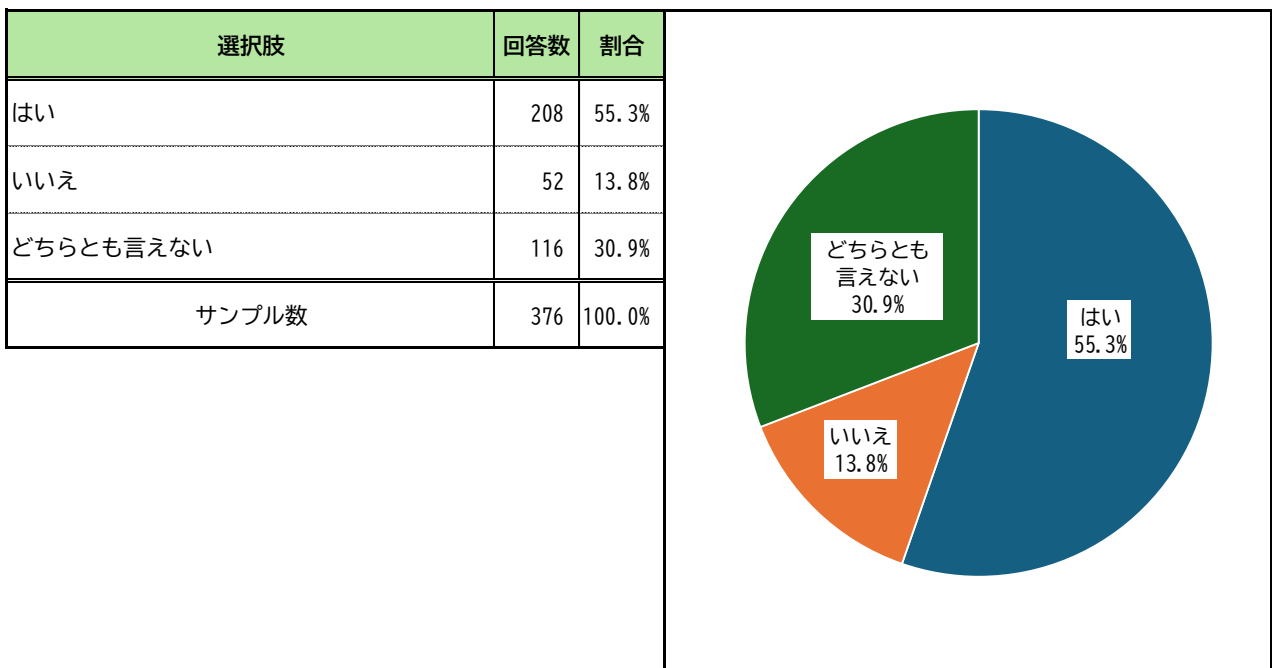
問32：あなたは、美術に興味がありますか。(ひとつだけ)

「はい」が50.8%、「いいえ」が16.0%、「どちらとも言えない」が33.2%となっています。



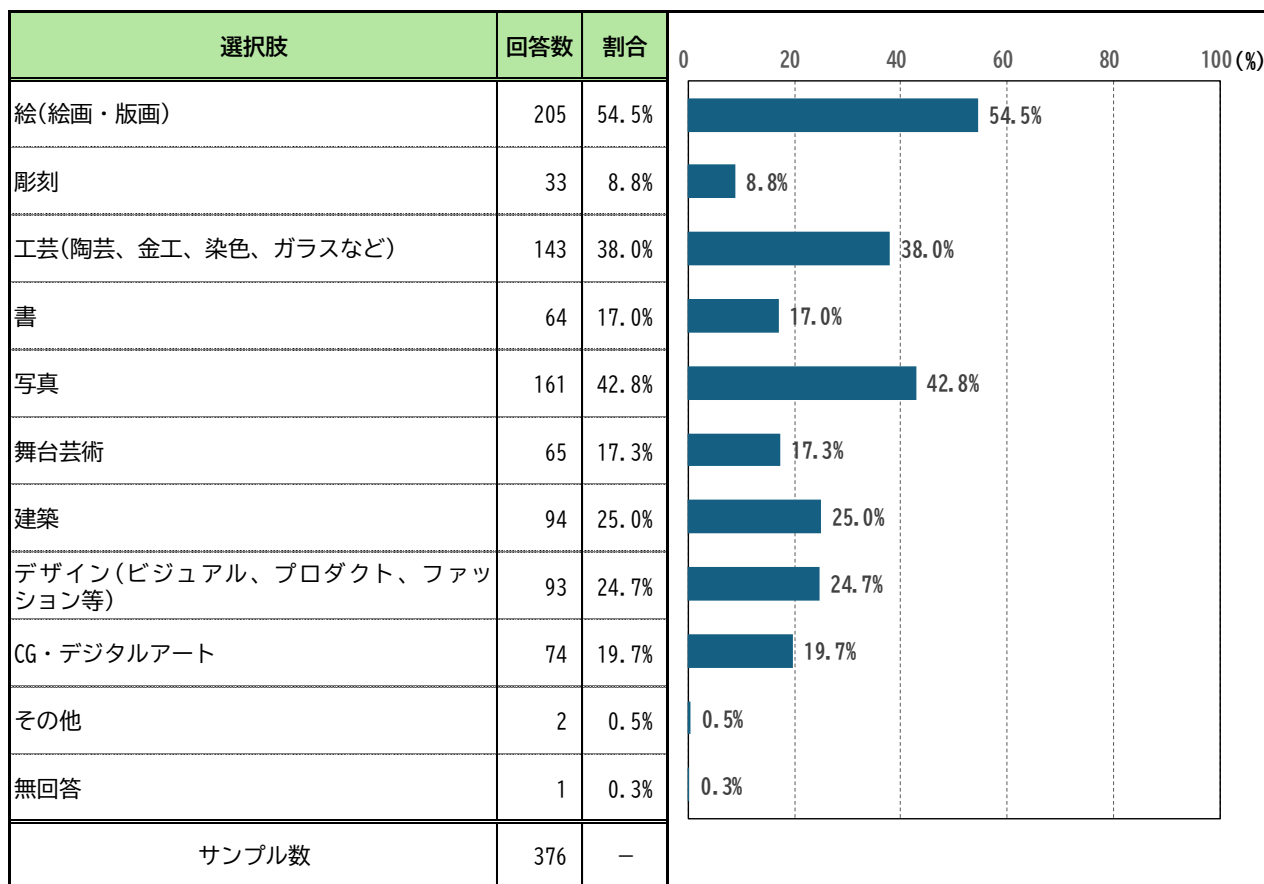
問33：あなたは、絵や彫刻、工芸、デザイン、書、写真などを本やテレビ、インターネット、美術館等で鑑賞すること(見ること)が好きですか。(ひとつだけ)

「はい」が55.3%、「いいえ」が13.8%、「どちらとも言えない」が30.9%となっています。



問34：あなたの興味のある美術の分野はどれですか。（3つまで）

「絵(絵画・版画)」が54.5%と最も高くなっています。次いで「写真」(42.8%)、「工芸(陶芸、金工、染色、ガラスなど)」(38.0%)となっています。

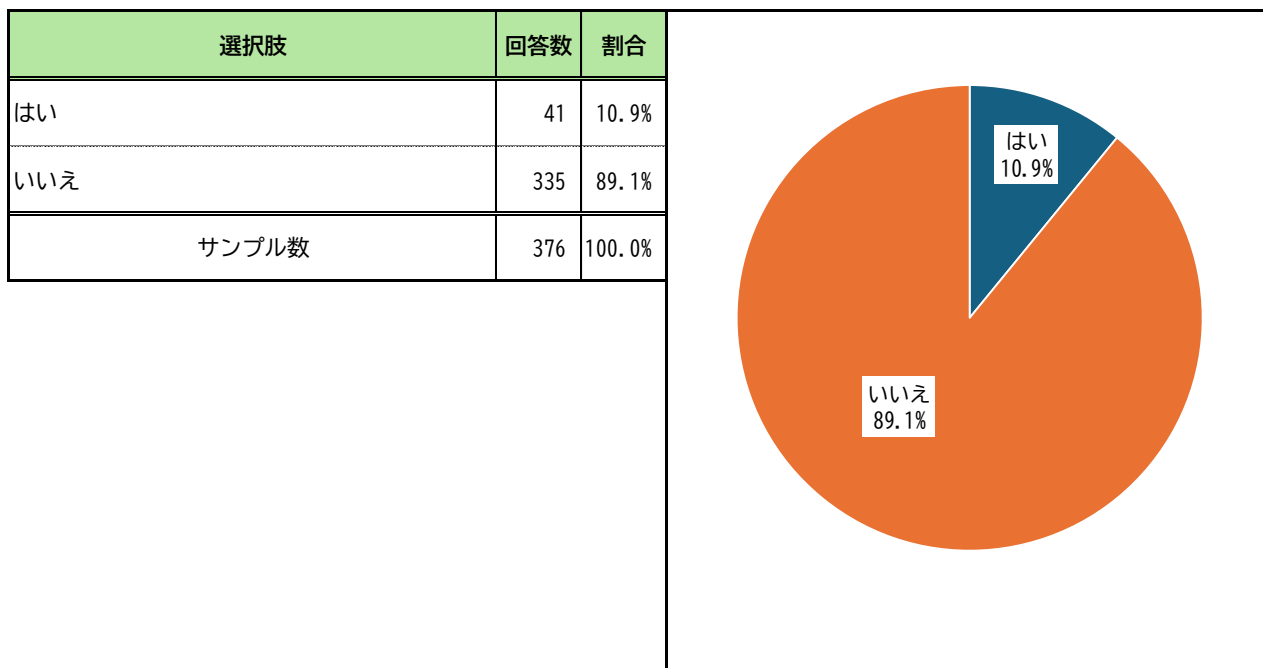


【その他の回答】(原文のまま)

- 特になし(2)

問35：あなたは、現在自宅や公民館、カルチャーセンター、市立美術館等で創作活動をしていますか。(ひとつだけ)

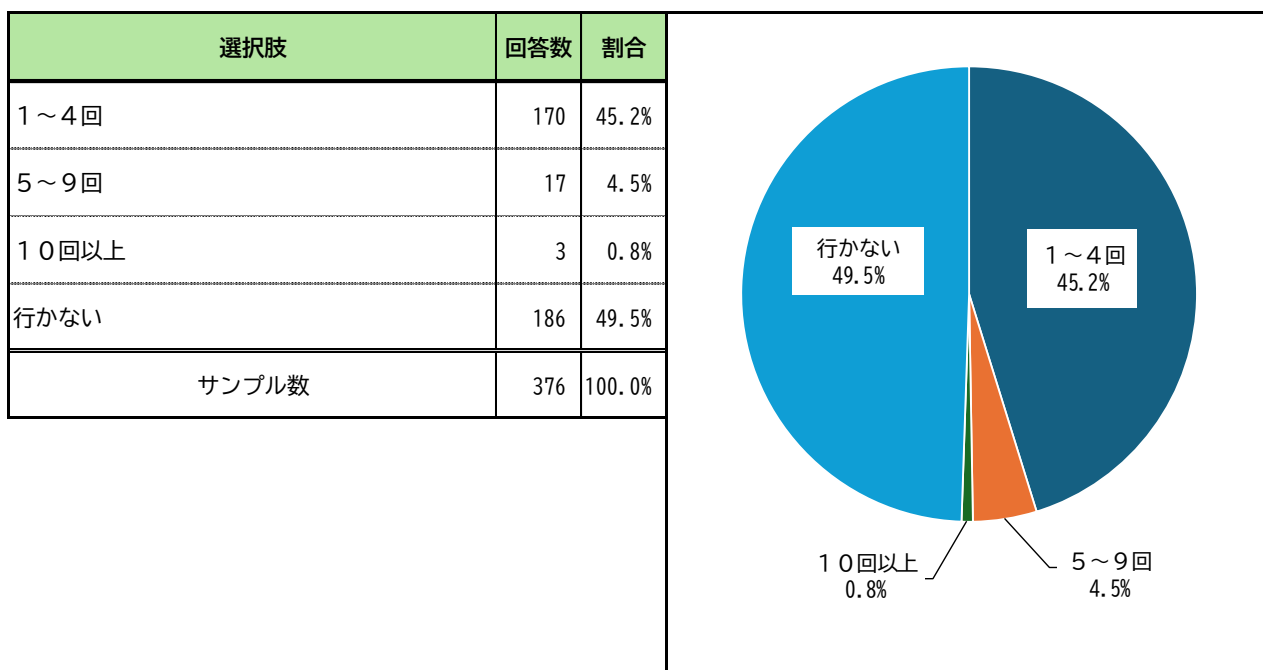
「はい」が10.9%、「いいえ」が89.1%となっています。



問36：あなたは、国内外の美術館に、年間何回ほど行きますか。(ひとつだけ)

「行かない」が49.5%と最も高くなっています。

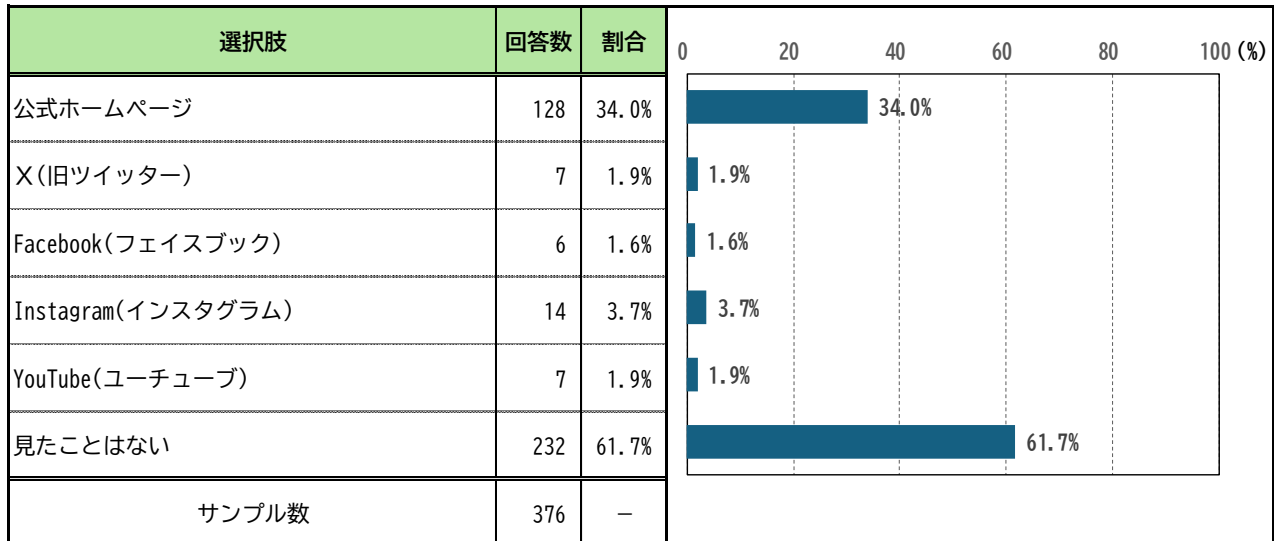
美術館に行く回数としては、「1～4回」が45.2%と最も高くなっています。次いで「5～9回」(4.5%)、「10回以上」(0.8%)となっています。



問37：あなたは、市立美術館のホームページや SNS を見たことがありますか。  
 (いくつでも)

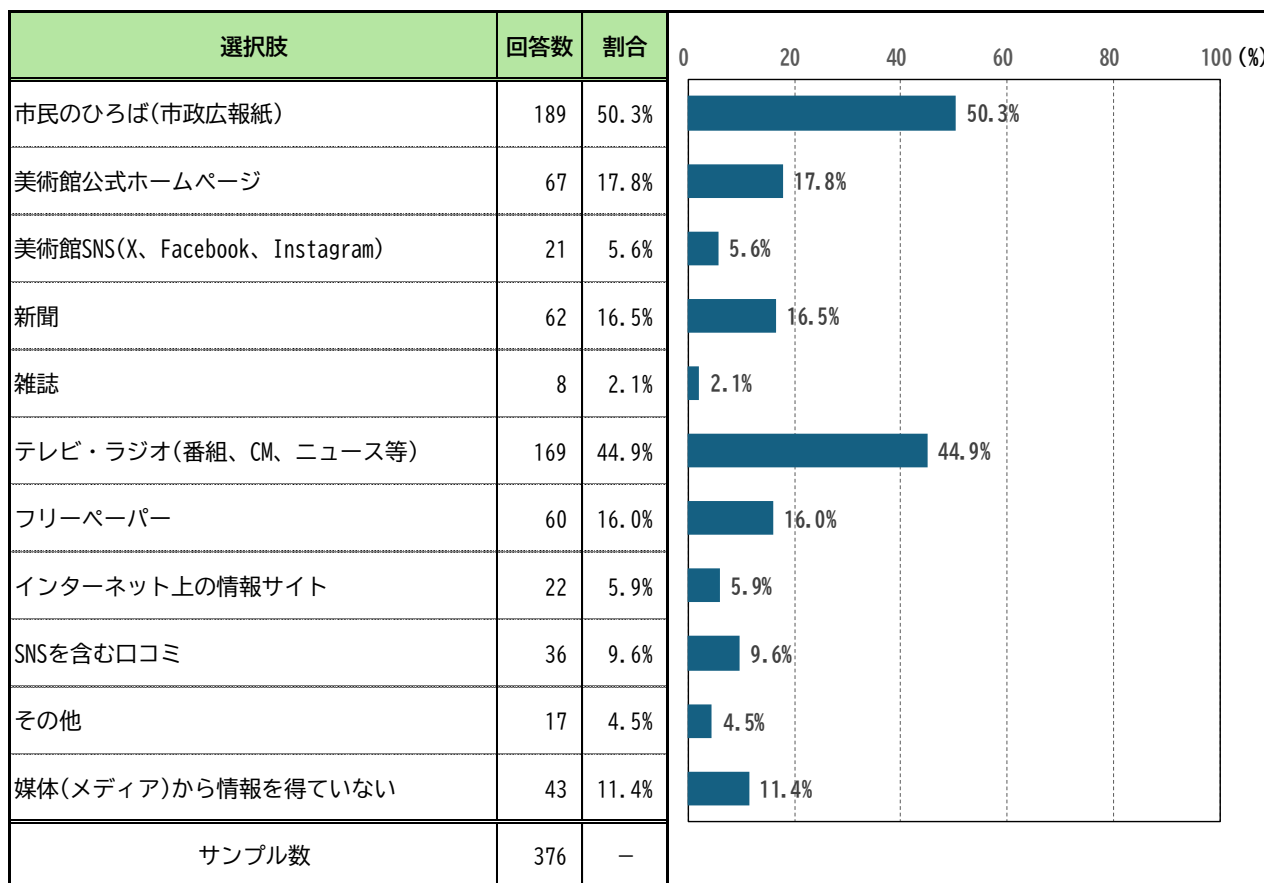
「見たことはない」が61.7%と最も高くなっています。

見たことのある市立美術館のホームページや SNS としては、「公式ホームページ」が34.0%と最も高くなっています。



問38：あなたは市立美術館の催しに関する情報をどの媒体(メディア)から知りますか。  
(3つまで)

「市民のひろば(市政広報紙)」が50.3%と最も高くなっています。次いで「テレビ・ラジオ(番組、CM、ニュース等)」(44.9%)となっています。

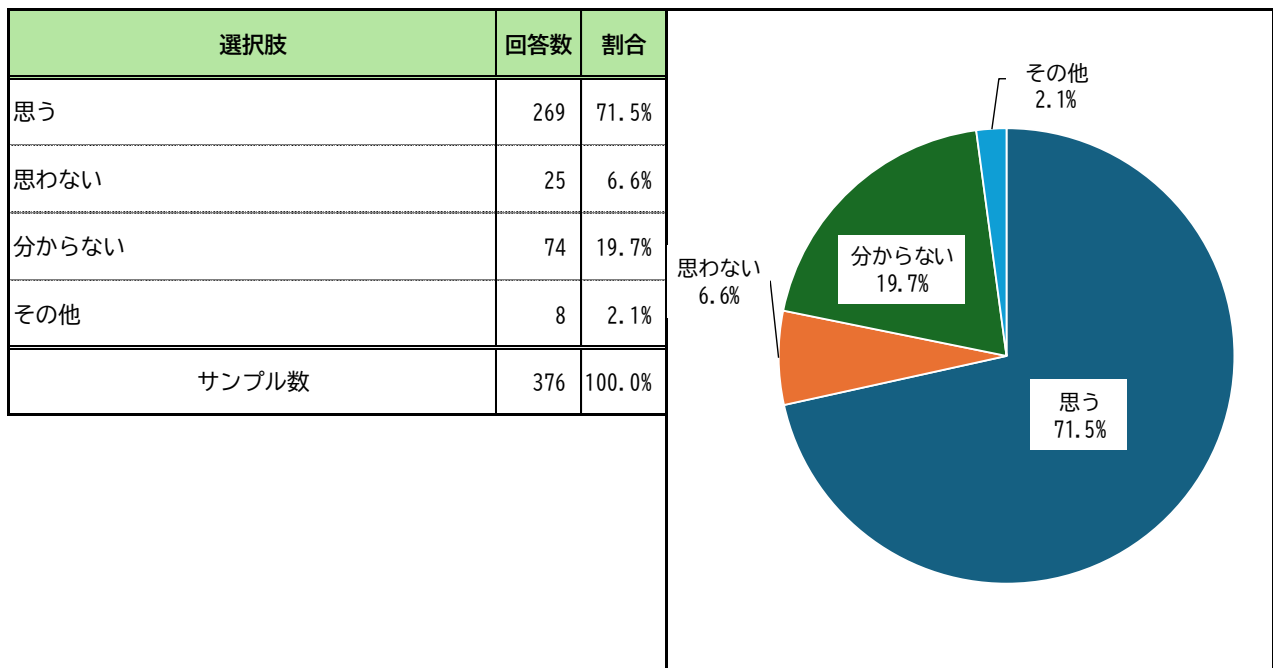


【その他の回答】(原文のまま)

- 運転してる時に美術館の前を通り、その時に何をしているのかがわかる。
- 学校からのイベント情報やチラシ。
- 学校からの案内。
- 学校経由
- 建物の近くにある看板。
- 公共交通機関に掲示してあるポスター。
- 子どもが学校からもってくる企画展の案内。
- 子供が学校から持って帰るチラシなど
- 鹿児島出身の画家の絵をこの前観賞しました。
- 小学校で配布されるチラシ。
- 小中学生の娘達が持ち帰るチラシ。
- 職場における社内ネットワーク等での紹介。
- 信号待ちの際の、美術館前の案内。
- 美術館で開催する団体が作成するチラシ。
- 美術館の入口看板。
- 美術館前の案内看板や掲示板。
- 役所等の建物に掲示されているチラシ。

問39：あなたは、市立美術館の常設展の観覧料を適当だと思いますか。(ひとつだけ)

「思う」が71.5%、「思わない」が6.6%、「分からない」が19.7%となっています。

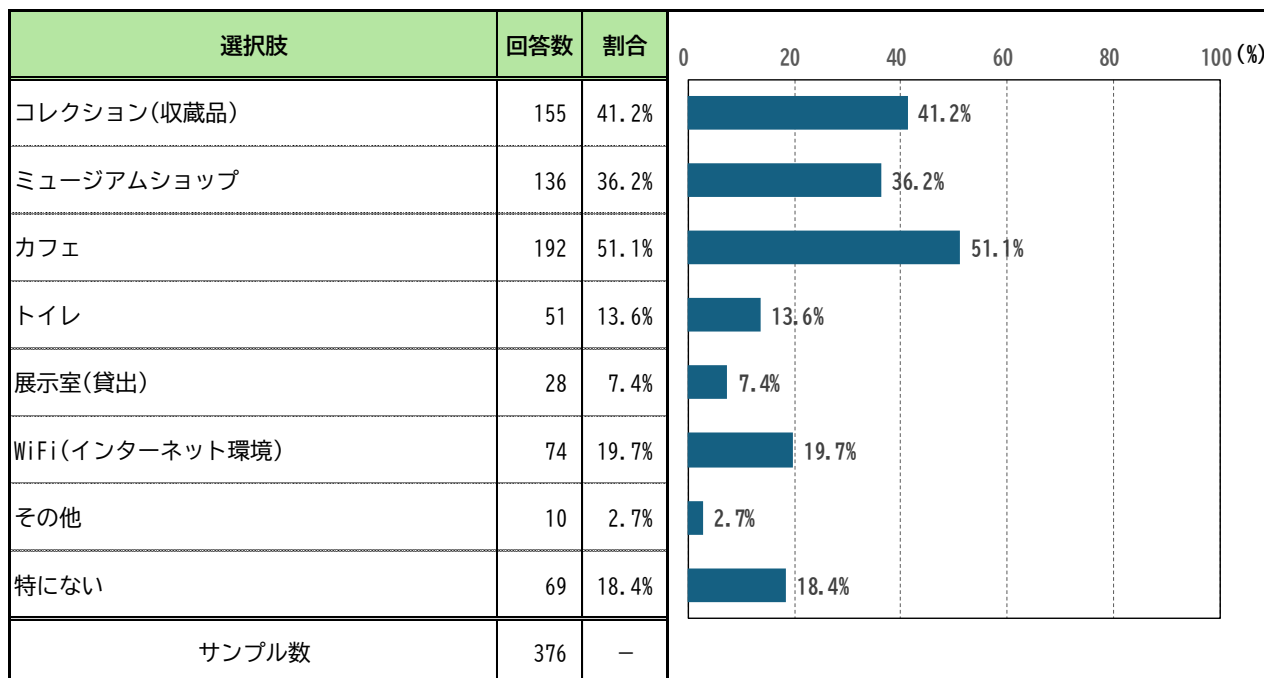


【その他の回答】(原文のまま)

- 安い(3)
- 安すぎる(2)
- 低価格
- 無料にしたら、子供たちが気軽に行けると思います。
- もっと高くしてもいいから、内容を充実させた方が客入りは良くなると思われます。

問40：あなたが市立美術館の施設・設備等でもっと充実して欲しいものは何ですか。  
(3つまで)

「カフェ」が51.1%と最も高くなっています。次いで「コレクション(収蔵品)」(41.2%)、「ミュージアムショップ」(36.2%)となっています。



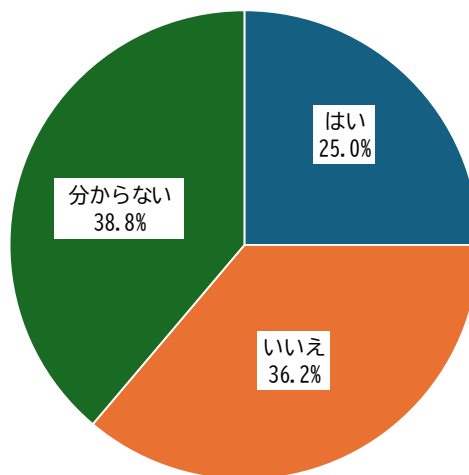
【その他の回答】(原文のまま)

- イベント。美術館前の広場での芸術に触れる、創作できるイベント。
- センスのある作家さん、アーティストの方の誘致。
- どの美術館も展示に執着している。イベントにおいても受動的なイベントばかり行っていると思う。美術館の外の広い入口のスペースを芸術家やインフルエンサーに有料で提供するなど積極的な活動をするべきだと思います。美術館は人が来なければ宝のもち腐れです。
- もっと入りやすさ 敷居が高く感じる 実はそうでなくても。
- 県内の高校生の作品の展示。
- 行ったことがないからわからない。
- 身近なアート、若者のアート、売れてないアート、ファッショナブルなアートを無料で見れる、展示できるコーナー。
- 他の美術館収蔵品の展示。
- 駐車場の増設と美術品のweb説明。
- 駐車場をもっと増やして欲しい。

問4 1：美術館でギャラリートークや広報作業などボランティア活動に取り組んでみたいと思いますか。(ひとつだけ)

「はい」が25.0%、「いいえ」が36.2%、「分からない」が38.8%となっています。

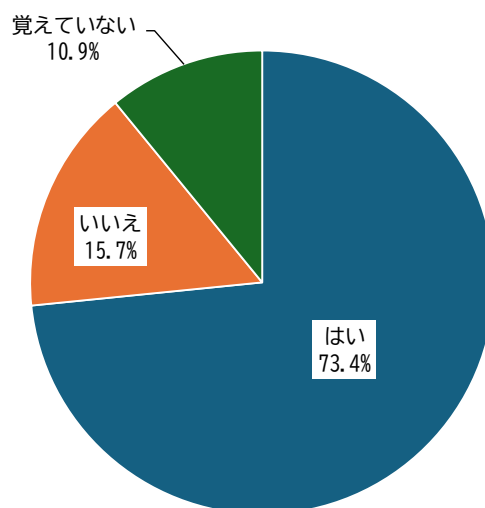
選択肢	回答数	割合
はい	94	25.0%
いいえ	136	36.2%
分からない	146	38.8%
サンプル数	376	100.0%



問4 2：あなたは市立美術館を訪れたことがありますか。(ひとつだけ)

「はい」が73.4%、「いいえ」が15.7%、「覚えていない」が10.9%となっています。

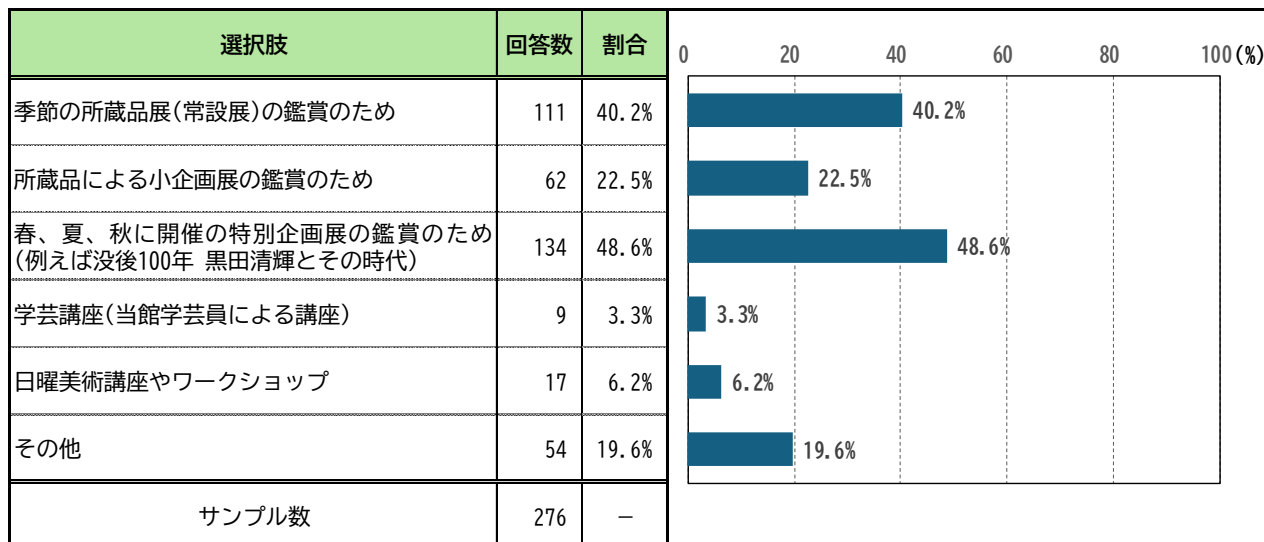
選択肢	回答数	割合
はい	276	73.4%
いいえ	59	15.7%
覚えていない	41	10.9%
サンプル数	376	100.0%





問43：【問42で「はい」を選択した方にお伺いします。  
どのような理由で訪れましたか。(いくつでも)

「春、夏、秋に開催の特別企画展の鑑賞のため(例えば没後100年 黒田清輝とその時代)」が48.6%と最も高くなっています。次いで「季節の所蔵品展(常設展)の鑑賞のため」(40.2%)、「所蔵品による小企画展の鑑賞のため」(22.5%)となっています。



【その他の回答】(原文のまま)

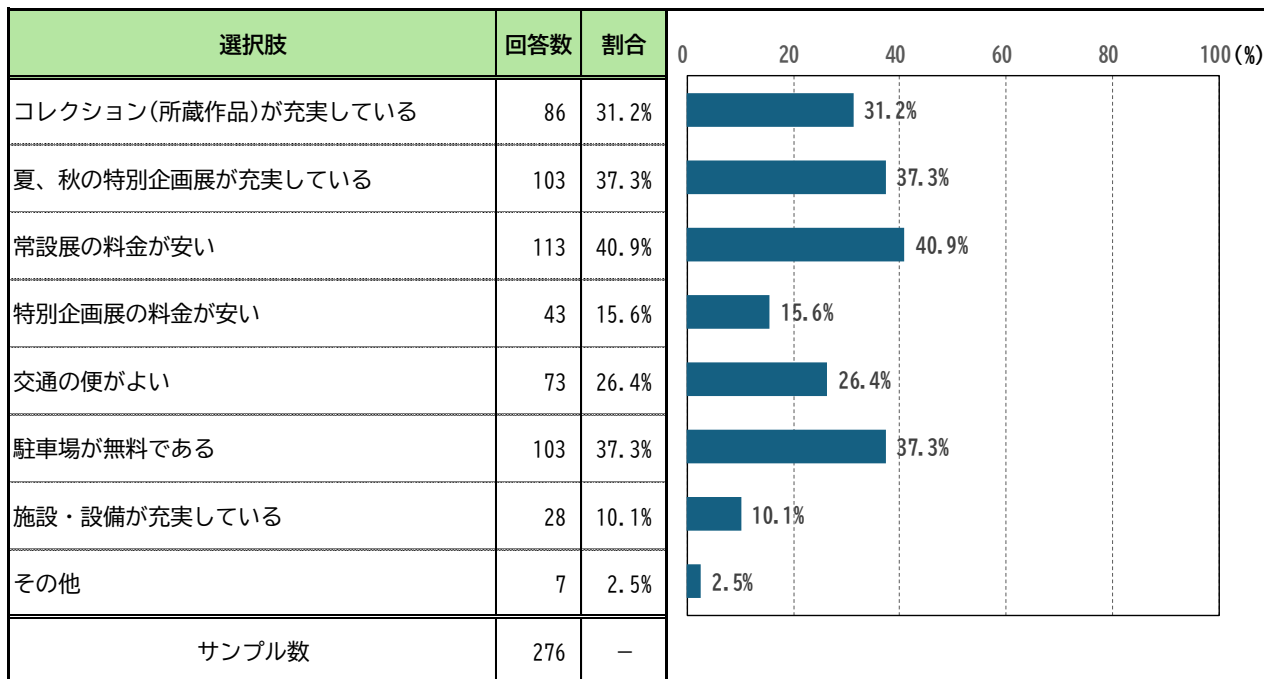
- 夏休みの課題・宿題 (5)
- 学校の課題・宿題 (5)
- 学生時代の課題 (3)
- 学校の授業 (3)
- 待ち合わせとお茶 (2)
- 子どもの夏休みの課題の付き添い。
- 子どもの課題で。
- 子どもの学校関係の宿題等の付き添い。
- 子供が行きたいと言ったため一緒に行った。
- 子供が幼少期に何度も行ってました。
- 子供の引率
- 子供の頃、学校の必須で夏休みにいった。
- 子供の作品鑑賞
- 子供の自由研究
- 子供の宿題の付き添い
- 子供の付き合い
- 子どもが中学生のとき、美術館を見に行きましようという宿題があり、一緒に鑑賞しました。
- 宿題
- MBC サムオール美術展に出品した作品を鑑賞。
- オードリー・ヘップバーン展
- スタンプラリーのため。
- レンタルスペースでの展示で行く。
- 引っ越しした後、半年ぐらいの間に使える無料入場券? を使っていきました。

- 遠足で
- 学生の展覧会
- 興味のある展示だった為。
- 好きな画家の企画展。
- 仕事の一環で。
- 施設の周囲の散策
- 自分たちの作品の展示会
- 書道
- 小学校の時、遠足みたいなので行った。夏休みに学校からチケットをもらった時に行った。
- 小学校の時の夏休みの課題で行ったことがある。
- 小学生の頃、高校生の兄が書いた作品が美術館に飾られることがあったので、見に行きました。
- 小学生の頃に社会科見学か遠足で訪問したことがあります。
- 親戚の個展
- 地下展示室への展示。
- 南日美展とか知り合いが出展してるから。
- 部顧問している時に展覧会を開いた。
- 覚えていない・忘れた（2）。

問44：【問42で「はい」を選択した方にお伺いします。】

あなたの考える市立美術館の魅力は何ですか。（3つまで）

「常設展の料金が安い」が40.9%と最も高くなっています。次いで「夏、秋の特別企画展が充実している」（37.3%）、「駐車場が無料である」（37.3%）、「コレクション(所蔵作品)が充実している」（31.2%）となっています。



【その他の回答】（原文のまま）

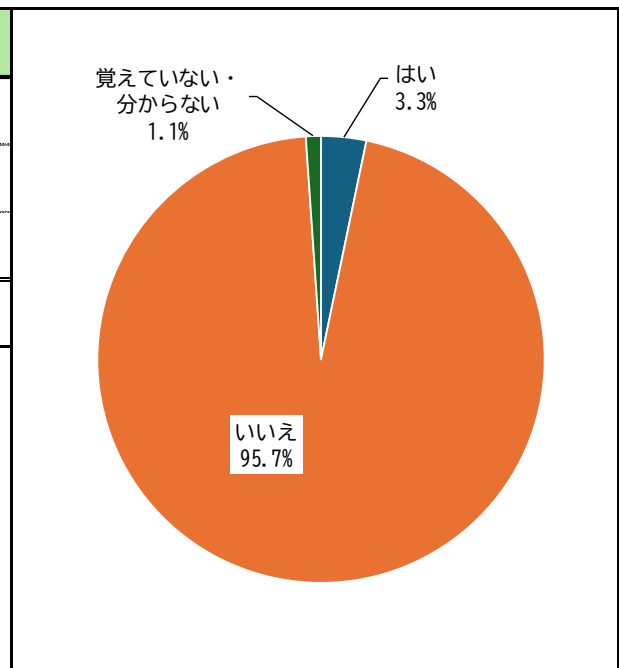
- あまり魅力を感じない。古臭い。
- すみません。魅力を感じておりません。
- 喧騒から離れられる静かな空間、エントランスの薩摩切子デザインの天井などの内装、気軽に立ち寄れる雰囲気。
- 特に興味はない。
- 美にふれる自主イベントの開催
- わからない（2）

問45：【問42で「はい」を選択した方にお伺いします。】

あなたは年間パスポートを購入したことがありますか。(ひとつだけ)

「はい」が3.3%。「いいえ」が95.7%、「覚えていない・分からない」が1.1%となっています。

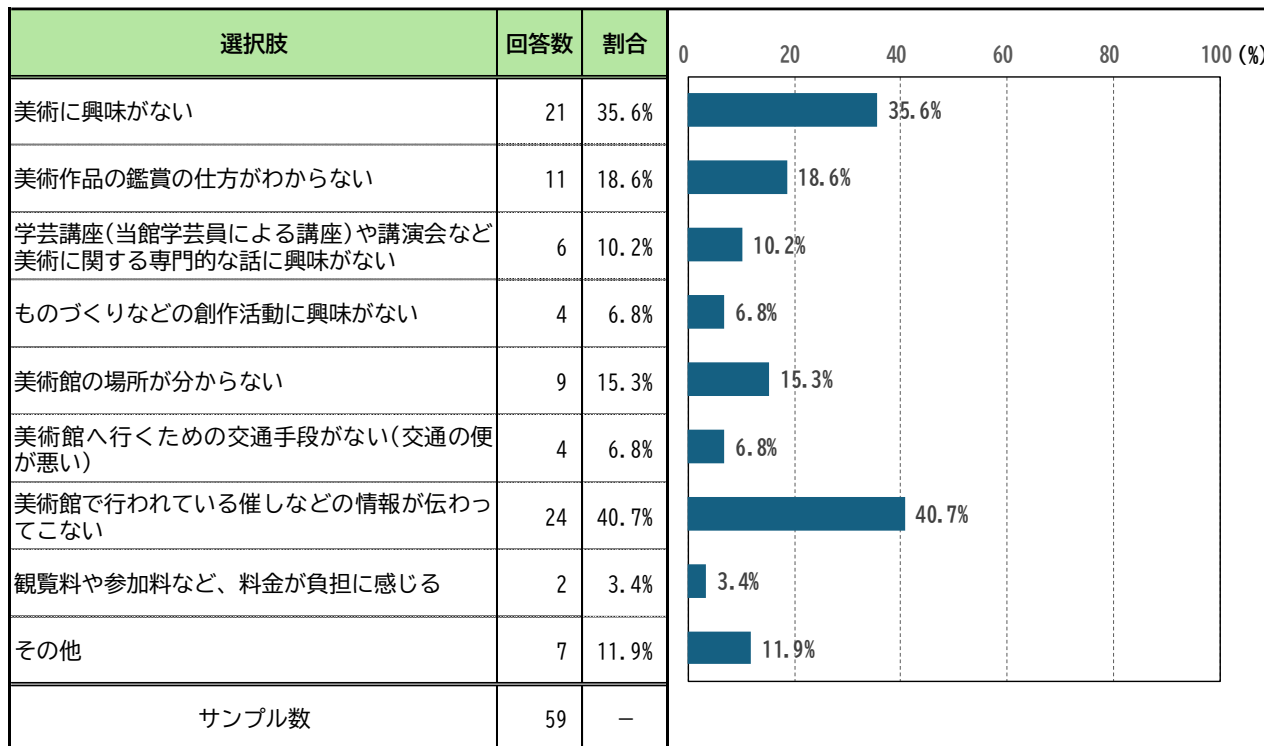
選択肢	回答数	割合
はい	9	3.3%
いいえ	264	95.7%
覚えていない・分からない	3	1.1%
サンプル数	276	100.0%



問46：【問42で、「いいえ」を選択した方にお伺いします。】

市立美術館を訪れたことがない理由は、何ですか。（3つまで）

「美術館で行われている催しなどの情報が伝わってこない」が40.7%と最も高くなっています。次いで「美術に興味がない」（35.6%）となっています。



【その他の回答】（原文のまま）

- センスがないと感じる
- ホームページを見ても収蔵品に関心が惹かれない。
- わんぱくな子供がいるので、展示品を壊しそうで連れて行かない。
- 興味はあるが、なかなか行く機会がないです
- 子供が騒ぐので行けない
- 子連れでは行きづらい
- 子連れで訪れるにはハードルが高い。

問47：あなたが持っている市立美術館のイメージや今後の美術館に求めるものなど自由にお答えください。(任意回答)

【回答一覧】(原文のまま)

回答内容	性別	年齢	地域
若者が興味を持つのは難しいので現代のデザインや建築などの目玉の展示物を作りSNSでバズらせるなど集客の工夫が必要だと思う。	男	20歳代	中央地域
受動的な美術館は即座にやめるべきだと思います。鹿児島美術館はユナイテッドFCを超えるポテンシャルがあると思います。鹿児島市民は芸術を理解するほど時間に余裕がないので、美術館の枠を超えた斬新な招致活動が必要です。	男	20歳代	中央地域
知人の紹介で写真展に訪れましたが、どこにいけるのか、何を観れるのかがあまりわからず、写真展だけを見てすぐに立ち去ってしまいました。利用の仕方について、もう少し初来館の人にもわかりやすくしてほしいと思いました。	女	20歳代	中央地域
アートの好みは人により様々だと思うので、様々な作家さんの企画展の開催とPRをして欲しい。	女	30歳代	中央地域
あまり興味がない人にとってはよくわからないし、行く動機がない。興味がない人にも利用してもらいたいのであれば、そのきっかけになるイベントの開催や興味が湧くもの(カフェ等)を併設するなどが必要ではないか。	男	30歳代	中央地域
学生の頃は通っていたが社会人になると平日は難しく、土日も中々足を運びづらいところなので再度訪れたい。 自分の好きなもの(猫等)をメインに扱った企画展などがあれば興味を持って行きやすいので今後も企画展などの広報をお願いします。	女	30歳代	中央地域
企画展の内容を充実させて欲しい	女	30歳代	中央地域
気軽に子供達も連れてアートに触れられてオシャレなカフェとかあると少し非日常を味わえて良いと思います。	女	30歳代	中央地域
常設展の入館料が安いと思いましたが、所蔵品を考えると妥当なのでしょうか。 美術館前は交通量が多いですし、天気次第では歩くのも億劫と感るので、気軽に行ける場所ではないです。 仕事や遊びの帰りに、ふらりと立ち寄りたくなるような催しがあると足が向かう人間もいます。季節やテーマに沿った小展示とか、ナイトミュージアムで講座とか楽しそうです。 特別展示などの大きなイベントを行う際には、土日だけでもいいので巡回バスがあると助かります。	女	30歳代	中央地域
昔ながらの厳かなイメージを持っています。鹿児島になくはならない施設です。息子がゲーム(マイクラフトやレゴ等)が好きなので、ゲームの絵画展などあれば、是非連れていこうと思います。	女	30歳代	中央地域
駐車場が少ない。もっといろいろな作品を展示してほしい。	女	30歳代	中央地域
定期的な特別展において有名な作品や作家の作品を実際に鑑賞することが出来、大変感謝している。常設展について、年間パスがあることは知らなかった。購入を検討しようと思う。	女	30歳代	中央地域
美術館は難しいイメージがあり私含めて素人には敷居が高いと思います。フォトスポットなど若い人向けの楽しみ方があると、もう少し身近な場所になるのかなと思います。	男	30歳代	中央地域
あまり明るいイメージはなく、興味のある展示の際に数年に1度行くかどうかなのでデザイン展や写真展など企画があればきっかけ作りになるのではと思う	女	40歳代	中央地域
もっと美術に興味がない人にも興味をもってもらうためにイベント型の展示会とかして欲しい。また、今子育てしていて子どもに絵を教えて欲しいと思っていて、絵はどこで習って良いかわからないので、絵の講習会とかを定期的に行っていて欲しい。	女	40歳代	中央地域
音楽など芸術の分野も取り入れて欲しい。音楽ライブを行うなど	男	40歳代	中央地域
絵の上手くなる描き方等教える場があってほしい	女	40歳代	中央地域

回答内容	性別	年齢	地域
気がつく、子供の宿題の付き添いなど用事がないと行ってない。 現代アートやポップなアートなどがトレンドの今、もう少し若者向けやおしゃれにするにする 事や、敷居が高い感じがするので、身近に行けるようにしても良い。 音楽との融合や、若者のアートイベントなど行うために場所を無料で提供したり、貸し出したり、 アートマルシェ企画なども面白いかも。皆、一度行けば、その後は足が向きやすくなる。	女	40歳代	中央地域
金銭的に余裕があれば行きたいなと思います。有名な作家の作品が来たら見に行きたいです。	女	40歳代	中央地域
子どもも楽しめる作品展を増やして欲しいです。以前、長島美術館で絵本作家さんの展覧会が ありましたが、とても楽しく、子どもも喜びました。 あと、美術館はわかりませんが、黎明館のトイレをもっと新しくして欲しいです。 和式は減らして、洋式を増やして欲しいです。	女	40歳代	中央地域
鹿児島市の市立美術館独自の魅力がないと、わざわざ市立美術館に足を運ばないと思います。よ その地域から来た観光客が、「ぜひ、鹿児島市の美術館に行ってみたい！」という何かを考えない と、今後の美術館運営は財政的に厳しいのではないかと考えています。	男	40歳代	中央地域
特段目を引くものがないと感じる。	男	40歳代	中央地域
美術館を楽しめる企画を立てて、少しでも県民が参加できる施設になれるといいですね。	女	40歳代	中央地域
黎明館に押されて存在感がないと思っています。隣県の都城市の市立美術館などのほうが興味 のある展示や企画が多い気がします。 また、もう少しフランクに鑑賞できる雰囲気づくりを行うべきだと思います。展示物について 語るだけで「お静かに」と言われることが多く、鹿児島市立美術館は今の時代に沿っていない 感じがします。	女	40歳代	中央地域
どのような美術品が展示されているのか、分からない。小学生、中学生、保護者に対して色々 なイベントを開いて美術に興味を持ってもらう。もう何十年も市立美術館を訪れてないのでこ の機会に行きます。	男	50歳代	中央地域
暗い感じがなくなると良いと思います	女	50歳代	中央地域
印象派からモダンアートまでを一貫して見ることのできるコレクションは非常に魅力的だと思 います。また鹿児島出身の画家たちのコレクションも充実していると思います。鹿児島市民や 県民、観光客にもっと身近に親しみを感じてもらえる方策があればいいのですが。	男	50歳代	中央地域
建物の前のスペースでイベント等をして、もっと活用して欲しい。	女	50歳代	中央地域
今のままでいいと思います。	女	50歳代	中央地域
色々な個展やイベントがあるがなかなか情報が伝わってこない。行ける時間が難しく、月に1回 くらい土曜日12時~21時までみたいな日があるといいなと思う。	男	50歳代	中央地域
全体的に暗い感じ。カフェスペースが増えたら良いと思います	女	50歳代	中央地域
イメージとしては、所蔵品に統一感がない、または、核になる主要な所蔵品というものが見つ かりにくい。高価で有名なものがある必要はなく、わざわざそこに見に行かないと鑑賞できな いようなマニアックな作品であり、かつそこにあることに意味がある作品が必要だと思いま す。ほかのどこにもない、鹿児島出身の作家の若い無名時代のデッサンが多数あるとか、その 作家が普通は選ばない対象をモチーフにした作品を、たまたま鹿児島に来た時にだけインスピ レーションを得て作成して残した作品など、なにかそこにあることの意義がないといけないと 思います。かなり解説を読み込まないと、そこになぜ所蔵されているのか全く分からない作品 も多く、流してみていると雑然としていて散漫な美術館だという印象を受けます。奄美大島の 田中一村美術館は当たり前ですが統一感があり、そこにあることの意味もよく理解でき、そし て他にはほとんど見られないような周作も多数所蔵されています。自分が何を学んだのかを後 で思い返すことができる美術館として、田中一村美術館のような美術館には大きな存在感を感 じます。	男	60歳代	中央地域

回答内容	性別	年齢	地域
絵を鑑賞することで気持ちに余裕がでてくる。	男	60歳代	中央地域
絵画や彫刻の美術作品の展示だけでなく、企画展のようにはいかないでしょうが、作者の人となり又は背景等を学べたらと思います。	女	60歳代	中央地域
学芸員の美術講座を受けた時、とても、面白かったです。	女	60歳代	中央地域
鹿児島に所縁の作家の作品が多く感謝出来る。ファッションショーやパーティーやライブなど、動きのあるイベントをして欲しいです。	女	60歳代	中央地域
駐車場が少ない	女	60歳代	中央地域
東京、京都などで、開催される、特別展を必ず持ってくるができる。コレクションの情報をもう少しPRする。美術教育の画一化ではなく、大いに自由度を揚げる牽引になる美術館である必要があります。	男	60歳代	中央地域
日展とか全国各地の画家を展示しているイメージです。	男	60歳代	中央地域
有名な絵画展など観てみたいです。 チームラボとかの映像のものなど観てみたいです。	女	60歳代	中央地域
良い場所であるのに、広報があまりできていない印象がある。私の周囲の人々も、行ったことがないまたは昔行ったきりという人がほとんどであった。鹿児島には美術館が少ないからこそ、そこでしか見れないものや経験できないことを全面にアピールしていくべきだと思う。	女	20歳代	谷山地域
イメージは何もないというか、何がどのくらいあるのか知らない。 黎明館はいろいろコラボや企画があり、目にしたり聞く事もあるが、市立美術館ではほとんど聞かないので、求める事は特に浮かびません。	女	30歳代	谷山地域
意外と常設展の観覧料自体は安いだと知りました。でもそこで何が展示されているのか情報を得るのが私自身少なく、また私が美術にさほど興味がないというのもあり、。行こうという機会にならず。子どもが興味刺さりそうなものであれば行ってみたいです。	女	30歳代	谷山地域
海外の画家の展示会を、もっと増やしていただきたい。	女	30歳代	谷山地域
子連れでは訪れられないイメージで、足が遠のいています。子どもが騒がしく見ても良い日とが、未就園児も参加できるアートイベントなどあれば、行ってみたいです。	女	30歳代	谷山地域
小さな子供を連れて訪れる場所のイメージがないので、1人の時間が取れるようになったら一度は行ってみたいと思っていました。 自分の故郷にある美術館は子供歓迎で子供が楽しめるような美術館で、子供の時からよく行っていたし、大人になってからも帰省したら訪れる場所です。とてもやすらげる場所です。こどものみなさまへ、といったようにこどもも大人も尊重してくれるイメージがありとても好きです。鹿児島市立美術館のホームページは拝見していますが、そのようなイメージはなく子連れで行きたいとは思いませんでした。観光客含め、大人が静かに観覧するべきところなのかなと。子どもにやさしい、地域の人にも愛される美術館だと私は嬉しいなと思っています。	女	30歳代	谷山地域
少し敷居が高いイメージ。博物館やれいめい館含め気軽に入りやすい雰囲気作りが必要な気がする	男	30歳代	谷山地域
美術品を創作した人々の想いや生き様が集まったエネルギーある場所。理解は出来なくても、人の創造性に感心し、私とは何者か？と考える時間をくれる。	男	30歳代	谷山地域
暗い	女	40歳代	谷山地域
企画展で鹿児島で見ることのできない作品をみたい。国宝等。博物館との違いがわからないが、書物などもみたい。鳥獣戯画や風神雷神図屏風など。	女	40歳代	谷山地域



回答内容	性別	年齢	地域
鹿児島市に長年住んでいますが、つい最近初めて美術館に行きました。正直思ったよりも展示物も少なく、規模も小さくてびっくりしました。一度行ったらもういいかな、と思いました。もっともっとみんなが見たいと思う物をコレクションしたり、面白そうなイベントなどがない限り、みんな行かないと思います。	女	40歳代	谷山地域
美術館のイメージは大人が鑑賞するイメージがある。ただ、子供が絵が好きなので、もっといろんなジャンルの絵画を見てみたい。あと、小さい子供を連れていける雰囲気ほしい。	女	40歳代	谷山地域
「まちかどコメンテーター証 兼 施設無料券」を利用して訪問たいと思います。	女	50歳代	谷山地域
市立美術館イメージ→芸術鑑賞。 求めるもの→市民アートフェアの回数が春、夏、秋、冬あってもよい。4回は必要。理由は一般の人の芸術を鑑賞することにより、芸術を身近に感じることが出来るから。市民が絵を描くことにより、より芸術に親しむことが出来る。 市立美術館の→市民アートフェア募集は（芸術盛んな街かごしまを目指して）、春、夏、秋、冬の4回あって良い。みんなが見る、描く、感心をよせるようになる。4回あれば機会を逃さない（見る人も、描く人も）。	女	50歳代	谷山地域
芸術は難しく、凡人の私には理解できないことが多いと思っています。解説も詳しくしすぎると良くないのかもしれませんが、基本の基本なこととか、作者についてなどわかると見やすいかもしれません	女	50歳代	谷山地域
自分には縁のない場所と思っていた。昔、子どもの作品が展示していた時に行った事がある。身近なものの展示なら誰もが行きやすいのでは。	女	50歳代	谷山地域
収蔵作品があると、貸し出しができて、借りることも出来るから充実させたいのかもしれないと思うのですが、限られた財源なので、収蔵作品の充実は後回しになるのは、仕方ないかと思えます。 企画展と一緒に進められるワークショップは、魅力的なものも多く、参加したいと思えます。 高校の宿題で、美術館で模写してくる課題がありましたが、おもしろかったです。娘の課題を私が楽しみました。	女	50歳代	谷山地域
小さい頃から美術の成績が悪く苦手意識が強く、興味が湧かない。 ただ、精神を休める為に静かな空間を求めるケースはある。ロケーションの良い立地だと別の動機で訪ねるきっかけになるかもしれない。	女	50歳代	谷山地域
黒田正輝展にいきました。改めて鹿児島の絵画会のすばらしさについて知り、感動を覚えました。もっともっとたくさんの方に鹿児島の絵画会の歴史について知ってもらい、また自分たちも絵画に関心を持ち、観て知って取り組んでみてほしいと思った。	男	60歳代	谷山地域
美術館のイメージとしては、静かでゆったり過ごせる場所と考えます。自分の普段の生活が、ゆとりがあって、ゆつくりと美術館に出かけられればいいなあと思います。もう少し近くにバス停があれば、暑い時は特に助かります。	女	60歳代	谷山地域
有名でなくてもよいが、地方や他国の作品の展示を。小さくてもよい。	男	70歳以上	谷山地域
歴史を感じる建物	男	70歳以上	谷山地域
時間と道具があれば、絵画を描いてみたいです。今、作詩活動をときたまっております。南日本新聞社に去年、一回投稿しました。時間があればまた、投稿します。	男	70歳以上	谷山地域
デジタルアートや子供達に人気のデザイナーの展示を行って欲しい、楽しくなる様な移動カフェやカゴマニアの様なワクワクするショップで興味を引いて欲しい	男	30歳代	伊敷地域
定期的なイベントを行っているイメージが全くないです。子供たちが喜んだり、参加型のイベントがあれば定期的に訪れたいと思います。	男	30歳代	伊敷地域
入りにくい、暗い、と言うイメージがある。	女	30歳代	伊敷地域
美術に興味を持つ観点では、若ければ若い方が良いと思うので、小学生が積極参加したくなるようなイベントを増やして頂けると良いと思います。	男	30歳代	伊敷地域

回答内容	性別	年齢	地域
美術館限定のなにかあったら行きやすいかなあ。親が行くから着いていったことしかないから。おしゃれなカフェとかお土産屋さんとかそこの目的で、とか若者が行きやすいかな	女	30歳代	伊敷地域
黎明館ではよくテレビやラジオなどで企画展の情報が入ってきますが、市立美術館はあまり情報が入ってこないように感じるので、もう少しいろんな媒体で広報をしてほしいと思います。	女	30歳代	伊敷地域
イメージとしては、大人、家族連れが訪れるイメージ。イベントの開演の情報が流れてこない。ラジオとかでも流してほしい。	女	40歳代	伊敷地域
おしゃれなカフェやレストランなどゆっくりくつろげるスペースや、美術館にしかない名物など展示を見に行くだけでなく美術館に行く目的ができるお店などがあればよいなと思いました。	女	40歳代	伊敷地域
今の私の中で美術館へ行くということではなく、子供が興味を持ち、行きたいと思えるような展示などあれば行く機会は増えるかと思っています。	男	40歳代	伊敷地域
小さい子供を連れて行くには少しハードルを感じる。 託児や騒いでも大丈夫そうなキッズスペースがあれば利用しやすくなるのではないかな。	女	40歳代	伊敷地域
静かで、堅苦しいイメージ。展示物は変わるのでしょうか？一回みたらもう、十分と思ってしまいました。	女	40歳代	伊敷地域
地味	女	50歳代	伊敷地域
美術のセンスがなく行く機会がほとんどないのですが、テレビ等の宣伝を見て、特別展の内容によっては、行ってみたいなど興味を持つことがあるので、効果が高いと思います。	女	50歳代	伊敷地域
興味がないのであまりイメージがわからない。県と協力して黎明館や県立美術館と統合し予算を浮かせ、世界の超有名な絵画や彫刻等を常時、展示してくれるなら、見に行ってもいいかなと思うのが本音です。	男	60歳代	伊敷地域
地元出身の著名画家が多いためか、所蔵品が素晴らしい。 地方の美術館としては企画展も頑張っていると思う。	女	60歳代	伊敷地域
広報の強化	男	70歳以上	伊敷地域
これからの美術館は、親子で楽しめるコーナーとしてディズニーランドの دونالدダック など人気の写真集を展示するなどのイベントをすると、入場者も多くなるうえ大人は美術鑑賞も楽しめると思う。	男	70歳以上	伊敷地域
どんな人でも展示ができる空間。 いろいろなジャンルの企画展を行うことで、幅広い世代が美術に触れる 美術が絵だけではないこと様々なジャンルがあること、非日常、誰かの救いになること、日常に溢れていること、美術と共に生きていることをどの世代にも感じてもらうこと。 展示会のフライヤーをいろいろな場所で目にできるようにする フライヤーがかわいかったり欲しいと思うと、記憶に残るし、行こうと思う。	女	10歳代	吉野地域
企画展をたくさんしてほしいです。県外に行かないと見られないようなものを展示してほしいです。 市立美術館に所蔵している美術品がどのようなものなのか、紹介してほしい。	女	30歳代	吉野地域

回答内容	性別	年齢	地域
私の周りは美術に興味関心がある方が多いのですが正直なところ鹿児島的美術館に行くより県外の美術館に行く方が多い印象です。身近な場所かというと大分のOPAM、長崎の長崎県美術館のように「行きたい！」と思わせるセンスがないと感じます。東京の森美術館とまでは予算的にも難しいと思いますが、全国的に見ても金沢21世紀美術館、十和田市現代美術館、山形の土門拳記念館、秋田県立美術館、香川県立東山魁夷せとうち美術館のように建物自体がアートな場所やセンスのある展示やショップがある魅力的な美術館が多いのに鹿児島的美術館は県内在住で美術館巡りが好きでもあまり興味がそそられません。美術館のクオリティが上がれば観光の面でも経済効果があると思うので運営に携わる方から見直しが必要かと思います。鹿児島出身の方であれば誰でも展示をするのではなくぜひセンスのある作家さんの個展開催やアーティストの方の誘致をお願いします。近代美術館ではなくても近代的な作品の方が広報面でも有効かと思います。また子どもがアートに触れる機会(美術館に足を運びたくなる工夫、イベントなど)を増やして欲しいです。先月行ったOPAMは大人も子どもも楽しめる空間づくりが上手く、とてもいい環境だと感じました。	女	30歳代	吉野地域
静かにしなければならぬ。そのため、小さな子供を連れていけない。	女	30歳代	吉野地域
静かに鑑賞しなといけない場所のような気がして子連れでは行きづらい	女	30歳代	吉野地域
立派な施設と思う。美術品を眺めると気持ちも穏やかになれるが、忙しい?日で、その時間がとても贅沢。子どもたちとも行ったが、できればひとりでじっくり過ごしたい。交通の便はいいと思う。時間を作って、また足を運びたい。	女	30歳代	吉野地域
なかなか、ゆっくり出かける時間がないので行ってみたいと思っていますが、今後時間をとって行きたいと思っています。鑑賞した後にゆっくり、できるカフェなどがあるといいなあと思います。	女	40歳代	吉野地域
鹿児島出身の芸術家の展示が多い。	女	40歳代	吉野地域
美術に興味や関心がないので美術館は縁遠い施設だと認識があり、特別展示などの情報もあまり気に留めない現状である。同じような方も多いと思うので、若者や芸術に興味がない人達も美術館に行きたくなるようなイベントがあればいいのではないかと思います。	男	40歳代	吉野地域
黒田清輝展とか、山下清展など、有名人などの入館料が高い	女	50歳代	吉野地域
絵画の鑑賞が楽しみなので、展示など楽しませてほしい。	女	60歳代	吉野地域
入りづらいと、個人的には思います。工芸品などを、展示・販売していただけたらなあ、とも思います。	女	30歳代	桜島地域
もっといろいろなアーティストの企画展を開催してほしいです。NHKの日曜美術館を観るのが好きなのですが、鹿児島ではない他の都市で興味深い企画展がたくさん紹介されるのを羨ましく思っております。	女	60歳代	桜島地域
其々の拠点から美術館までの交通手段を付して案内	男	70歳以上	桜島地域
黒田清輝展のテレビ番組を観て、興味を持ったので見に行きました。行ってとても見応えがありました。事前に、作者などの情報を得ることで、作品の見え方がとても広がりました。今後も普段芸術に触れる機会がない人のために、事前情報をテレビなどで分かりやすく発信していただけると良いと思います。	女	30歳代	吉田地域
若い頃に何度も通ったため今では行かなくなりました。常設展も好きでしたが、美術本がたくさん置いてある図書室?のようなコーナーが好きでした。お高くともまった入りにくい雰囲気のある場所なので、もう少しカジュアルな雰囲気だったら入る人も増えそうだなとその時は感じました。	女	40歳代	吉田地域
駐車場が狭い	女	60歳代	吉田地域

回答内容	性別	年齢	地域
値段が安いので、特別感は少ない。	男	30歳代	喜入地域
特に求めるものはないです。美術館らしく館外も緑あふれる落ち着いた雰囲気がいいです。	女	40歳代	喜入地域
特別な企画展の案内を知れば訪れるという場所。正直、他県からの友人などは長島美術館に連れていく。 この前開催されたTHUKAフェス（テレビで見ただけだが）のような、県内やゆかりのあるクリエイターたちの作品とかも気軽にみられる場所、また、小さい子供が触れても大丈夫な企画展があれば、ぜひ行きたい！	女	40歳代	喜入地域
足の悪い人には行きづらい。車椅子や杖の人には歩道橋や段差は迂回を強いる。駐車場からも距離があるし、企画展で観覧者が多いと使いづらい。行きやすさは利用しやすさかと。	その他・ 答えたくない	50歳代	喜入地域
市立美術館には、8年前に他県から引っ越してきた後すぐの時期に行きました。何を見たのかよく覚えていないので、また行ってみようと思います。ただ、駐車場がわかりづらく、バスで行くにも金生町バス停からも少し離れているので、行きにくいという印象があります。	男	30歳代	松元地域
PRが弱い？	女	40歳代	松元地域
音楽や美術は欠かせないものであり、忙しい現代生活において拠り所としている人も多いと思う。 もっと多くの人から立ち寄れるカフェスペースの拡張やナイトミュージアムのように週末の夜に解放するような企画もあっていいのではないかなと思う。	女	40歳代	松元地域
人気の特別企画展が充実していると、年間パスポートも購入したくなると思います。	女	60歳代	松元地域
誰でも知っている有名な画家の作品を見てみたい。	女	20歳代	郡山地域
特別展示がしょぼい。年一でいいからもっと若者・ニッチ向けを展示して欲しい。鹿児島ゆかりだけやられても興味ない	女	30歳代	郡山地域
建物が綺麗、あの空間がとても好きです。とくにエントランス入ってすぐの階段にいつも目を奪われます。常設展示も季節ごとにかわるし、よく、自分の興味のある企画展がされているので嬉しいです。今回の黒田清輝展もとても良かったです。 なかなか参加できないのですが、ワークショップなどあるときは今後は参加してみたいと思います。	男	40歳代	郡山地域
美術館で行われているイベントなどが何があるのか、正直全く分からない。 黎明館などでのイベントごとは子供が学校から貰ってくるプリント等で知る事が多く、親世代は必ず目を通すので情報が伝わってくるのではないだろうか。	女	40歳代	郡山地域
上記にも書きましたが、何故か敷居が高いイメージがある。四国にあるさわっても良い美術館には遠くても行きたいと希望がある。本物やレプリカなど分けて参加できる美術館に憧れる。 黎明館には良く行き展示などは見ている。9月1日迄あった動く絵も楽しかったです。	女	50歳代	郡山地域
絵だけが飾ってあって静かなイメージだったけれど、HPを見て行ってみたいと思った。入園料も安いイベントとか参加してみたい。	女	30歳代	鹿児島市以外
これからも市立美術館の企画展等観覧したいです。年間パスポート安くしてほしいです。	男	40歳代	鹿児島市以外
何となく暗いイメージがあるのと、なかなか行くきっかけが無い。	女	50歳代	鹿児島市以外